

# 第 I 編 日本人の旅行市場

「JTBF 旅行実態調査」「JTBF 旅行意識調査」について(調査概要)	8
<b>I-1 日本人の旅行市場の概況</b>	
<b>1</b> 旅行者数	9
<b>2</b> 旅行市場区分(全体)	10
(1) 費用負担および旅行形態からみた旅行市場	
<b>3</b> 旅行市場区分(観光・レクリエーション)	11
(1) マーケットセグメント別の市場シェア	
(2) 性・年代別にみる同行者別の市場シェア	
<b>I-2 日本人の国内旅行</b>	
<b>1</b> 2021年の概況	13
(1) 国内旅行者の動向	
(2) 主な要因	
(3) 宿泊旅行者の内訳	
<b>2</b> 着地別(都道府県別)の旅行動向	17
(1) 都道府県別国内宿泊者数	
(2) 都道府県別旅行内容	
<b>3</b> マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行動向	31
<b>I-3 日本人の海外旅行</b>	
<b>1</b> 2021年の概況	38
(1) 海外旅行者の動向	
(2) 主な要因	
(3) 海外旅行者の内訳	
<b>I-4 日本人の旅行に対する意識</b>	
<b>1</b> 行ってみたい旅行	41
(1) 行ってみたい旅行先(国内旅行・海外旅行)	
(2) 行ってみたい旅行タイプ	
(3) 旅行タイプ別の行ってみたい旅行先	
<b>2</b> 旅行の動機	48
<b>3</b> 旅行の阻害要因	50
<b>I-5 新型コロナウイルス感染症の流行と日本人の旅行</b>	
<b>1</b> 旅行実態	51
(1) 旅行実施への影響	
(2) 実施した旅行への影響	
<b>2</b> 旅行意識	56
(1) 旅行実施に及ぼす影響	
(2) 政府や自治体の要請に対する意識	
(3) 今後の旅行の目的地や行動の変化	
<b>3</b> 旅行意向	61
(1) コロナ禍における直近3か月間の意向	
(2) コロナ収束後の旅行意向	
<b>4</b> 日常生活での意識・行動	62
(1) 日常生活での意識	
(2) 日常生活での行動の変化	

## 「JTBF 旅行実態調査」「JTBF 旅行意識調査」について(調査概要)

本書では、第I編と第III編にて、下記調査データを使用しています。

調査名 : JTBF 旅行実態調査2021  
 調査方法 : ウェブ調査  
 調査時期 : 2021年5月実施(2021年1~3月期分の旅行内容)、2021年7月実施(同4~6月期の旅行内容)、2021年10月実施(同7~9月期の旅行内容)、2022年1月実施(同10~12月期の旅行内容)

### 【全体調査】

調査対象 : 全国16~79歳の男女(調査会社のパネルより抽出)  
 標本の大きさ : 各回50,000人 ※国勢調査時の人口(地域・性別・年代)に基づき、調査会社のモニターを割り当て。  
 調査項目 : 旅行実施の状況、今後の旅行予定・意向、コロナ禍における日常生活への影響等を調査

### 【トリップ調査】

調査対象 : 全国16~79歳の男女で、期間中に観光・レクリエーション旅行を実施した人(調査会社のパネルより抽出)  
 調査の対象とした旅行期間 : 2021年1~12月  
 調査項目 : 主に旅行実態を調査  
 回答者属性 :

### 〈国内宿泊観光旅行〉

年齢(歳)	男性							女性							合計
	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	
標本の大きさ(人)	95	274	327	403	334	325	297	79	249	289	381	335	344	352	4,084
構成比(%)	2.3	6.7	8.0	9.9	8.2	8.0	7.3	1.9	6.1	7.1	9.3	8.2	8.4	8.6	100.0
年齢(歳)	男性							女性							合計
	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	16~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	
トリップ数(件)	140	397	456	579	474	501	438	100	356	384	501	475	506	496	5,803
構成比(%)	2.4	6.8	7.9	10.0	8.2	8.6	7.5	1.7	6.1	6.6	8.6	8.2	8.7	8.5	100.0

※国勢調査時の人口(地域・性別・年代)に基づき、調査会社のモニターを割り当て。ただし、一部若年層および高齢層において不足した属性あり。トリップ数は標本の大きさに各月の旅行発生量(観光庁)を割り付けて重み付け  
 ※表中の数値は表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある  
 ※海外観光旅行も調査対象だが、新型コロナウイルス感染症の影響により海外観光旅行実施票を十分に得られなかったため、今回の分析対象からは除外した

本文では、I-1「日本人の旅行市場の概況」、I-2「日本人の国内旅行」、I-5「新型コロナウイルス感染症の流行と日本人の旅行」で使用

調査名 : JTBF 旅行意識調査  
 調査対象 : 全国18~79歳の男女(調査会社のパネルより抽出)  
 調査方法 : 郵送自記式調査  
 調査項目 : 主に旅行に関する意識を調査  
 調査時期 : 2022年5~6月実施  
 回答者属性 :

年齢(歳)	男性							女性							合計
	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	18~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~79	
標本の大きさ(人)	12	86	98	146	126	118	130	8	88	97	124	115	124	141	1,413
構成比(%)	0.8	6.1	6.9	10.3	8.9	8.4	9.2	0.6	6.2	6.9	8.8	8.1	8.8	10.0	100.0

※国勢調査時の人口に基づき、住宅地図データベースから世帯を抽出し、個人を割り当て  
 ※表中の数値は表示単位未満四捨五入の関係で、合計が一致しない場合がある

本文では、I-4「日本人の旅行に対する意識」およびI-5「新型コロナウイルス感染症の流行と日本人の旅行」、III-1「旅行業」で使用

# I-1 日本人の旅行市場の概況

## 1 旅行者数

国内旅行平均回数:宿泊旅行1.13回/人、日帰り旅行1.01回/人  
国内旅行平均泊数:2.43泊/人回

日本人の旅行市場を「国内宿泊旅行」「国内日帰り旅行」「海外旅行」の3領域に大別し、旅行者数を概観する。なお、2020年に引き続き、2021年中に実施された海外旅行に係る調査結果のうち、観光庁の公開する統計が欠損値(データなし)である部分について、本稿の本文では記述を省略し、図表では「-」として表示した。

### ●旅行平均回数

2021年の日本人の旅行平均回数は、国内宿泊旅行全体では1.13回/人、国内日帰り旅行全体では1.01回/人であった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1左を参照。

### ●平均泊数

2021年の日本人の旅行における平均泊数は、国内宿泊旅行全体では2.43泊/人回であった。各旅行の観光、帰省、出張の内訳については、図I-1-1右を参照。

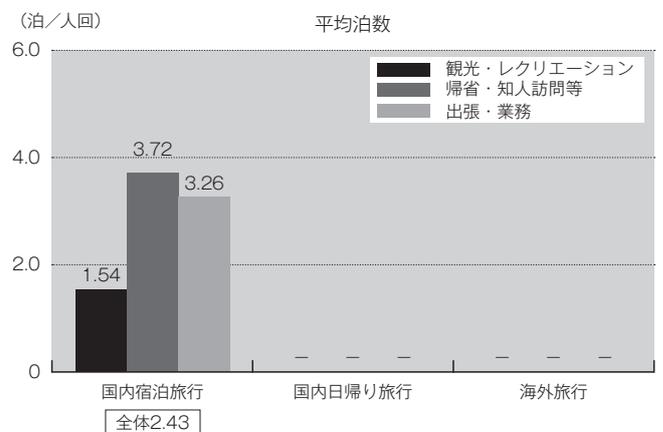
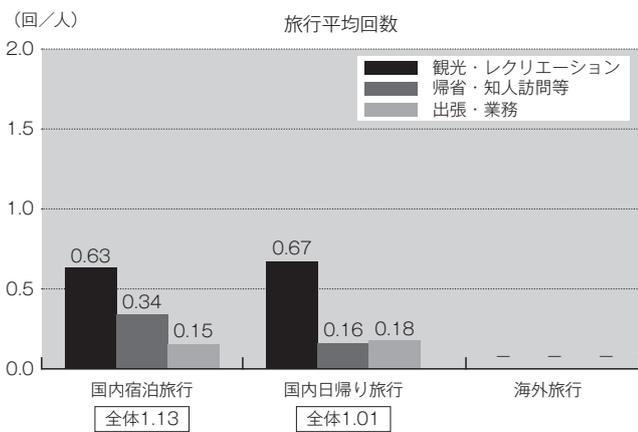
### ●延べ旅行者数

2021年の日本人の延べ旅行者数は、国内宿泊旅行全体では1億4,177万人、国内日帰り旅行全体では1億2,644万人であった。国内宿泊旅行の目的は観光・レクリエーションが56.2%、帰省・知人訪問等が30.2%、出張・業務が13.7%であった。国内日帰り旅行の目的は観光が66.3%、帰省・知人訪問等が16.0%、出張・業務が17.7%であった(図I-1-2左)。

### ●延べ泊数

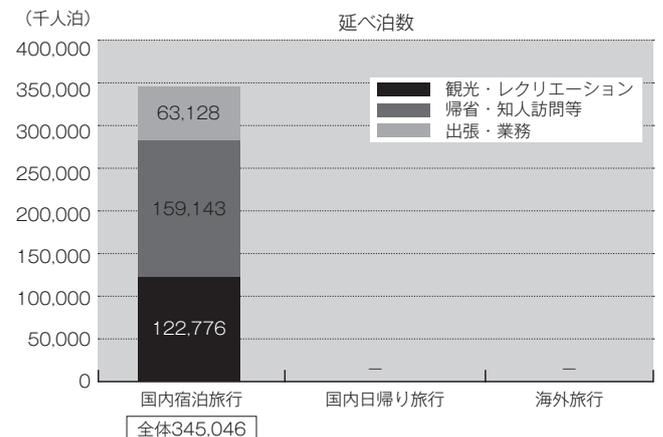
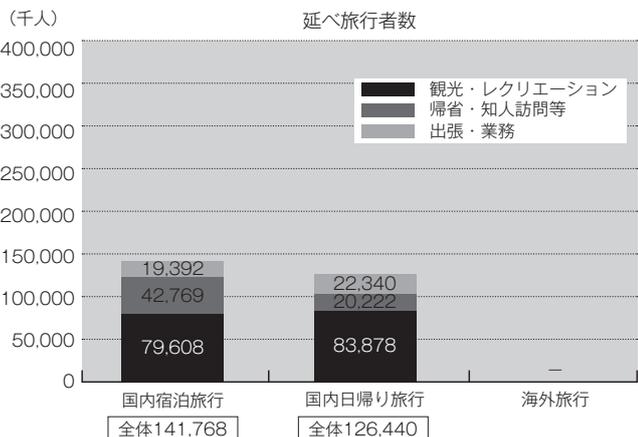
2021年の日本人の延べ泊数については、国内宿泊旅行全体では3億4,505万人泊であった。旅行目的は観光・レクリエーションが35.6%、帰省・知人訪問等が46.1%、出張・業務が18.3%であった。(図I-1-2右)

図 I-1-1 旅行平均回数および平均泊数(2021年)



資料:いずれも観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-1-2 延べ旅行者数および宿泊者の延べ泊数(2021年)



資料:いずれも観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

## 2 旅行市場区分 (全体)

個人負担の個人旅行が増加

### (1) 費用負担および旅行形態からみた旅行市場

第一に、旅行内容と旅行形態(団体・個人)に着目し、旅行市場を「個人で実施する観光旅行」「帰省や家事のための旅行」「組織が募集する団体旅行」「出張や業務旅行」「会社がらみの団体旅行」の5種類に区分した。この5つの市場区分について、延べ旅行者数(単位:人回)をベースとしてそれぞれのシェアを算出すると、「個人で実施する観光旅行」が最も大きなシェアを占めており、国内旅行で68.4%を占めた。次点は「帰省や家事のための旅行(12.8%)」、第3位は「出張や業務旅行(10.1%)」であった(表I-1-1)。

第二に、旅行市場の構造を「費用負担者」と「旅行形態」の2つの視点から検討した。

まず旅行の費用負担者として「個人負担」と「法人負担」を想定し、それぞれの占める割合を延べ旅行回数(単位:人回)ベースで算出した。国内旅行においては全体の83.9%が個人負担により実施された旅行で、12.4%が法人負担により実施された旅行であった(表I-1-2)。

次に旅行形態として「個人旅行」と「団体旅行」を想定し、それぞれの占める割合を延べ旅行者数(単位:人回)ベースで算出した。国内旅行全体では個人旅行が91.2%、団体旅行が5.1%を占めた(表I-1-3)。

最後に、「費用負担者」と「旅行形態」の2つの軸によって、旅行市場を4つに区分した(図I-1-3)。国内旅行では、個人負担によって行われる個人旅行が81.1%を占め、前年(72.9%)から8ポイント以上上回った。

表 I-1-1 旅行形態に着目した旅行市場区分シェア(2021年)

(単位:%)

市場区分	定義	国内旅行	海外旅行
個人で実施する観光旅行	個人で実施する観光旅行。スポーツ旅行。旅行会社のバック旅行に参加した場合も含める。	68.4	—
帰省や家事のための旅行	帰省や冠婚葬祭関連の旅行。(帰省ついでに行った観光旅行は観光・レクリエーション旅行)	12.8	—
組織が募集する団体旅行	町内、農協、郵便局、信金、宗教団体、サークルなどが募集する旅行。	2.8	—
出張や業務旅行	打合せや会議、視察目的の旅行。	10.1	—
会社がらみの団体旅行	職場旅行や招待、報奨旅行。団体で行動する旅行。	2.3	—
その他の旅行	上記のいずれにもあてはまらない旅行。	3.7	—

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表 I-1-2 旅行費用の負担者別にみるシェア(2021年)

(単位:%)

費用負担者	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人負担	個人で実施する観光旅行	83.9	—
	帰省や家事のための旅行		
	組織が募集する団体旅行		
法人負担	出張や業務旅行	12.4	—
	会社がらみの団体旅行		
	その他の旅行	3.7	—

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

表 I-1-3 旅行形態別にみるシェア(2021年)

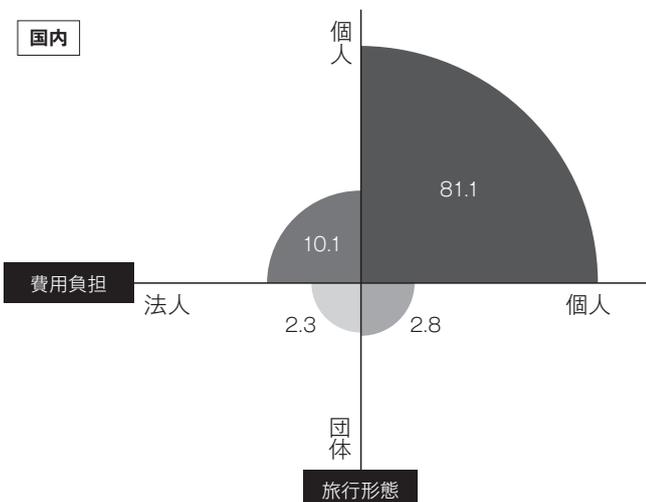
(単位:%)

旅行形態	市場区分	国内旅行	海外旅行
個人旅行	個人で実施する観光旅行	91.2	—
	帰省や家事のための旅行		
	出張や業務旅行		
団体旅行	組織が募集する団体旅行	5.1	—
	会社がらみの団体旅行		
	その他の旅行	3.7	—

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図 I-1-3 国内旅行の負担者別・旅行形態別のシェア(2021年)

(単位:%)



資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

**3 旅行市場区分（観光・レクリエーション）**

「夫婦・カップル旅行」38.7%、「家族旅行」28.8%、  
「ひとり旅」16.6%

**(1) マーケットセグメント別の市場シェア**

旅行は「誰と行くか」によって、内容が大きく左右される。特に家族旅行の場合、子どもの有無や年齢によって、旅行の内容は大きく変化する。そこで旅行マーケットのセグメンテーションとして、まず「旅行の同行者」を軸にして『家族旅行』『夫

婦・カップル旅行』『友人旅行』『ひとり旅』に大きく区分し、さらにその旅行者の「ライフステージ（配偶者や子どもの有無、子どもの年齢）」を軸として、17のセグメント（3世代家族旅行は除く）に細分化した（表I-1-4）。

セグメントごとのシェアを概観すると、国内旅行では「夫婦・カップル旅行」のシェア38.7%と最も高く、次いで「家族旅行」が28.8%、「ひとり旅」が16.6%となった。マーケットセグメント別にみると、「子育て後の夫婦での旅行」が16.4%を占めた。

国内旅行におけるセグメント別分析の詳細は、31～37ページに掲載した。

**表 I-1-4 観光・レクリエーション旅行の市場区分**

マーケットセグメント		旅行の同行者	ライフステージ
家族旅行	乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	子ども連れ	乳幼児の子あり
	小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	子ども連れ	小中高生の子あり
	18歳以上のみの家族旅行	子ども連れ 親を連れて	末子が18歳以上 —
	※内、3世代家族旅行	3世代で	—
夫婦・カップル旅行	カップルでの旅行	カップルで	—
	夫婦での旅行(子どもなし)	夫婦で	子どもなし
	子育て中の夫婦での旅行	夫婦で	末子が18歳未満
	子育て後の夫婦での旅行	夫婦で	末子が18歳以上
友人旅行	未婚男性による友人旅行	友人や知人と	未婚男性
	既婚男性による友人旅行(子どもなし)	友人や知人と	既婚男性・子どもなし
	子育て中の男性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳未満
	子育て後の男性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳以上
	未婚女性による友人旅行	友人や知人と	未婚女性
	既婚女性による友人旅行(子どもなし)	友人や知人と	既婚女性・子どもなし
	子育て中の女性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳未満
	子育て後の女性による友人旅行	友人や知人と	末子が18歳以上
ひとり旅	男性のひとり旅	自分ひとりで	—
	女性のひとり旅	自分ひとりで	—

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。

資料：(公財)日本交通公社作成

**表 I-1-5 観光・レクリエーション旅行の市場区分別のシェア**

(単位：%)

マーケットセグメント		国内旅行	海外旅行
家族旅行		28.8	—
	乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	5.6	—
	小中高生の子どもと一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	12.4	—
	18歳以上のみの家族旅行	10.8	—
	※内、3世代家族旅行	6.1	—
夫婦・カップル旅行		38.7	—
	カップルでの旅行	11.1	—
	夫婦での旅行(子どもなし)	9.7	—
	子育て中の夫婦での旅行	1.5	—
	子育て後の夫婦での旅行	16.4	—
友人旅行		14.3	—
	未婚男性による友人旅行	3.6	—
	既婚男性による友人旅行(子どもなし)	0.8	—
	子育て中の男性による友人旅行	0.8	—
	子育て後の男性による友人旅行	1.8	—
	未婚女性による友人旅行	3.1	—
	既婚女性による友人旅行(子どもなし)	1.0	—
	子育て中の女性による友人旅行	0.2	—
子育て後の女性による友人旅行	2.9	—	
ひとり旅		16.6	—
	男性のひとり旅	10.9	—
	女性のひとり旅	5.7	—
その他		1.6	—
全体		100.0	—

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する。

※16歳未満の旅行者はアンケート調査の対象となっていないため、上記シェアからは除外。

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

(2)性・年代別にみる同行者別の市場シェア

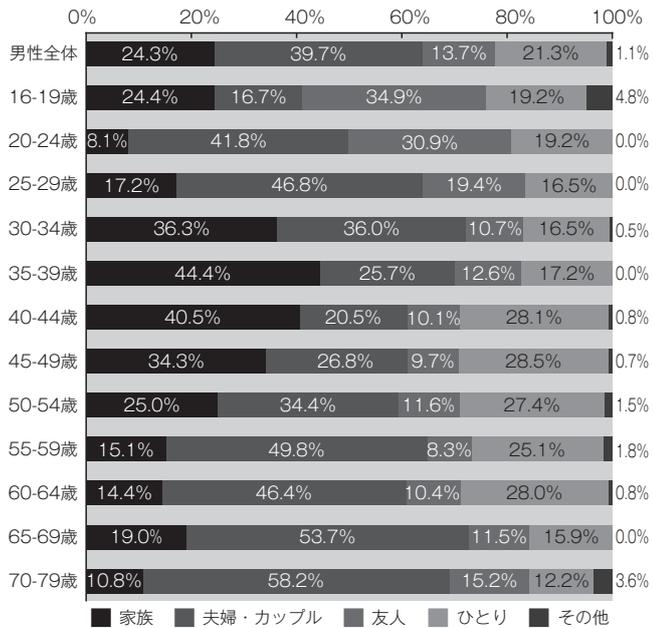
同行者は、年代の移り変わりに伴って変化する。国内旅行についてみると、男女ともに10代後半は家族や友人との旅行が中心で、20代前半は夫婦・カップルや友人との旅行が7割程度を占める。20代後半以降は家族の割合が高まり、30代後半から40代前半でピークとなる。特に女性では30代後半で家族との旅行が6割を占めている。40代後半以降は、家族との旅行が徐々に減少し、再び夫婦・カップルでの旅行が増加する傾向にあるが、男性40～60代前半では、ひとりで旅行する割合が2.5～3割とやや高く、女性と異なる。

向にあるが、男性40～60代前半では、ひとりで旅行する割合が2.5～3割とやや高く、女性と異なる。

20代では恋愛・交友関係の広がり、30～40代では結婚・出産・子育て、50代では子どもの独立など、年代ごとのライフステージの変化によって同行者の違いがみえてくることわかる(図I-1-4、図I-1-5)。

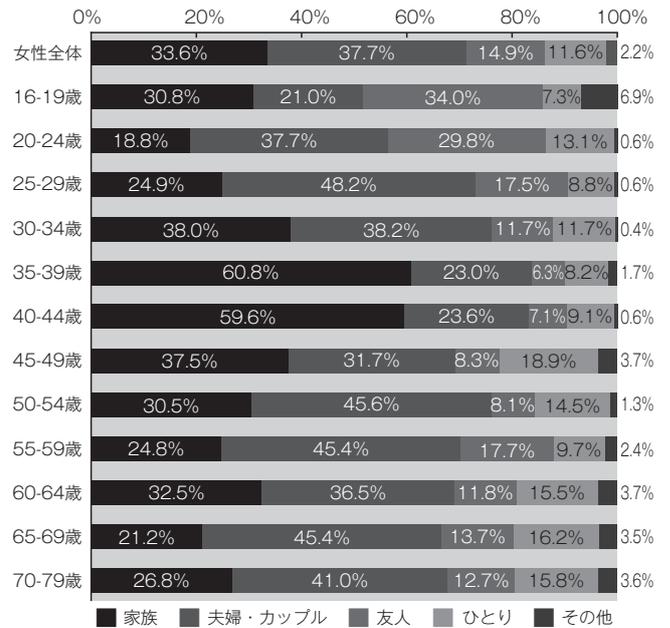
(仲七重)

図 I-1-4 国内旅行における年代別同行者(男性)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図 I-1-5 国内旅行における年代別同行者(女性)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

## I-2 日本人の国内旅行

### 1 2021年の概況

国内旅行市場はさらに縮小

#### (1) 国内旅行者の動向

観光庁の「旅行・観光消費動向調査」によると、2021年の宿泊をとまう国内延べ旅行者数は1億4,177万人回、前年比11.8%減となった(表I-2-1)。いずれの目的においても、宿泊者数は前年比減となり、観光・レクリエーション(以下、観光)は前年比13.3%減、帰省・知人訪問等は同7.0%減、出張・業務は同15.2%減であった(表I-2-1)。

宿泊旅行市場の半数以上のシェアを占める観光旅行では、延べ旅行者数は7,961万人回(前年9,183万人回)、国民1人当たりの旅行平均回数は0.63回/人(同0.73回/人)、国民1人当たりの平均宿泊数は1.0泊/人(同1.2泊/人)となり、いずれの指標も前年をさらに下回った。

国内延べ日帰り旅行者数も前年比4.7%減となったが、出張・業務目的は同11.9%増と増加に転じた(表I-2-1)。

#### (2) 主な要因

新型コロナウイルス感染症の影響が続き、2021年の国内旅行市場は前年の大幅な縮小から回復が叶わず、停滞が続い

た。全国や特定都道府県等を対象とした緊急事態宣言、まん延防止等重点措置が1月初旬から断続的に適用された。7月には「東京2020オリンピック・パラリンピック」が、1年の延期を経て無観客で開催された。9月に入りようやく緊急事態宣言が全国的に解除となったが、年末にかけて出現した新たな変異株の影響により年明け以降は新規感染者数の増大傾向が続いた。2021年の3/4は行動制限下にあり、感染の拡大を防止しながら社会経済活動を維持する、いわゆる「新しい生活様式」での暮らしを余儀なくされた。旅行市場は、ワクチン接種や新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の感染状況に応じて変動を見せてきたが、本格的な回復の見通しが立たない状況が続いた。

年末にかけて出現した新たな変異株の影響により年明け以降は新規感染者数が増大したものの、2022年1~3月の国内宿泊観光旅行における延べ旅行者数は、前年同期比45.2%増(前々年同期比28.1%減)となった。(観光庁「旅行・観光消費動向調査」速報)。7月からの感染急拡大により8月現在でも1日当たりの新規感染者数は過去最多を更新し、未だ収束の兆しが見えないが、変異株対応ワクチンの接種や行動制限の緩和等により、今後の市場回復が期待される。

表 I-2-1 日本人の国内延べ旅行者数の推移

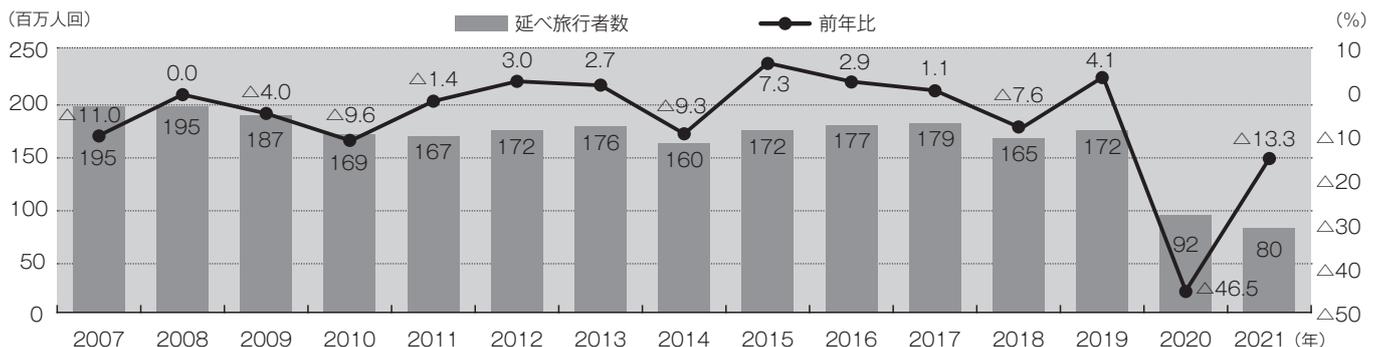
(単位：千人回)

	宿泊旅行						日帰り旅行									
	観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務		観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務					
	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)	前年比 (%)					
2017年	323,328	△0.7	178,615	1.1	90,425	△3.0	54,288	△2.7	324,182	2.8	207,575	△0.6	52,774	3.2	63,833	15.0
2018年	291,052	△10.0	165,010	△7.6	79,798	△11.8	46,245	△14.8	270,727	△16.5	188,850	△9.0	40,018	△24.2	41,859	△34.4
2019年	311,624	7.1	171,727	4.1	85,696	7.4	54,201	17.2	275,478	1.8	196,347	4.0	40,974	2.4	38,157	△8.8
2020年	160,703	△48.4	91,832	△46.5	45,998	△46.3	22,872	△57.8	132,705	△51.8	89,369	△54.5	23,373	△43.0	19,964	△47.7
2021年	141,768	△11.8	79,608	△13.3	42,769	△7.0	19,392	△15.2	126,440	△4.7	83,878	△6.1	20,222	△13.5	22,340	11.9

(注)各年の値は年間確報による。それぞれの調査結果は観光庁ホームページより(2022年7月8日時点)

資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-2-1 日本人の国内宿泊観光・レクリエーション延べ旅行者数の推移



(注)延べ旅行者数の値は、2007~2009年は国民1人当たりの旅行平均回数(回/人)に7月1日時点の推計人口(人)を乗じた値。2010年以降は観光庁確定値

資料：観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

## (3) 宿泊旅行者の内訳

## ●性・年代別(表I-2-2、図I-2-2)

2021年の国内宿泊旅行はほとんどの性・年代でマイナスとなり、特に、男性50～70代と女性60～70代は前年比2～3割減となり、他年代に比べて減少した。前々年比で見ると、男女ともに60～70代の減少が6割と大きい。目的別にみると、特に減少幅が大きかったのは、男性50代の観光および出張・業務(そ

れぞれ約190万人減)、女性60～70代の観光(各年代約130万人減)、女性20代の観光(約120万人減)であった。一方、男性若年層の宿泊旅行全体をみると前年に比べ旅行者数が増えており、10代は16.3%増、20代は2.7%増となった。10代は観光、20代は帰省・知人訪問等での増加幅が大きい。観光に絞ってみると、最も旅行をした年代は男女ともに20代であった。しかしながら、その20代においても、前年比1割減となった。

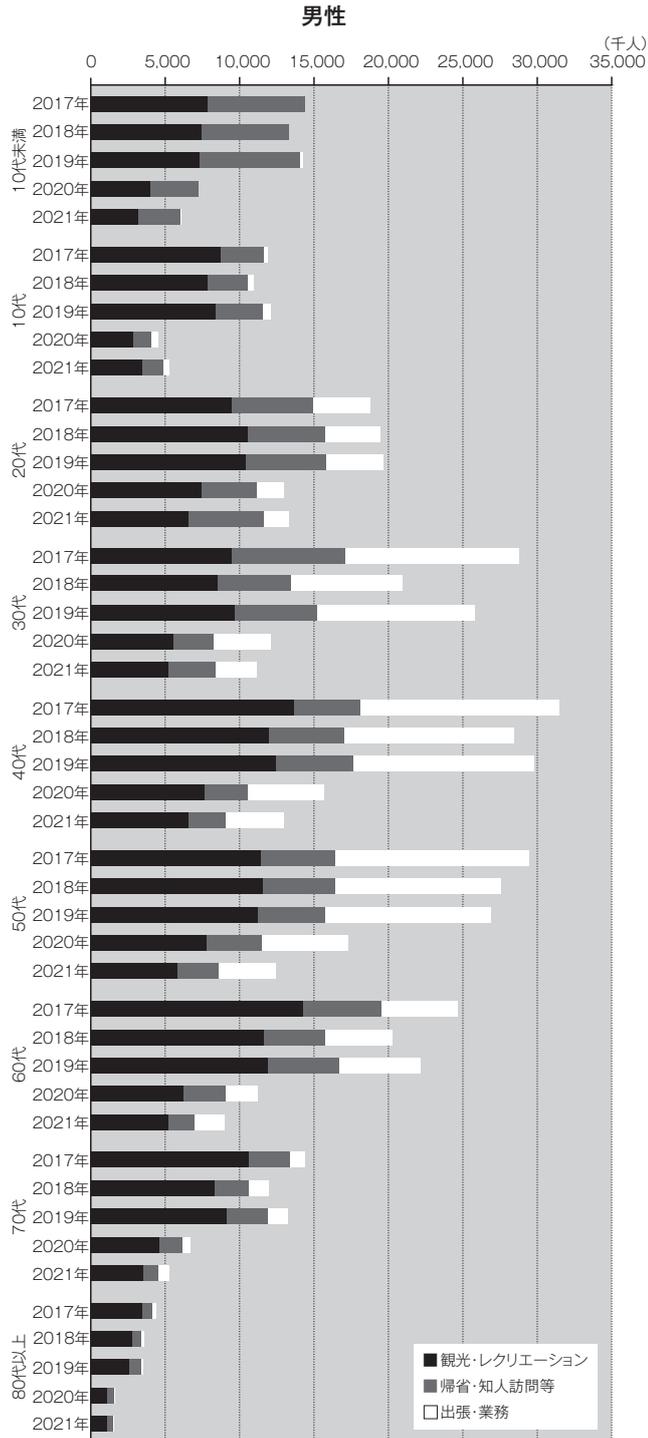
表 I-2-2 性・年代別日本人国内宿泊旅行者数(2021年)

男性		年代									全体
		10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	5,924	5,163	13,043	10,902	12,680	12,169	8,800	5,129	1,530	75,341
	前年比(%)	△15.9	16.3	2.7	△8.0	△17.3	△28.0	△19.6	△21.5	△4.7	△13.7
	前々年比(%)	△57.6	△56.5	△32.3	△56.8	△56.9	△53.8	△59.4	△60.5	△55.6	△54.1
	旅行平均回数(回/人)	1.21	0.92	2.00	1.55	1.40	1.44	1.17	0.68	0.35	1.24
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	3,124	3,416	6,408	5,089	6,381	5,689	5,116	3,445	1,071	39,739
	前年比(%)	△20.5	20.9	△12.1	△6.2	△14.8	△25.3	△15.8	△23.6	△1.3	△14.1
	前々年比(%)	△56.0	△58.4	△37.1	△46.3	△47.4	△48.1	△55.9	△61.5	△56.9	△51.0
	旅行平均回数(回/人)	0.64	0.61	0.98	0.72	0.70	0.67	0.68	0.46	0.25	0.65
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	2,772	1,352	4,951	3,154	2,497	2,760	1,756	984	401	20,627
	前年比(%)	△11.0	14.9	38.6	20.6	△11.8	△23.7	△37.5	△36.0	△15.0	△5.2
	前々年比(%)	△58.3	△55.9	△5.9	△41.7	△51.6	△38.4	△63.2	△63.9	△53.2	△46.2
	旅行平均回数(回/人)	0.57	0.24	0.76	0.45	0.28	0.33	0.23	0.13	0.09	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	27	396	1,684	2,659	3,802	3,720	1,928	700	58	14,975
	前年比(%)	-	△9.8	△8.1	△30.1	△24.1	△34.3	△6.3	45.8	21.0	△22.6
	前々年比(%)	△87.4	△33.0	△55.7	△74.3	△68.7	△65.9	△63.7	△46.3	△43.6	△66.5
	旅行平均回数(回/人)	0.01	0.07	0.26	0.38	0.42	0.44	0.26	0.09	0.01	0.25
女性		年代									全体
		10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	6,033	5,200	12,436	9,372	9,670	9,559	6,836	4,854	2,468	66,428
	前年比(%)	△3.4	△7.3	△8.0	△10.9	△7.4	△4.2	△21.8	△21.6	15.9	△9.5
	前々年比(%)	△55.1	△57.0	△46.2	△51.8	△53.9	△55.1	△61.8	△62.2	△60.7	△54.9
	旅行平均回数(回/人)	1.30	0.97	2.03	1.38	1.09	1.14	0.87	0.55	0.33	1.03
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	3,444	3,335	6,559	5,744	6,129	5,202	4,322	3,488	1,646	39,869
	前年比(%)	△1.3	△7.2	△15.8	△8.1	△6.0	△9.7	△23.1	△26.3	△10.2	△12.5
	前々年比(%)	△52.0	△61.1	△52.3	△46.3	△53.3	△54.7	△63.2	△62.4	△65.3	△56.0
	旅行平均回数(回/人)	0.74	0.62	1.07	0.84	0.69	0.62	0.55	0.39	0.22	0.62
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	2,383	1,430	5,169	3,260	2,448	3,078	2,358	1,203	813	22,142
	前年比(%)	△12.9	△22.5	12.9	△18.3	△27.7	△2.4	△19.2	△14.7	251.2	△8.7
	前々年比(%)	△61.9	△54.9	△25.1	△52.7	△60.9	△60.0	△57.1	△63.2	△41.8	△53.2
	旅行平均回数(回/人)	0.51	0.27	0.84	0.48	0.28	0.37	0.30	0.14	0.11	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	206	436	708	367	1,093	1,279	155	164	9	4,417
	前年比(%)	9.1	154.6	△38.3	30.4	104.8	20.2	△22.9	215.4	△86.5	24.9
	前々年比(%)	1,483.0	29.2	△71.2	△80.1	△31.5	△39.8	△77.0	△46.9	△94.0	△53.5
	旅行平均回数(回/人)	0.04	0.08	0.12	0.05	0.12	0.15	0.02	0.02	0.00	0.07

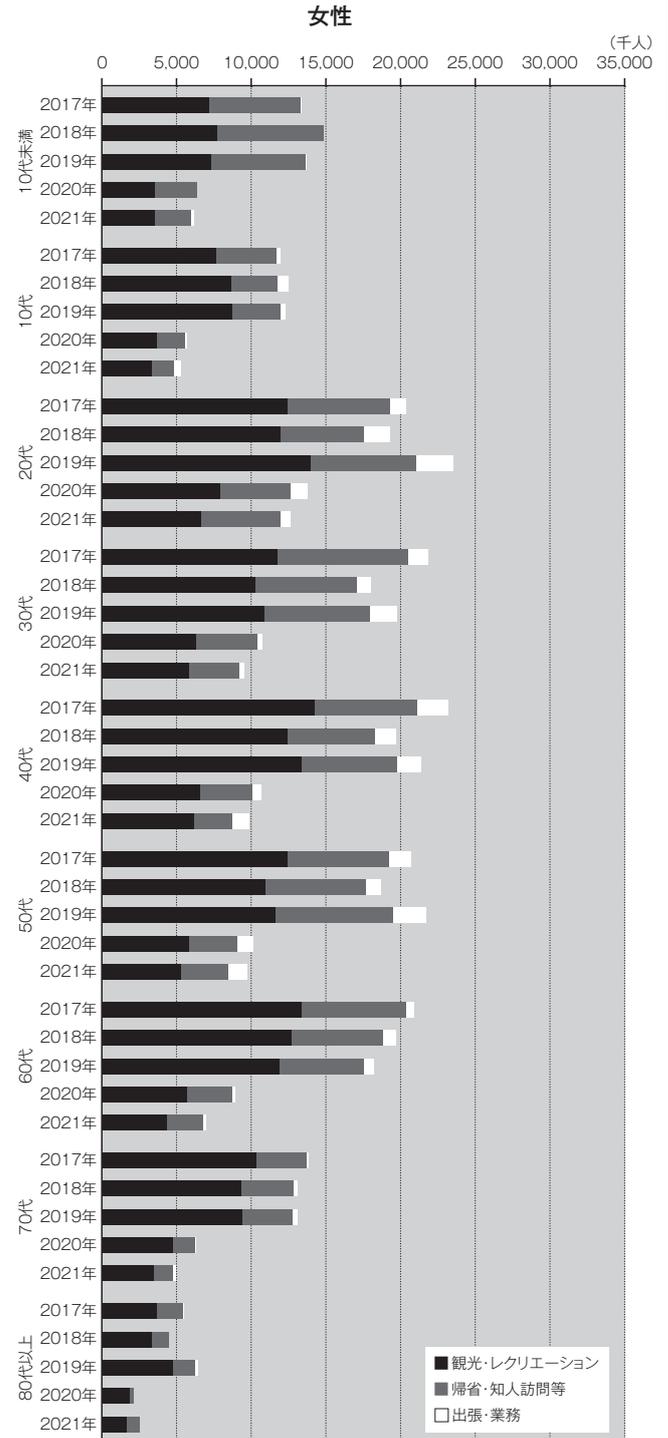
(注)各値は年間確報による。調査結果は観光庁ホームページより(2022年7月8日時点)  
(注)旅行平均回数とは、旅行に行った回数の平均を指す。旅行しなかった人は0回として含めている

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-2-2 性・年代別日本人国内宿泊延べ旅行者数の推移



(注) 図中のデータについては表 I-2-2注と同じ



資料: 観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

●出発月別(表I-2-3、図I-2-3)

国内宿泊観光旅行者数を出発月別にみると、第3波下にあった1~2月はコロナの本格的な感染拡大前との比較のため前年から7割減と大幅減となった。第4波下(3~6月)、第5波下(7~9月)では、第3波下より感染者数は多かったが旅行者数は回復傾向にあり、第5波が落ち着きをみせた11月には宿泊観光旅行者数は1千万人を超え、12月は前々年比1.9%減まで回復した。観光以外の目的も12月は前年比プラスとなり、特に、帰

省・知人訪問等は前年に比べて大幅に増加した。

●居住地別(表I-2-3)

国内宿泊旅行全体でみると、北陸信越(前年比35.4%減)で特に大きく落ち込んだ。一方、沖縄では17.5%増と前年比プラスとなった。目的別にみても、居住地別の旅行者の動向は全体と概ね同傾向であった。

表 I-2-3 出発月・居住地別日本人国内宿泊旅行者数(2021年)

出発月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	6,976	5,727	13,572	8,645	10,955	9,697	11,287	15,214	9,516	12,661	16,919	20,600	141,768
	前年比(%)	△66.3	△66.4	△6.6	118.4	171.1	21.7	4.5	△15.7	△45.6	△13.9	△9.3	61.3	△11.8
	前々年比(%)	△69.2	△64.7	△46.2	△63.0	△69.2	△60.8	△51.8	△65.6	△65.3	△40.3	△29.0	△13.5	△54.5
	旅行平均回数(回/人)	0.06	0.05	0.11	0.07	0.09	0.08	0.09	0.12	0.08	0.10	0.13	0.16	1.13
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	2,802	2,710	7,506	4,296	5,656	4,648	6,891	8,888	5,680	8,001	10,643	11,887	79,608
	前年比(%)	△70.2	△72.1	4.3	178.3	251.4	20.0	8.6	△23.2	△45.9	△14.1	△18.2	53.0	△13.3
	前々年比(%)	△71.9	△71.9	△51.7	△67.0	△71.3	△63.9	△49.0	△63.9	△63.8	△31.5	△20.1	△1.9	△53.6
	旅行平均回数(回/人)	0.02	0.02	0.06	0.03	0.05	0.04	0.06	0.07	0.05	0.06	0.08	0.09	0.63
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	3,161	1,601	4,271	2,661	4,027	3,135	2,841	5,093	2,783	2,761	4,120	6,316	42,769
	前年比(%)	△63.9	△63.9	△20.4	55.4	118.2	24.0	6.9	4.8	△38.8	△6.5	20.7	115.2	△7.0
	前々年比(%)	△67.8	△56.5	△30.9	△57.0	△62.6	△44.6	△43.0	△65.9	△55.0	△39.8	△22.8	△14.1	△50.1
	旅行平均回数(回/人)	0.03	0.01	0.03	0.02	0.03	0.02	0.02	0.04	0.02	0.02	0.03	0.05	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	1,012	1,416	1,796	1,688	1,272	1,914	1,555	1,233	1,053	1,900	2,156	2,397	19,392
	前年比(%)	△60.3	△51.3	△9.2	140.0	116.8	21.9	△13.5	△23.9	△56.7	△22.0	△3.4	16.1	△15.2
	前々年比(%)	△64.0	△50.8	△48.5	△59.2	△75.1	△69.0	△68.4	△73.6	△81.0	△61.5	△58.4	△44.8	△64.2
	旅行平均回数(回/人)	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.02	0.01	0.01	0.01	0.02	0.02	0.02	0.15

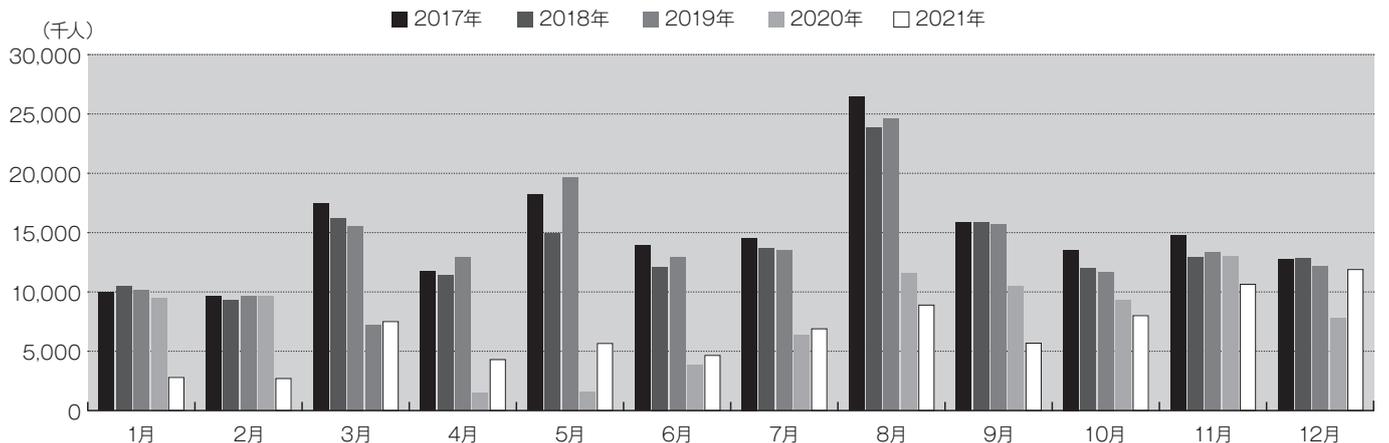
  

居住地		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全体
宿泊旅行全体	延べ旅行者数(千人)	7,251	9,468	53,879	5,341	17,295	24,947	6,362	2,338	13,615	1,272	141,768
	前年比(%)	△10.9	0.1	△14.3	△35.4	△10.0	△2.7	△12.9	△18.2	△14.1	17.5	△11.8
	前々年比(%)	△51.5	△55.4	△56.4	△65.8	△52.8	△45.1	△61.3	△69.7	△51.8	△25.0	△54.5
	旅行平均回数(回/人)	1.39	1.10	1.22	0.83	1.11	1.22	0.88	0.63	1.07	0.88	1.13
観光・レクリエーション	延べ旅行者数(千人)	3,553	5,339	31,591	3,541	9,423	14,105	2,972	1,229	7,127	727	79,608
	前年比(%)	△5.7	△3.2	△16.5	△24.6	△15.8	△11.0	△12.2	△12.3	△4.6	5.7	△13.3
	前々年比(%)	△50.8	△53.9	△54.2	△61.2	△55.4	△47.1	△61.3	△70.7	△50.1	△15.8	△53.6
	旅行平均回数(回/人)	0.68	0.62	0.72	0.55	0.60	0.69	0.41	0.33	0.56	0.50	0.63
帰省・知人訪問等	延べ旅行者数(千人)	2,476	2,922	15,183	1,344	5,221	7,560	2,402	784	4,565	313	42,769
	前年比(%)	0.3	11.1	△6.4	△48.6	△3.4	16.6	△23.3	△24.8	△20.3	12.3	△7.0
	前々年比(%)	△38.1	△50.7	△54.8	△69.6	△38.8	△37.7	△52.2	△64.2	△51.0	△40.6	△50.1
	旅行平均回数(回/人)	0.48	0.34	0.34	0.21	0.33	0.37	0.33	0.21	0.36	0.22	0.34
出張・業務	延べ旅行者数(千人)	1,222	1,207	7,105	457	2,651	3,282	988	325	1,923	232	19,392
	前年比(%)	△35.8	△8.0	△19.4	△52.4	1.7	△0.7	25.4	△21.7	△27.4	100.1	△15.2
	前々年比(%)	△67.3	△67.8	△66.2	△77.9	△62.0	△50.9	△73.4	△75.6	△58.5	△24.3	△64.2
	旅行平均回数(回/人)	0.23	0.14	0.16	0.07	0.17	0.16	0.14	0.09	0.15	0.16	0.15

(注)表中のデータについては表I-2-2注と同じ

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-2-3 出発月別日本人国内宿泊観光・レクリエーション延べ旅行者数の推移



(注)図中のデータについては表I-2-2注と同じ

資料:観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

## 2 着地別（都道府県別）の旅行動向

依然として半数は減少も、増加に転じた都府県も  
密を避けた旅行や近隣旅行の増加が続く

(16.5%減)、佐賀(13.9%減)、愛媛(13.7%減)、広島(12.4%減)、石川(12.1%減)、香川(11.8%減)、福島(10.2%減)、群馬(10.2%減)、岐阜(10.0%減)では前年比1割以上の減少となった。

(各地の詳細な動向については、第IV編観光地参照。)

### (1) 都道府県別国内宿泊者数

2021年の日本人延べ宿泊者数は、23都府県で前年から増加した(表I-2-4)。特に、山梨(16.2%増)、富山(13.5%増)、愛知(11.5%増)、島根(10.7%増)、和歌山(10.1%増)では前年比1割以上の増加となった。一方、24道府県では前年より減少した。沖縄

### (2) 都道府県別旅行内容

ここでは、国内宿泊観光旅行(観光・レクリエーションを目的とする国内宿泊旅行)に絞り、日本人の国内旅行の実態を詳しく見ていく。なお、ここで分析に用いた表データは、全て「JTBF旅行実態調査」による。

表 I-2-4 都道府県別の日本人延べ宿泊者数

(単位：千人泊、%)

訪問先	2017年		2018年		2019年		2020年		2021年		
		前年比		前年比		前年比		前年比	前年比	前々年比	
北海道	27,247	0.9	26,974	△1.0	28,178	4.5	19,393	△31.2	19,297	△0.5	△31.5
青森県	4,305	△11.2	4,710	9.4	4,249	△9.8	3,237	△23.8	3,543	9.4	△16.6
岩手県	5,770	△5.6	5,840	1.2	5,933	1.6	4,224	△28.8	4,532	7.3	△23.6
宮城県	8,742	△8.6	10,003	14.4	10,371	3.7	6,440	△37.9	6,374	△1.0	△38.5
秋田県	3,060	△8.2	3,382	10.5	3,515	3.9	2,520	△28.3	2,533	0.5	△27.9
山形県	5,143	△4.0	5,268	2.4	5,338	1.3	3,426	△35.8	3,424	0.0	△35.9
福島県	10,266	1.4	11,220	9.3	12,443	10.9	9,448	△24.1	8,485	△10.2	△31.8
茨城県	5,422	0.7	5,638	4.0	6,082	7.9	4,290	△29.5	4,159	△3.0	△31.6
栃木県	9,874	△1.9	9,146	△7.4	9,205	0.6	6,414	△30.3	6,746	5.2	△26.7
群馬県	8,539	1.2	8,016	△6.1	8,356	4.2	5,564	△33.4	4,999	△10.2	△40.2
埼玉県	4,118	△4.3	4,682	13.7	5,217	11.4	3,449	△33.9	3,464	0.4	△33.6
千葉県	19,462	5.0	21,470	10.3	24,431	13.8	12,990	△46.8	13,447	3.5	△45.0
東京都	39,080	△1.0	42,915	9.8	49,631	15.7	32,760	△34.0	35,136	7.3	△29.2
神奈川県	16,859	1.6	20,268	20.2	20,635	1.8	14,535	△29.6	14,568	0.2	△29.4
新潟県	9,949	0.1	9,366	△5.9	10,450	11.6	6,714	△35.8	6,673	△0.6	△36.1
富山県	3,348	5.1	3,474	3.8	3,450	△0.7	2,177	△36.9	2,470	13.5	△28.4
石川県	7,801	△3.4	8,157	4.6	8,216	0.7	5,014	△39.0	4,408	△12.1	△46.3
福井県	3,516	△3.8	3,981	13.2	4,046	1.6	2,541	△37.2	2,346	△7.7	△42.0
山梨県	6,323	△9.4	6,652	5.2	7,017	5.5	4,005	△42.9	4,655	16.2	△33.7
長野県	16,878	1.2	16,798	△0.5	16,475	△1.9	10,716	△35.0	10,502	△2.0	△36.3
岐阜県	5,019	△6.6	5,367	6.9	5,644	5.2	4,210	△25.4	3,789	△10.0	△32.9
静岡県	19,156	△2.6	20,068	4.8	20,936	4.3	14,102	△32.6	13,905	△1.4	△33.6
愛知県	14,925	5.4	14,160	△5.1	15,704	10.9	10,408	△33.7	11,605	11.5	△26.1
三重県	7,913	△11.6	8,560	8.2	8,211	△4.1	5,011	△39.0	5,028	0.4	△38.8
滋賀県	4,007	△7.9	4,419	10.3	4,592	3.9	2,624	△42.9	2,611	△0.5	△43.1
京都府	12,905	△1.1	14,183	9.9	18,725	32.0	12,190	△34.9	11,665	△4.3	△37.7
大阪府	20,991	0.0	24,774	18.0	29,501	19.1	16,492	△44.1	17,796	7.9	△39.7
兵庫県	12,695	0.4	12,132	△4.4	13,050	7.6	8,796	△32.6	8,757	△0.4	△32.9
奈良県	2,087	△5.8	2,134	2.2	2,191	2.7	1,423	△35.1	1,541	8.3	△29.7
和歌山県	4,342	5.7	4,548	4.7	4,666	2.6	3,324	△28.8	3,660	10.1	△21.6
鳥取県	2,908	0.6	3,368	15.8	2,703	△19.7	2,086	△22.8	2,150	3.1	△20.5
島根県	3,202	△6.1	2,904	△9.3	3,538	21.8	2,438	△31.1	2,699	10.7	△23.7
岡山県	5,043	△0.4	5,145	2.0	5,174	0.6	3,701	△28.5	3,501	△5.4	△32.3
広島県	8,552	△2.3	8,662	1.3	10,308	19.0	6,577	△36.2	5,761	△12.4	△44.1
山口県	4,291	△6.1	4,229	△1.4	3,658	△13.5	3,081	△15.8	3,212	4.2	△12.2
徳島県	2,005	△13.3	2,108	5.1	2,435	15.5	1,429	△41.3	1,502	5.1	△38.3
香川県	3,005	△12.2	3,502	16.5	3,888	11.0	2,448	△37.0	2,159	△11.8	△44.5
愛媛県	4,288	10.1	4,020	△6.3	4,169	3.7	2,940	△29.5	2,538	△13.7	△39.1
高知県	2,642	△3.8	2,935	11.1	2,808	△4.3	1,946	△30.7	1,907	△2.0	△32.1
福岡県	14,868	7.7	13,365	△10.1	16,158	20.9	9,969	△38.3	9,761	△2.1	△39.6
佐賀県	2,626	△5.9	2,361	△10.1	2,442	3.4	1,781	△27.1	1,534	△13.9	△37.2
長崎県	7,074	6.2	6,995	△1.1	6,496	△7.1	4,436	△31.7	4,498	1.4	△30.7
熊本県	6,810	0.8	7,040	3.4	6,698	△4.9	4,591	△31.5	4,650	1.3	△30.6
大分県	5,686	△5.6	6,332	11.4	6,696	5.7	4,698	△29.8	4,262	△9.3	△36.3
宮崎県	3,601	6.0	3,832	6.4	3,994	4.2	3,020	△24.4	2,793	△7.5	△30.1
鹿児島県	7,353	9.4	8,034	9.3	7,526	△6.3	5,005	△33.5	5,086	1.6	△32.4
沖縄県	16,492	△1.6	20,590	24.8	25,115	22.0	12,725	△49.3	10,626	△16.5	△57.7

(注)日本人延べ宿泊者数は、全延べ宿泊者数から外国人延べ宿泊者数を差し引いて集計した

資料：観光庁「宿泊旅行統計調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

## ①旅行先とマーケットセグメント(表I-2-5)

全体的な傾向としては、『家族旅行』と『ひとり旅』が前年と比べて微増した。『友人や知人との旅行』はコロナ禍前と比べて減少が続き、前年から1.8ポイント減、前々年と比べて3.5ポイント減となった。一方、『夫婦・カップルでの旅行』は前年に比べると微減だが、コロナ禍前の前々年と比べると3.1ポイント増であった。

都道府県別にみると、42道府県で『夫婦・カップルでの旅行』がトップシェアとなった。特に、「秋田」「富山」「佐賀」では全体よりも10ポイント以上高く、その他、「神奈川」「石川」「岐阜」「滋賀」「鳥取」「島根」「愛媛」「熊本」でも高いシェアとなった。『夫婦旅行(子育て後)』は、「秋田」では全体に比べて15ポイント以上高い。

『家族旅行』がトップシェアとなったのは「千葉」「三重」であった。『子ども連れ家族旅行』は東京ディズニーリゾートを有する「千葉」で、例年同様、特に高い値となった。また、『大人のみ家族旅行』は「岩手」「京都」「奈良」で、『3世代の家族旅行』は「奈良」「和歌山」「長崎」で、全体と比べ高い値を示した。

『友人や知人との旅行』は、「新潟」「福井」「愛媛」「高知」が全体に比べて高い傾向にあった。

『ひとり旅』については、「東京」「大阪」「高知」で男女ともに高く、「大阪」ではトップシェアとなった。『ひとり旅』は、全体的に男性のほうが高い値を示す傾向がみられるが、「宮城」「徳島」では女性ひとり旅も目立つ。

## ②旅行先と居住地(表I-2-6)

旅行者全体の居住地構成としては、前年およびコロナ禍前の前々年から大きな変動はなく、人口の多い南関東が3割を占め、近畿1.5割強、東海および九州・沖縄がそれぞれ1割で続く。いずれの地域においても、大都市居住者(南関東・近畿)と近隣居住者が重要なマーケットとなっているが、コロナの影響を受け、近隣居住者の比率が大幅に高まった状態が前年から続いている。

北海道は、コロナ禍前の前々年は南関東居住者のシェアが最も高かったが、コロナ禍においては道内居住者率が高まり、2020年は48.4%、2021年50.3%と約半数を占めた。

東北地方も、東北地方在住の旅行者のシェアが4割以上を占め、前年からの域内旅行者割合の高まりが続く。

北関東は例年同様、南関東居住者のシェアが最も高く、5~6割を占めた。次点の北関東居住者は、コロナ禍においてその比率が急増したが、2021年も高い状態が続き、コロナ禍前と比べて15ポイント程度高まっている。南関東の「埼玉」「千葉」「神奈川」も、南関東居住者がコロナ禍前に比べて20ポイント程度高まった状態が続いた。「東京」は、他道府県に比べて全国各地から観光客が訪れることから南関東居住者のシェアは3割にとどまった。なお、南関東居住者は前年から微減したものの、コロナ禍前からは2割程度増加している。

甲信越、北陸および東海地方でも、域内居住者の比率の高まりが続く。ただし、「岐阜」は隣接する近畿居住者の増加もあり、東海居住者のシェアは前年比マイナスとなった。

近畿地方のうち、「滋賀」「兵庫」「奈良」「和歌山」は近隣居住

者である近畿居住者のシェアが最も大きい。「京都」「大阪」は、トップシェアは前年同様、南関東居住者であった。いずれの地域も、域内居住者の比率はコロナ禍前と比べて高い。

中国および四国地方も同様の傾向がみられ、近隣居住者の比率は前年と比べると減少した地域もあるものの、いずれもコロナ禍前の前々年と比べると増加している。「鳥取」「岡山」「徳島」「香川」は近隣の大都市圏である近畿地方居住者がトップシェアであり、主要なマーケットとなっている。

九州地方は、例年九州在住の旅行者が多いが、前年と比べてもさらに域内居住者率が高まった。「沖縄」は、コロナ禍前の前々年と比べると九州・沖縄居住者が増加しているものの、トップシェアは南関東からの旅行者であり、3割を占めた。

## ③旅行先と最も楽しみにしていたこと(表I-2-7)

旅行の楽しみの2トップは『温泉に入ること』『おいしいものを食べること』で、それぞれ2割強を占めた。前年、トップが『おいしいものを食べること』から『温泉に入ること』に入れ替わったが、コロナ禍にあつて『温泉に入ること』はさらに伸ばし、前年比2.1ポイント増、コロナ禍前の前々年と比べると7.6ポイント増となった。その後には『自然景観を見ること』が続き、1割を占めた。5位には前年7位の『目当ての宿泊施設に泊まること』が入った。6.6%と大きなシェアとはなっていないが、前年からは0.8ポイント増、コロナ禍前の前々年からは4.1ポイント増となり、順位を伸ばした。その一方で、『文化的な名所を見ること』『観光・文化施設を訪れること』は、前年に続いて減少傾向が続いた。

都道府県別にみると、1つの目的のシェアが4割を超えたのは「岩手」「秋田」「群馬」「岐阜」「大分」の『温泉に入ること』、「福井」の『おいしいものを食べること』であった。一方、「埼玉」「東京」「広島」などは特定の目的への集中が他道府県に比べてみられず、分散傾向にあった。

『温泉に入ること』は、草津・伊香保温泉などを有する「群馬」、別府・由布院温泉などを有する「大分」で、前年に続いて4割以上を占め、かつ、全体に比べて15ポイント以上高い。花巻・八幡平温泉郷などを有する「岩手」、玉川・乳頭温泉などを有する「秋田」、下呂・平湯温泉などを有する「岐阜」も同様に、4割以上を占めた。『おいしいものを食べること』は、越前がにや丸焼き鯖に代表される「福井」、イカ料理や佐賀牛・伊万里牛に代表される「佐賀」で特徴的な楽しみであり、4割を占め、かつ、全体に比べ15ポイント以上高い。『自然景観を見ること』は、3割以上を占める都道府県はないものの、「埼玉」「山口」「沖縄」で2割を占め、かつ、全体に比べ10ポイント以上高い。『文化的な名所を見ること』は、「京都」「奈良」「島根」で3割を占め、かつ、全体に比べ15ポイント以上高い。近畿および中国地方でのシェアが高い。『目当ての宿泊施設に泊まること』は、「福井」「広島」「宮崎」で、『スポーツやアウトドア活動を楽しむこと』は「長野」「沖縄」でのシェアが高い。『観光・文化施設を訪れること』は、東京ディズニーリゾートのある「千葉」、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのある「大阪」で全体より15ポイント以上高い値となった。

表 I-2-5 旅行先別のマーケットセグメント(同行者×ライフステージ)

(単位：%)

同行者 旅行先	家族旅行					夫婦・カップルでの旅行					友人や知人との旅行						ひとり旅			サンプル数						
	子ども連れ		大人のみ	※3世代		カップル	(子どもなし) 夫婦旅行	子育て中	子育て後		男性			女性			男性	女性	その他							
	(小中高生を含まない)	乳幼児連れ									未婚	既婚 (子どもなし)	子育て中	子育て後	未婚	既婚 (子どもなし)					子育て中	子育て後	未婚	既婚 (子どもなし)	子育て中	子育て後
全体	28.8	5.6	12.4	10.8	6.1	38.7	11.1	9.7	1.5	16.4	14.3	3.6	0.8	0.8	1.8	3.1	1.0	0.2	2.9	16.6	10.9	5.7	1.6	(5803)		
前年	27.9	5.4	11.1	11.4	6.4	39.2	10.0	10.7	1.5	16.9	16.1	4.4	0.6	0.6	2.4	3.8	0.9	0.4	2.9	15.4	10.5	4.9	1.4	(6511)		
前々年	27.7	5.7	11.7	10.3	7.5	35.6	9.3	9.0	2.2	15.2	17.8	3.8	0.9	1.2	2.1	4.4	1.4	0.4	3.6	16.9	11.1	5.8	2.0	(9364)		
北海道	25.7	3.1	11.0	11.6	6.3	40.3	10.8	10.3	1.7	17.5	11.4	3.0	1.2	0.6	1.3	2.2	0.5	0.0	2.6	21.6	14.4	7.2	1.0	(390)		
青森県	17.6	6.4	7.7	3.4	1.5	41.4	9.2	12.0	0.0	20.2	16.9	4.2	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	0.0	8.3	24.0	14.6	9.4	0.0	(86)		
岩手県	30.2	7.7	4.1	18.4	2.6	43.2	6.7	14.6	2.2	19.8	13.5	4.7	0.5	0.5	0.6	3.3	0.0	0.0	3.7	12.6	7.9	4.7	0.5	(144)		
宮城県	22.5	3.5	12.6	6.4	5.0	36.5	10.8	6.1	1.6	18.0	16.1	3.4	0.9	0.5	2.0	4.6	0.0	0.0	4.6	24.5	13.7	10.8	0.4	(175)		
秋田県	19.2	5.4	4.6	9.3	5.8	51.5	1.1	12.5	2.8	35.0	9.9	1.6	0.7	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	2.9	16.3	12.4	3.9	3.2	(80)		
山形県	23.9	1.0	8.5	14.4	3.6	41.8	7.2	6.3	4.8	23.5	15.7	4.2	0.0	2.5	2.0	3.5	0.0	0.0	3.4	17.4	15.9	1.5	1.2	(95)		
福島県	22.8	3.1	9.7	10.0	1.3	38.8	8.5	11.2	1.7	17.4	16.4	5.5	0.9	0.4	3.0	2.5	2.6	0.0	1.4	22.1	16.6	5.5	0.0	(141)		
茨城県	24.0	1.9	12.1	10.0	3.8	39.2	9.1	5.1	2.2	22.8	16.7	1.1	1.1	3.2	5.2	1.1	0.0	1.1	4.0	14.8	8.4	6.5	5.2	(70)		
栃木県	31.7	9.7	10.3	11.6	5.7	38.4	11.7	9.0	1.2	16.5	16.6	6.5	3.0	0.5	0.9	4.3	0.8	0.0	0.7	10.1	7.0	3.1	3.2	(194)		
群馬県	31.4	6.0	13.4	11.9	6.6	39.3	6.2	8.2	1.7	23.2	18.0	6.3	0.0	0.0	3.4	5.4	0.0	0.0	2.8	10.7	8.5	2.1	0.7	(185)		
埼玉県	31.5	8.5	14.0	9.0	6.0	35.7	11.4	10.3	1.9	12.0	14.5	3.4	0.0	0.7	0.0	7.2	1.2	0.0	2.0	18.4	11.7	6.6	0.0	(78)		
千葉県	48.4	10.4	25.6	12.5	10.1	28.4	14.2	4.0	1.1	9.0	9.5	2.0	1.1	0.6	1.8	2.9	1.0	0.2	0.0	12.4	7.2	5.3	1.3	(240)		
東京都	16.6	2.7	5.2	8.7	2.9	33.2	15.6	8.4	1.4	7.9	12.9	3.0	0.0	0.6	0.8	4.4	0.8	0.0	3.2	36.8	21.9	14.9	0.5	(334)		
神奈川県	24.9	5.5	10.0	9.3	5.4	44.1	15.4	12.9	1.9	13.8	13.6	3.4	0.9	0.8	0.6	4.7	0.5	0.0	2.8	15.9	9.7	6.2	1.5	(311)		
新潟県	21.2	3.8	8.7	8.7	3.2	42.3	10.2	12.1	0.9	19.1	19.9	5.5	0.8	0.8	3.9	2.3	0.9	0.0	5.7	13.5	9.5	4.0	3.1	(166)		
富山県	12.6	2.8	5.2	4.6	6.0	49.1	9.9	8.8	2.3	28.0	13.2	3.3	1.6	1.2	2.5	1.1	1.6	0.0	1.9	21.8	18.8	2.9	3.4	(82)		
石川県	22.1	2.8	12.1	7.2	5.1	45.8	13.4	11.9	0.0	20.5	17.7	6.6	0.0	0.5	3.5	1.1	2.0	1.0	3.0	12.4	8.5	4.0	1.9	(144)		
福井県	26.9	3.4	14.6	8.8	6.8	39.6	10.7	7.0	3.7	18.2	19.6	3.4	0.8	1.6	4.8	2.6	0.8	0.0	5.6	12.1	11.3	0.8	1.7	(88)		
山梨県	32.6	6.6	15.1	10.9	5.1	37.2	12.5	9.4	0.0	15.4	13.8	2.6	1.5	0.9	1.6	1.5	1.9	0.9	2.8	15.4	11.1	4.3	1.0	(173)		
長野県	27.5	3.9	9.6	14.0	5.1	41.1	9.2	10.9	1.5	19.5	17.4	4.0	1.9	0.4	3.1	4.4	0.5	0.0	3.0	11.9	7.1	4.8	2.0	(320)		
岐阜県	26.8	7.8	6.3	12.7	5.7	44.1	9.9	15.5	2.7	16.1	14.0	5.8	0.0	1.7	2.5	2.4	0.0	0.0	1.7	14.0	12.8	1.1	1.0	(127)		
静岡県	30.5	6.3	13.1	11.2	6.7	38.6	12.0	8.7	1.8	16.1	12.2	3.0	0.2	0.2	2.1	2.9	0.8	0.4	2.5	16.7	10.6	6.2	2.0	(373)		
愛知県	26.8	4.2	14.2	8.4	6.0	33.3	10.8	8.8	2.5	11.1	15.7	6.1	1.1	1.5	1.2	2.1	2.0	0.0	1.8	22.9	14.3	8.6	1.3	(189)		
三重県	37.8	10.5	12.5	14.9	6.5	31.4	5.6	8.2	0.8	16.7	18.1	6.0	1.1	0.0	2.9	1.3	0.0	0.0	6.9	12.7	12.7	0.0	0.0	(164)		
滋賀県	23.2	1.8	13.5	8.0	4.7	47.1	5.0	18.4	1.5	22.2	15.3	4.3	0.0	0.0	0.8	5.3	1.1	0.0	3.8	14.4	13.0	1.4	0.0	(94)		
京都府	26.8	2.2	8.5	16.1	4.3	38.2	12.6	10.3	1.5	13.9	16.7	6.0	0.3	0.3	1.1	4.1	2.4	0.0	2.6	17.1	10.7	6.4	1.2	(283)		
大阪府	26.4	5.8	13.2	7.4	6.1	26.3	13.6	4.6	0.9	7.3	15.4	4.9	0.6	1.1	0.7	6.5	0.9	0.0	0.9	31.2	20.0	11.3	0.6	(247)		
兵庫県	32.1	6.2	10.8	15.0	9.4	36.0	8.6	9.6	0.9	16.9	17.3	3.3	0.6	0.0	3.1	3.7	0.3	1.0	5.3	11.5	7.3	4.3	3.1	(231)		
奈良県	32.4	6.1	7.6	18.7	11.8	36.9	10.0	9.2	2.9	14.7	14.3	4.0	0.0	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	8.3	15.0	12.6	2.4	1.4	(71)		
和歌山県	28.6	6.8	15.1	6.6	11.1	40.8	7.4	6.7	3.6	23.1	15.0	5.7	1.0	0.0	2.0	2.4	0.7	0.0	3.2	14.3	8.8	5.5	1.3	(104)		
鳥取県	19.5	4.1	12.0	3.4	2.9	47.9	6.9	10.0	0.0	31.0	19.2	4.9	1.5	2.1	3.7	5.6	0.0	0.0	1.5	11.0	7.7	3.3	2.4	(63)		
島根県	15.5	6.7	5.2	3.6	4.7	47.0	9.3	13.6	0.0	24.1	13.1	2.9	2.3	0.0	2.1	2.1	1.4	0.0	2.3	24.4	18.3	6.0	0.0	(72)		
岡山県	31.1	7.1	12.7	11.2	2.2	35.2	10.2	9.4	0.6	14.9	15.2	8.2	0.0	1.7	1.7	2.2	1.4	0.0	0.0	18.6	13.7	4.8	0.0	(93)		
広島県	21.7	2.6	9.4	9.7	4.7	39.4	10.5	12.5	0.9	15.6	10.5	4.0	0.0	0.9	0.8	1.8	2.3	0.0	0.6	26.6	20.3	6.3	1.8	(151)		
山口県	35.0	8.6	11.2	15.2	9.0	38.2	9.7	7.4	0.0	21.1	10.1	2.3	0.0	3.2	0.0	1.4	0.0	0.0	3.2	16.2	13.0	3.2	0.6	(105)		
徳島県	21.8	0.0	13.4	8.4	4.9	41.1	8.9	7.2	1.6	23.4	12.7	5.3	0.0	0.0	2.6	3.8	0.0	0.0	1.0	19.5	8.6	10.9	4.9	(57)		
香川県	28.0	4.4	18.6	5.0	5.0	41.4	8.1	9.0	0.0	24.3	16.3	6.3	0.0	3.0	1.7	4.1	0.0	0.0	1.2	13.4	7.4	6.0	0.9	(83)		
愛媛県	21.5	3.0	12.1	6.4	6.7	44.8	15.2	6.4	1.3	22.0	20.5	7.0	0.0	1.3	3.1	1.7	1.2	0.0	6.3	12.2	5.9	6.3	1.0	(79)		
高知県	18.8	3.0	6.1	9.7	1.1	27.8	9.8	9.9	0.0	8.1	24.8	8.1	0.0	4.7	1.4	1.4	0.0	0.0	9.1	28.6	17.0	11.6	0.0	(52)		
福岡県	25.2	4.7	8.8	11.6	5.2	39.6	14.5	12.7	1.1	11.5	10.5	4.8	0.0	0.5	1.5	1.3	0.5	0.5	1.4	23.6	17.7	5.9	1.0	(199)		
佐賀県	15.7	2.7	7.7	5.3	4.7	50.8	14.2	18.3	0.0	18.4	16.2	0.0	0.0	0.0	1.7	6.3	4.0	0.0	4.2	14.6	14.6	0.0	2.6	(55)		
長崎県	35.0	7.5	18.2	9.4	11.6	40.3	8.8	13.4	1.2	16.9	7.4	1.4	1.2	0.0	2.6	0.8	0.0	0.0	1.4	16.4	11.5	4.9	0.9	(109)		
熊本県	31.8	2.5	15.4	13.8	7.3	44.4	12.4	10.5	4.0	17.5	6.9	1.8	0.0	0.6	0.0	1.8	0.8	0.0	1.9	14.6	10.8	3.8	2.4	(118)		
大分県	34.1	7.6	15.6	10.9	9.2	36.8	13.6	8.0	2.1	13.1	16.0	4.9	0.0	1.8	2.2	4.4	1.5	0.0	1.3	11.1	8.2	2.8	2.0	(163)		
宮崎県	26.0	2.4	17.2	6.5	0.9	41.3	11.0	16.7	1.5	12.2	16.3	10.1	0.0	0.0	0.0	2.3	2.4	1.5	0.0	16.4	14.1	2.3	0.0	(63)		
鹿児島県	24.1	8.9	10.6	4.7	8.2	36.7	12.1	9.3	1.5	13.8	13.6	1.8	3.4	0.0	3.4	0.0	0.9	0.9	3.3	24.9	16.1	8.9	0.7	(105)		
沖縄県	22.5	3.6	11.8	7.1	8.0	3																				

表I-2-6 旅行先(都道府県)別の旅行者居住地

(単位：%)

居住地 旅行先	居住地													サンプル数
	北海道	北東北 青森、 岩手、 秋田	南東北 宮城、 山形、 福島	北関東 茨城、 栃木、 群馬	南関東 埼玉、 千葉、 東京、 神奈川	甲信越 新潟、 山梨、 長野	北陸 富山、 石川、 福井	東海 岐阜、 静岡、 愛知、 三重	近畿 滋賀、 京都、 大阪、 兵庫、 奈良、 和歌山	中国 鳥取、 島根、 岡山、 広島、 山口	四国 徳島、 香川、 愛媛、 高知	九州・沖縄 福岡、 佐賀、 長崎、 熊本、 大分、 宮崎、 鹿児島、 沖縄		
全体	4.4	3.1	4.0	5.0	30.7	3.9	2.7	11.4	16.2	4.8	2.4	11.4	(5803)	
前年	4.1	3.0	4.0	5.0	30.5	3.7	2.7	11.6	16.6	4.8	2.5	11.4	(6511)	
前々年	4.2	3.0	4.6	4.9	30.1	4.1	2.4	11.6	16.3	4.9	2.8	11.1	(9364)	
北海道	50.3	1.5	1.8	1.0	25.9	1.2	0.8	4.9	7.7	1.2	1.1	2.6	(390)	
青森県	4.4	39.3	8.0	6.6	24.1	3.3	1.1	3.6	5.7	0.0	0.0	3.9	(86)	
岩手県	1.9	49.9	11.5	5.6	24.4	0.6	1.1	0.4	4.6	0.0	0.0	0.0	(144)	
宮城県	3.5	5.4	40.5	5.1	26.9	3.4	1.2	0.3	10.6	0.0	0.3	2.8	(175)	
秋田県	0.0	49.5	8.8	3.5	22.6	3.8	1.6	2.4	2.5	0.0	0.0	5.3	(80)	
山形県	0.8	5.9	43.2	6.8	28.1	4.9	1.4	1.4	6.8	0.0	0.0	0.8	(95)	
福島県	0.7	2.9	40.1	10.9	36.8	2.0	0.9	0.8	2.6	0.9	0.0	1.4	(141)	
茨城県	0.0	1.9	3.5	34.2	47.8	0.0	2.1	5.1	3.3	0.0	0.0	2.2	(70)	
栃木県	0.5	2.2	2.8	28.4	59.2	1.6	0.0	2.6	1.9	0.0	0.0	0.7	(194)	
群馬県	0.9	1.4	1.7	26.0	58.6	6.0	0.0	2.3	2.1	0.0	0.0	0.8	(185)	
埼玉県	1.3	5.0	0.0	8.1	65.0	0.0	0.0	12.5	5.6	1.3	1.2	0.0	(78)	
千葉県	0.8	0.2	1.0	9.9	62.1	3.7	0.6	4.5	10.7	0.6	0.8	5.2	(240)	
東京都	4.3	1.2	5.1	5.0	28.0	5.1	1.5	16.3	19.5	2.9	2.3	8.8	(334)	
神奈川県	1.0	0.7	1.6	7.6	63.6	3.4	0.5	9.3	6.9	0.4	0.7	4.2	(311)	
新潟県	0.8	1.8	3.1	7.0	32.6	41.0	1.3	5.0	6.0	0.5	0.0	0.9	(166)	
富山県	0.0	0.0	0.7	2.3	30.1	3.4	35.3	5.0	13.4	0.0	0.0	9.8	(82)	
石川県	0.5	0.8	0.0	0.5	23.4	6.9	27.1	8.8	29.8	0.6	0.0	1.5	(144)	
福井県	0.0	0.0	0.0	0.0	26.2	0.7	26.9	17.7	23.9	0.0	3.9	0.8	(88)	
山梨県	0.0	0.0	0.3	6.3	61.5	8.6	1.2	13.2	5.8	0.3	0.9	1.8	(173)	
長野県	0.0	0.4	1.0	4.7	43.6	15.2	4.1	15.2	13.4	1.1	0.5	0.9	(320)	
岐阜県	1.2	0.0	0.0	1.5	21.2	4.2	5.0	43.7	18.4	1.2	0.7	2.8	(127)	
静岡県	0.0	0.0	0.4	4.5	54.8	2.9	1.2	27.0	6.4	1.0	0.6	1.3	(373)	
愛知県	1.5	0.0	0.0	1.2	24.2	2.6	2.4	40.6	23.4	1.7	0.0	2.5	(189)	
三重県	2.2	0.0	0.0	1.4	12.6	1.2	0.5	49.9	30.3	0.6	0.0	1.4	(164)	
滋賀県	0.0	0.0	0.0	0.8	18.4	0.0	1.4	21.5	51.5	3.3	1.1	2.1	(94)	
京都府	0.9	0.3	1.5	1.2	34.3	1.5	1.5	13.0	29.2	3.4	2.4	10.7	(283)	
大阪府	1.4	1.1	1.6	4.3	28.6	1.6	3.1	11.1	27.9	4.6	3.4	11.3	(247)	
兵庫県	1.2	0.7	0.2	0.7	11.9	0.6	1.7	8.5	63.5	4.2	3.4	3.5	(231)	
奈良県	4.1	0.0	0.0	5.0	18.0	0.0	2.9	16.0	42.1	1.1	3.0	7.9	(71)	
和歌山県	2.8	0.0	0.0	0.0	13.1	0.0	2.6	20.9	53.2	3.1	0.7	3.7	(104)	
鳥取県	0.0	0.0	3.8	0.0	7.0	2.9	1.2	6.0	40.1	29.4	7.0	2.6	(63)	
島根県	2.1	0.0	3.5	2.0	11.2	3.3	0.0	4.1	22.0	34.0	4.3	13.4	(72)	
岡山県	1.7	0.0	0.0	0.0	14.6	4.3	0.8	6.2	32.0	30.3	6.9	3.3	(93)	
広島県	1.9	0.0	0.0	1.8	20.2	1.0	0.0	7.8	22.9	30.6	5.4	8.3	(151)	
山口県	0.0	0.0	1.4	0.9	2.1	3.2	0.0	0.0	19.1	56.0	1.0	16.3	(105)	
徳島県	1.3	0.0	0.0	4.0	8.7	0.0	0.0	10.7	35.2	15.4	17.7	7.1	(57)	
香川県	1.2	1.2	0.9	0.0	9.7	0.0	0.0	1.6	38.8	20.1	22.7	3.8	(83)	
愛媛県	1.8	0.0	0.0	0.0	12.4	0.0	0.0	6.0	25.1	10.0	35.0	9.6	(79)	
高知県	3.4	1.9	0.0	4.4	11.1	0.0	0.0	7.5	19.9	12.1	30.0	9.8	(52)	
福岡県	1.2	0.0	1.5	2.2	22.8	1.4	0.0	3.2	15.0	10.0	0.8	41.8	(199)	
佐賀県	0.0	0.0	1.7	0.0	11.5	0.0	0.0	5.5	5.6	6.4	4.1	65.3	(55)	
長崎県	0.8	0.0	0.0	0.0	10.6	0.0	0.0	3.0	5.0	3.5	2.9	74.2	(109)	
熊本県	1.6	0.0	0.8	1.1	9.2	0.6	0.0	1.5	5.8	5.8	0.8	72.8	(118)	
大分県	1.4	0.0	0.6	1.4	6.6	0.0	0.0	2.8	8.0	7.7	2.6	68.9	(163)	
宮崎県	1.4	0.0	0.0	3.0	5.7	0.9	2.1	0.0	3.8	2.6	1.2	79.3	(63)	
鹿児島県	1.4	0.0	0.0	1.4	17.1	1.8	0.0	3.0	2.1	5.9	0.5	66.7	(105)	
沖縄県	4.5	0.0	0.5	4.5	33.4	0.8	2.3	10.1	9.2	4.6	3.7	26.3	(183)	

(注)1回の旅行につき、複数の旅行先(都道府県)を選択したデータを含む。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

表 I-2-7 旅行先(都道府県)別の最も楽しみにしていたこと

(単位：%)

楽しみ 旅行先	温泉に入ること	おいしいものを 食べる	自然景観を見ること	文化的な名所(史跡、寺 社仏閣など)を見ること	目当ての宿泊施設に 泊まること	スポーツやアウトドア 活動を楽しむこと	観光・文化施設(水族館 や美術館、テーマパーク など)を訪れること	帰省・冠婚葬祭・ 親族や知人訪問	自然の豊かさを 体験すること	芸術・音楽・スポーツ などの観劇・鑑賞・観戦	買い物をする	街や都市を訪れる	地域の祭りやイベント	地域の文化を 体験すること	その他	サンプル数
全体	23.0	21.4	10.1	7.0	6.6	6.2	5.5	4.4	3.8	3.1	2.8	2.7	0.7	0.6	2.3	(5803)
前年	20.9	20.8	11.1	8.2	5.7	6.0	6.7	4.3	3.7	2.6	2.5	3.6	0.9	0.4	2.4	(6511)
前々年	15.4	18.7	12.2	11.7	2.5	6.2	9.3	4.0	3.2	5.0	2.9	4.0	1.9	1.0	2.1	(9364)
北海道	27.3	23.1	12.6	5.1	5.9	5.6	1.0	3.2	4.0	2.2	4.2	2.3	0.6	1.5	1.5	(347)
青森県	32.6	24.2	1.5	2.6	2.6	2.6	2.6	8.4	5.4	1.5	9.6	3.8	1.5	1.2	0.0	(50)
岩手県	43.3	20.7	11.4	2.7	5.3	5.6	2.6	2.7	0.9	1.3	0.0	1.3	0.0	2.1	0.0	(102)
宮城県	37.2	15.7	10.2	1.8	5.1	1.2	3.4	9.8	2.9	4.2	1.7	2.8	0.7	0.6	2.8	(125)
秋田県	44.1	10.8	12.0	1.9	1.5	6.9	1.9	3.8	8.4	1.5	1.5	3.1	0.0	1.5	1.1	(49)
山形県	29.5	29.1	7.6	11.0	1.9	3.7	0.0	2.8	2.5	0.0	6.6	2.9	1.1	0.0	1.4	(53)
福島県	36.5	18.2	9.3	3.8	8.3	7.8	1.5	7.8	3.4	0.0	1.5	1.1	0.0	0.7	0.0	(98)
茨城県	22.9	16.0	10.2	6.4	5.0	13.7	4.4	7.7	2.8	0.0	3.6	1.6	0.0	0.0	5.8	(47)
栃木県	33.3	19.9	6.5	6.6	9.0	9.8	5.8	0.0	6.0	1.2	0.5	0.9	0.0	0.0	0.6	(155)
群馬県	55.7	2.6	14.2	1.0	5.0	6.8	3.5	1.7	4.4	0.4	3.2	0.7	0.0	0.0	0.7	(140)
埼玉県	8.0	16.0	20.5	7.9	5.8	9.7	5.5	4.7	7.1	6.5	3.1	1.0	0.0	0.0	4.1	(57)
千葉県	12.2	19.9	3.7	0.6	6.8	10.3	22.9	4.5	5.2	2.0	3.2	1.1	0.0	0.3	7.3	(180)
東京都	3.7	15.5	3.0	4.8	10.6	1.9	8.9	9.4	2.0	19.7	5.0	9.9	1.4	0.6	3.6	(238)
神奈川県	37.8	19.4	7.5	2.8	5.1	3.2	6.3	3.8	1.4	5.6	2.0	2.3	1.4	1.5	0.0	(233)
新潟県	26.9	27.2	9.6	2.0	9.7	6.6	2.7	3.1	4.7	2.5	1.1	0.0	0.8	0.0	3.1	(127)
富山県	20.8	33.0	9.7	5.6	9.8	0.0	0.0	0.0	12.0	0.0	5.8	0.0	3.3	0.0	0.0	(44)
石川県	24.1	32.2	6.7	10.3	7.9	2.7	3.6	3.0	2.0	3.0	1.0	3.5	0.0	0.0	0.0	(98)
福井県	8.6	41.6	5.5	5.8	15.6	5.8	7.3	4.4	0.0	0.0	2.6	1.0	0.0	0.0	1.8	(56)
山梨県	19.1	18.4	17.6	3.1	8.6	12.3	5.2	3.2	6.3	2.5	0.8	0.0	0.0	0.0	3.1	(122)
長野県	24.0	15.0	14.5	5.0	2.8	16.5	1.3	2.7	10.6	0.4	3.4	0.8	0.5	0.6	1.8	(245)
岐阜県	43.6	15.0	6.1	6.2	5.8	5.2	3.6	4.2	4.1	1.0	1.8	0.0	2.0	0.0	1.3	(71)
静岡県	34.5	23.3	8.8	1.8	8.0	7.4	3.6	3.4	1.8	1.3	1.3	1.4	1.5	0.7	1.3	(304)
愛知県	13.3	28.0	6.6	3.6	7.4	4.8	6.8	12.2	1.8	2.4	3.6	1.4	0.9	1.4	5.8	(146)
三重県	17.3	35.3	5.9	7.9	6.9	4.1	10.2	4.2	2.1	1.0	1.8	1.1	0.6	0.0	1.7	(121)
滋賀県	29.4	28.3	12.7	13.0	3.2	4.1	2.1	1.7	0.0	1.0	0.0	1.1	0.0	2.4	1.1	(54)
京都府	4.5	25.9	9.5	32.4	5.4	1.2	1.7	4.9	2.4	1.2	3.9	4.9	0.0	1.3	0.8	(169)
大阪府	8.1	19.5	3.1	2.7	10.6	1.9	20.7	5.1	0.8	10.1	8.2	3.4	2.3	0.0	3.6	(157)
兵庫県	24.5	26.4	4.5	4.3	10.0	8.4	2.7	5.3	4.1	2.0	4.6	2.2	0.0	0.0	0.9	(165)
奈良県	12.0	7.7	11.9	33.5	6.3	11.5	2.3	0.0	3.4	0.0	0.0	1.4	0.0	4.5	5.6	(39)
和歌山県	29.6	26.0	8.9	3.7	7.5	4.1	8.8	3.8	1.7	3.4	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	(79)
鳥取県	27.6	32.5	11.7	0.0	10.0	0.0	0.0	4.8	5.3	0.0	2.7	2.7	0.0	0.0	2.7	(28)
島根県	20.2	28.8	5.6	36.4	2.2	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(33)
岡山県	29.6	28.8	0.0	9.1	1.1	7.5	2.6	4.2	0.0	4.6	9.0	2.0	0.0	0.0	1.5	(51)
広島県	4.2	19.6	8.3	14.0	12.8	8.1	0.6	4.9	0.0	7.7	3.0	9.3	2.0	0.0	5.4	(94)
山口県	35.3	18.3	24.2	5.0	6.1	1.2	0.0	2.3	2.1	0.0	0.0	2.4	0.0	0.0	3.2	(64)
徳島県	15.0	35.1	16.2	3.3	5.6	5.3	0.0	12.9	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)
香川県	31.7	32.3	2.8	1.3	7.1	5.3	10.9	0.0	0.0	2.2	0.0	2.2	0.0	0.0	4.3	(41)
愛媛県	18.8	35.0	4.0	6.4	9.4	9.8	0.0	8.5	1.4	1.8	1.8	1.8	0.0	0.0	1.4	(41)
高知県	12.9	26.0	7.2	3.5	9.9	12.3	5.2	1.9	6.2	0.0	0.0	6.1	0.0	8.9	0.0	(29)
福岡県	9.6	28.0	6.3	7.5	7.6	4.3	4.2	7.0	0.7	6.5	5.7	6.2	2.1	2.1	2.3	(138)
佐賀県	33.6	36.6	5.3	10.5	5.8	5.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	(25)
長崎県	18.8	23.6	12.9	7.7	4.4	6.3	6.4	3.6	1.8	0.0	5.2	5.4	1.8	0.0	2.2	(83)
熊本県	26.4	24.4	17.1	3.7	5.4	2.1	3.1	3.9	5.9	2.3	2.0	1.8	0.0	0.0	1.9	(75)
大分県	43.3	22.9	4.3	0.8	7.0	2.0	7.2	2.0	3.7	2.3	0.0	1.8	0.0	0.0	2.6	(114)
宮崎県	34.2	14.1	7.0	5.2	12.2	13.0	0.0	3.3	6.6	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.9	(40)
鹿児島県	32.1	21.3	11.1	3.4	7.6	5.3	0.0	6.1	9.1	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	2.5	(83)
沖縄県	0.8	15.0	20.8	4.1	8.3	20.2	5.1	0.9	12.7	0.6	3.6	1.3	0.4	0.4	5.8	(165)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している 資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

## ④旅行先での交通手段(表I-2-8)

コロナ禍において旅行先での交通手段はその影響を大きく受け、『列車』をはじめとした公共交通機関の利用率が大幅に減少、『自家用車』の利用率が高まったが、2021年も前年比2.8ポイント増とその傾向が続いた。コロナ禍前の前々年と比べて『自家用車』は11.9ポイント増、『列車』は9.3ポイント減であった。

『自家用車』は、特に、「秋田」「栃木」「群馬」「鳥取」「香川」「熊本」「宮崎」で利用率が6.5割を超え、全体よりも15ポイント以上高い。『列車』は、公共交通機関が発達している「東京」「大阪」では約6割が利用しており、両都府での『自家用車』利用率は2割程度にとどまる。「京都」「福岡」も、『列車』利用率が全体よりも15ポイント以上高く、かつ、列車利用率が自家用車利用率を上回る。『レンタカー』利用率は、北海道や九州・沖縄で高い比率となった。「沖縄」では約6割が『レンタカー』を利用した。『路線バス』は、例年同様、特に「京都」での利用率が高く、全体よりも15ポイント以上高い。「奈良」「福岡」も、全体を10ポイント以上上回る高い利用率であった。『タクシー・ハイヤー』は、「東京」「石川」「京都」「福岡」において、多く利用された。

## ⑤旅行先と宿泊施設(表I-2-9)

最も多い宿泊施設は5.5割を占める『ホテル』であり、以下、『旅館』が3割強、『実家・親戚・知人宅』『民宿・ペンション・ロッジ』が0.5割で続く。前年、前々年と比べ、『ホテル』利用率が減少した一方で、『旅館(比較的規模小)』『キャンプ・オートキャンプ』の利用率は増加した。

都道府県別にみると、33都道府県で『ホテル』の利用率が最も高くなっており、特に、「東京」「京都」「大阪」「沖縄」は7割を超え、全体と比べて15ポイント以上高い利用率となった。「東京」「京都」「大阪」は『ビジネスホテル』『シティホテル』の利用率がそれぞれ3~4割を占めるのに対し、「沖縄」は『リゾートホテル』の利用率が5割を占める。その他、『リゾートホテル』は「千葉」「三重」、『ビジネスホテル』は「奈良」「広島」の利用率の高さも顕著であった。

一方、「山形」「群馬」「新潟」「岐阜」「鳥取」「山口」「佐賀」は『旅館』の利用率が5割を超え、『旅館』利用率が『ホテル』利用率を上回った。『実家・親戚・知人宅』は、「岩手」「宮城」「東京」「愛知」「大阪」「広島」における利用率が全体よりも5ポイント以上上回った。『キャンプ・オートキャンプ』は、「埼玉」「山梨」「愛媛」「宮崎」での利用率が1割となり、全体平均より5ポイント以上高くなった。『民宿・ペンション・ロッジ』は、「福井」「長野」「徳島」「鹿児島」「沖縄」で利用率1割となり、全体平均より5ポイント以上高い。

## ⑥旅行先と宿泊数(表I-2-10)

宿泊数については、近隣旅行の増加とも関連して『1泊』率が前年に比べて3.8ポイント増加、前々年と比べて15.1ポイント増加し、65.8%を占めた。『1泊』と『2泊』をあわせると全体の85.9%を占め、宿泊数の短縮化がさらに進んだ。

都道府県別にみても、「沖縄」を除く全ての都道府県において『1泊』の割合が最も高い。1泊率が7割を超えるのは33県(前年27県、前々年16県)で、特に、「福井」「滋賀」の1泊率は9割を

超えた。一方、「北海道」「沖縄」は他の都府県に比べて宿泊数が長くなっており、3泊以上の割合がそれぞれ2.5割、4.5割を占め(全体の3泊以上の割合は14.1%)、平均宿泊数はそれぞれ2.06泊、2.49泊であった。なお、「北海道」は他都府県に比べて宿泊数は長いものの、2021年も旅行者に占める道内居住者が半数を占めており、コロナ禍前(27.1%)と比べて1泊率の高まりが続いた。

## ⑦旅行先と現地で楽しんだ活動(表I-2-11)

全体でみると、最も楽しみにしていたことと同様に『温泉』を楽しんだ旅行者が最も多く、半数弱を占めた。前年からは1.4ポイント、コロナ禍前の前々年から8.7ポイント増加した。全体として多い活動は、以下、『自然や景勝地の訪問』、『現地グルメ・名物料理』、『まち並み散策・まち歩き』、『ショッピング・買い物』、『歴史・文化的な名所の訪問』と続き、これらの活動実施率は2割を超えた。しかしながら、近隣旅行の増加、宿泊日数の短縮化の影響などもあり、全体的に実施率は低下傾向にあり、上位では『温泉』と『ドライブ』以外の活動は前年マイナスとなった。上位10位のなかで前年から順位が入れ替わったのは、『ショッピング・買い物』と『歴史・文化的な名所の訪問』のみであった。

『温泉』は前述の通り、前々年から8.7ポイント増、最多の活動となったのは33道県(前々年22県)と、コロナ禍において大幅に増加した。「秋田」「山形」「福島」「栃木」「群馬」「岐阜」「静岡」「佐賀」「熊本」「大分」では実施率が6割を超え、かつ、全体と比べて15ポイント以上高い。

『自然や景勝地の訪問』は前年より3.7ポイント減、最多の活動となったのは「福井」「徳島」「高知」「鹿児島」「沖縄」の5県(前年5県)。トップになる県はそれほど多くはないが、いずれの都道府県においても人気の活動となっている。「徳島」「高知」「沖縄」では実施率が5割を超え、かつ、全体と比べて15ポイント以上高い。

『現地グルメ・名物料理』は前年より0.1ポイント減となり、最多の活動となったのは、「東京」「愛知」「大阪」「広島」「香川」「福岡」の6都府県であった(前年8都府県)。伊勢えびや松阪牛などが名物の「三重」では、『温泉』に次いで多い活動であり、全体と比べて10ポイント以上高い。

『まち並み散策・まち歩き』は前年より2.3ポイント減となり、最多の活動となった都道府県はなかった(前年も0)。全体との比較でみると、飛騨高山や郡上八幡などに代表される「岐阜」、祇園や三年坂などのある「京都」で特に特徴的な活動であった。

『ショッピング・買い物』は前年より0.5ポイント減となり、最多の活動となった都道府県はなかった(前年も0)。「山形」「千葉」「東京」「長野」「三重」「福岡」では、全体平均より5ポイント以上高い実施率であった。

『歴史・文化的な名所の訪問』は前年より2.8ポイント減となり、この活動が最多の活動となった地域は、世界文化遺産にも登録されている古都「京都」「奈良」の2府県であり(前年2府県)、活動実施率は6割を占めた。出雲大社が位置する「島根」においても、『温泉』に次いで多い活動であり、半数弱が楽しんだ。『まち並み散策・まち歩き』および『歴史・文化的な名所の訪問』

表 I-2-8 旅行先(都道府県)別の旅行先での交通手段(複数回答)

(単位：%)

交通手段 旅行先	自家用車	列車	レンタカー	路線バス	タクシー・ ハイヤー	貸切バス・ 定期観光バス	飛行機	観光客向け の巡回バスなど	船(フェリー、 観光船、屋形船 など)	観光客向け の巡回バスなど	レンタサイクル	その他	交通機関は 利用しなかった	サンプル数
全体	49.3	20.4	9.7	9.4	4.9	2.4	2.1	2.0	1.8	0.8	0.9	14.4	(5803)	
前年	46.5	21.1	10.9	11.1	5.8	4.4	4.2	2.3	2.9	1.1	1.3	13.2	(6511)	
前々年	37.5	29.7	13.6	14.1	8.5	7.3	8.1	2.9	3.9	1.4	1.1	7.2	(9364)	
北海道	34.0	25.2	18.3	14.1	4.6	6.1	7.1	1.7	0.6	0.7	0.6	13.3	(390)	
青森県	44.5	23.9	8.4	19.3	8.8	1.7	2.1	2.8	4.4	0.0	3.3	14.6	(86)	
岩手県	58.8	13.4	9.3	8.4	5.1	1.0	0.5	1.8	5.4	1.0	0.9	18.8	(144)	
宮城県	50.5	18.8	16.7	11.6	7.7	1.7	3.0	2.0	4.5	1.1	0.0	12.5	(175)	
秋田県	69.3	18.5	10.7	10.5	5.4	5.4	1.9	0.9	3.7	2.4	0.0	5.2	(80)	
山形県	59.4	15.3	15.1	10.8	4.5	5.4	0.8	2.6	5.1	1.4	0.0	8.7	(95)	
福島県	58.5	11.1	7.1	8.7	6.2	3.2	1.0	0.0	3.8	1.9	0.6	18.0	(141)	
茨城県	60.1	10.0	6.5	4.9	3.0	3.5	1.9	0.0	0.0	0.8	0.0	13.9	(70)	
栃木県	65.8	11.8	4.4	7.4	2.0	1.5	1.2	1.4	2.3	0.0	0.0	11.7	(194)	
群馬県	69.8	5.3	7.3	5.7	1.3	1.2	1.3	0.0	3.9	0.0	1.8	12.1	(185)	
埼玉県	58.8	21.4	6.1	3.0	3.3	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	15.0	(78)	
千葉県	47.0	30.9	6.3	6.8	4.2	3.1	1.3	0.4	3.8	0.6	0.0	11.7	(240)	
東京都	14.4	68.4	3.3	10.7	12.0	1.5	4.1	2.5	1.9	1.4	0.5	11.0	(334)	
神奈川県	41.2	31.6	6.3	14.8	8.2	2.4	0.5	5.1	3.9	1.2	0.3	10.4	(311)	
新潟県	54.8	9.9	6.5	8.0	3.9	4.0	0.0	0.0	4.3	1.4	0.8	20.1	(166)	
富山県	45.2	22.7	5.3	5.5	4.2	12.2	1.8	3.0	5.0	1.6	2.8	16.8	(82)	
石川県	44.5	13.8	14.8	12.4	10.4	6.1	1.5	0.6	1.6	0.0	2.4	11.2	(144)	
福井県	53.0	18.1	7.2	12.8	2.7	6.1	0.0	1.0	3.4	2.6	1.5	14.8	(88)	
山梨県	61.3	8.4	7.4	5.2	3.3	3.9	1.2	1.4	2.2	0.0	1.2	15.2	(173)	
長野県	62.3	12.4	5.2	6.8	4.6	5.8	0.8	0.7	3.2	0.8	2.6	11.8	(320)	
岐阜県	54.2	14.4	3.3	8.4	5.5	5.5	0.0	1.2	2.2	0.5	1.5	20.0	(127)	
静岡県	52.7	13.8	9.9	7.8	5.4	1.5	0.6	2.2	0.8	0.9	1.0	15.4	(373)	
愛知県	58.1	26.1	3.0	7.1	4.9	2.1	2.8	3.5	1.2	1.2	0.5	12.2	(189)	
三重県	60.4	17.6	4.0	7.4	2.2	2.7	2.3	2.1	0.9	0.0	2.1	12.6	(164)	
滋賀県	58.7	22.0	5.4	10.7	1.6	0.8	1.1	6.4	1.0	3.3	0.0	16.3	(94)	
京都府	29.9	51.4	6.5	26.5	14.6	3.9	3.2	3.6	3.7	0.9	1.1	7.6	(283)	
大阪府	20.5	63.3	7.6	11.0	6.8	2.0	7.3	1.8	1.2	0.6	0.0	12.2	(247)	
兵庫県	46.7	26.4	5.7	9.3	4.5	1.0	2.7	2.1	1.6	0.0	1.8	19.9	(231)	
奈良県	39.3	33.1	6.1	20.4	3.1	6.1	3.9	2.7	3.1	0.0	2.3	14.6	(71)	
和歌山県	60.5	15.6	9.4	8.4	5.5	2.8	3.1	4.9	4.5	0.0	1.0	7.6	(104)	
鳥取県	67.5	13.8	14.8	7.5	4.9	0.0	2.1	4.2	0.9	0.0	0.0	9.5	(63)	
島根県	49.4	20.8	22.3	16.0	7.2	4.1	0.0	2.9	1.6	0.0	0.0	8.9	(72)	
岡山県	57.1	20.5	12.7	10.0	4.1	1.7	2.4	10.5	0.0	1.4	0.0	10.4	(93)	
広島県	37.3	29.1	10.1	15.1	3.6	2.2	1.8	11.3	1.5	0.5	1.9	15.6	(151)	
山口県	63.4	11.8	8.3	9.2	2.3	1.0	2.9	3.3	1.5	0.0	0.9	12.0	(105)	
徳島県	56.5	14.8	11.5	4.7	0.0	5.3	0.0	9.0	0.0	0.0	0.0	8.9	(57)	
香川県	65.9	10.5	12.8	1.6	0.9	3.6	0.9	3.4	0.0	1.1	0.0	7.9	(83)	
愛媛県	56.6	11.8	13.8	5.9	5.7	5.6	1.9	3.7	0.0	0.9	0.9	14.3	(79)	
高知県	46.0	13.1	22.2	11.8	0.0	5.6	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	14.5	(52)	
福岡県	34.7	36.0	19.0	20.1	10.5	0.0	3.1	3.2	0.7	1.9	0.9	10.4	(199)	
佐賀県	57.5	13.1	19.9	6.3	4.3	1.8	4.5	3.9	0.0	4.5	0.0	8.0	(55)	
長崎県	57.1	17.5	11.0	5.8	4.5	1.8	4.1	6.8	2.3	2.3	1.2	11.4	(109)	
熊本県	68.7	8.1	9.6	4.3	6.1	1.2	3.0	3.1	1.1	1.9	1.2	9.6	(118)	
大分県	60.0	5.9	17.0	8.5	4.5	0.0	1.7	3.9	0.0	2.2	0.0	12.0	(163)	
宮崎県	74.4	3.3	11.4	3.0	2.1	0.0	0.9	2.1	0.0	0.0	0.0	8.8	(63)	
鹿児島県	47.7	7.3	24.9	6.1	7.8	2.0	3.1	5.7	1.1	0.6	1.0	9.2	(105)	
沖縄県	10.4	16.7	58.8	12.4	9.0	4.4	12.2	6.0	1.0	1.9	1.4	4.1	(183)	

(注)1回の旅行につき、複数の旅行先(都道府県)を選択したデータを含む。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

資料：(公財)日本交通公社「JTB 旅行実態調査」

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

表 I-2-9 旅行先(都道府県)別の宿泊施設(複数回答)

(単位：%)

旅行先	ホテル			旅館		実家・親戚・知人宅	民宿・ペンション・ロッジ	オートキャンプ・キャンプ	別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設	公共の宿	ゲストハウス	民泊	その他	サンプル数		
	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	旅館(比較的規模大)	旅館(比較的規模小)											
全体	55.0	23.3	19.7	14.2	30.4	16.7	14.3	6.1	3.8	3.1	2.5	2.1	1.1	0.5	1.6	(5803)
前年	56.8	23.3	20.6	15.4	31.7	18.3	14.2	5.2	4.6	1.9	2.8	1.6	-	-	1.9	(6511)
前々年	62.2	22.9	24.3	19.4	27.0	16.9	10.8	7.4	4.2	1.7	2.5	1.8	-	-	1.8	(9364)
北海道	68.9	26.7	25.0	22.8	25.5	15.6	10.6	6.7	2.7	2.2	0.6	0.5	1.2	1.6	0.5	(347)
青森県	57.7	22.9	22.7	12.1	28.7	20.8	7.9	8.1	2.6	0.0	0.0	5.5	0.0	0.0	0.0	(50)
岩手県	35.6	20.2	7.1	8.3	46.3	26.6	19.7	13.2	3.7	4.0	0.5	2.5	1.6	0.0	1.3	(102)
宮城県	45.2	14.3	23.0	9.6	43.0	29.6	13.9	11.5	0.0	0.6	0.6	2.2	0.0	0.0	1.1	(125)
秋田県	38.7	26.3	3.4	9.0	47.0	23.3	23.7	3.8	2.7	1.5	0.0	9.4	0.0	0.0	0.0	(49)
山形県	27.0	8.7	18.3	1.4	60.2	37.7	22.5	6.7	2.5	1.7	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	(53)
福島県	38.7	24.5	7.9	7.9	46.0	24.0	22.0	8.7	1.3	3.0	1.5	1.3	2.3	2.3	0.8	(98)
茨城県	45.8	21.8	19.9	9.8	34.9	16.7	18.1	4.4	1.6	5.3	0.0	4.4	0.0	0.0	3.6	(47)
栃木県	51.6	36.7	10.6	4.3	37.3	22.9	14.4	0.9	5.7	1.6	4.1	1.8	0.9	0.0	0.6	(155)
群馬県	31.2	22.2	6.7	2.9	54.9	29.2	25.7	2.2	2.1	3.3	2.9	2.7	1.0	0.0	0.5	(140)
埼玉県	52.5	21.4	25.1	6.0	23.0	9.6	13.3	7.0	3.4	11.0	0.0	4.4	1.6	0.0	0.0	(57)
千葉県	69.5	49.7	9.1	11.6	12.4	5.3	7.1	5.1	1.1	4.5	3.9	1.3	0.7	0.9	2.1	(180)
東京都	81.4	9.3	41.4	32.5	3.3	1.9	1.4	12.8	1.6	1.2	0.0	1.5	1.4	0.0	1.1	(238)
神奈川県	47.2	19.9	14.6	12.8	38.3	18.3	20.5	4.7	1.8	0.6	7.9	0.0	0.6	0.7	3.5	(233)
新潟県	40.1	16.2	16.3	7.5	53.9	30.4	24.5	2.7	2.5	1.8	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	(127)
富山県	46.2	8.2	31.8	6.2	46.3	24.2	22.1	0.0	2.6	0.0	0.0	2.1	2.1	0.0	2.1	(44)
石川県	43.9	15.7	19.0	9.8	44.7	31.0	13.7	3.8	3.0	2.3	0.7	1.0	2.9	0.0	0.0	(98)
福井県	47.6	19.8	17.3	10.5	27.3	5.1	22.1	6.7	10.4	5.4	0.0	2.7	0.0	0.0	1.3	(56)
山梨県	35.4	22.5	8.9	3.9	25.5	11.7	13.8	4.9	7.1	12.3	5.8	0.8	2.5	0.8	6.6	(122)
長野県	41.4	28.0	8.4	5.0	30.4	14.9	16.4	3.9	11.4	4.9	4.6	2.9	0.0	0.7	2.9	(245)
岐阜県	25.6	15.6	4.7	5.4	61.5	29.3	32.3	1.1	4.1	2.4	0.0	2.1	1.9	1.1	1.3	(71)
静岡県	41.8	28.7	10.0	3.4	39.6	20.7	19.3	4.6	3.2	2.4	7.0	1.4	2.1	0.5	1.6	(304)
愛知県	61.7	16.4	28.3	18.0	16.6	11.0	5.6	12.1	6.0	0.0	0.0	2.7	0.9	0.0	2.0	(146)
三重県	55.9	43.8	7.5	5.2	32.2	16.7	15.5	6.5	0.8	1.1	2.3	1.3	0.0	0.0	2.4	(121)
滋賀県	46.2	32.0	4.5	9.8	26.4	17.7	8.7	5.6	4.0	1.4	9.8	5.6	0.0	0.0	1.1	(54)
京都府	71.7	12.9	26.3	35.8	20.3	7.4	13.4	2.7	1.6	1.9	1.2	0.0	0.9	0.8	0.6	(169)
大阪府	76.1	17.6	29.7	28.7	8.8	8.8	0.0	11.3	2.4	0.5	0.6	0.0	1.2	1.2	0.0	(157)
兵庫県	34.8	14.8	10.9	9.2	42.4	28.4	14.8	5.8	2.7	6.3	2.5	4.5	0.8	0.9	0.6	(165)
奈良県	59.7	7.4	35.1	19.2	22.7	12.7	10.0	3.4	5.8	3.8	2.6	3.4	0.0	0.0	0.0	(39)
和歌山県	40.0	31.2	6.1	3.6	31.2	18.2	15.8	3.1	7.0	2.6	4.5	8.7	1.3	0.0	3.4	(79)
鳥取県	28.9	4.8	4.8	19.3	50.8	35.1	15.7	4.8	0.0	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)
島根県	41.7	5.7	23.2	12.9	47.6	27.2	20.4	6.2	1.6	0.0	1.7	2.8	2.8	0.0	0.0	(33)
岡山県	52.6	16.0	28.4	8.2	19.5	14.4	5.2	8.8	2.0	7.5	0.0	10.5	3.1	0.0	1.8	(51)
広島県	57.6	8.2	36.5	12.9	20.1	5.0	15.1	11.4	1.0	5.0	0.0	1.0	0.0	1.0	2.8	(94)
山口県	34.0	9.3	23.5	2.6	50.1	30.5	21.1	4.6	1.4	6.5	0.0	2.7	0.0	0.0	2.1	(64)
徳島県	50.3	16.8	18.6	14.9	36.5	20.0	16.5	7.4	10.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)
香川県	43.1	11.7	18.4	13.0	40.8	28.0	12.8	5.7	1.8	0.0	1.8	3.5	3.2	0.0	1.8	(41)
愛媛県	44.1	24.1	5.5	18.1	21.9	8.3	13.6	8.5	5.6	10.8	4.9	4.2	0.0	0.0	3.6	(41)
高知県	59.7	16.7	18.7	24.3	11.2	1.9	9.3	1.9	3.5	5.1	0.0	8.9	0.0	0.0	9.7	(29)
福岡県	68.3	15.2	29.3	25.0	14.1	10.2	3.9	10.4	0.9	4.1	1.0	1.7	1.6	0.0	0.5	(138)
佐賀県	23.0	11.1	6.8	5.1	54.4	11.4	43.0	0.0	2.3	6.4	5.8	8.0	0.0	0.0	0.0	(25)
長崎県	64.5	33.3	18.2	13.0	24.6	14.5	10.1	3.2	3.0	2.3	1.9	2.5	2.8	0.0	0.0	(83)
熊本県	37.6	16.6	15.3	5.7	35.7	10.0	25.7	10.6	4.9	5.1	3.8	1.0	1.9	0.0	3.7	(75)
大分県	49.1	36.7	6.2	9.0	40.4	17.8	25.2	2.9	3.4	0.0	3.6	1.0	0.0	0.0	4.1	(114)
宮崎県	55.5	26.8	14.3	14.4	23.2	9.1	14.0	1.4	7.5	10.1	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	(40)
鹿児島県	54.2	27.5	20.5	7.8	25.0	14.2	10.8	8.2	9.8	3.6	0.0	3.2	0.0	1.2	0.0	(83)
沖縄県	87.7	53.3	17.0	23.9	0.6	0.0	0.6	0.3	9.2	1.6	1.5	0.0	3.4	0.6	0.3	(165)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

表 I-2-10 旅行先(都道府県)別の宿泊数

(単位：%)

(単位：泊)

宿泊数 旅行先	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上	平均宿泊数	サンプル数
全体	65.8	20.1	7.6	2.7	3.8	1.62	(5803)
前年	62.0	22.9	8.5	3.2	3.4	1.66	(6511)
前々年	50.7	29.2	12.1	3.7	4.4	1.85	(9364)
北海道	47.6	26.3	12.5	5.7	7.9	2.06	(347)
青森県	67.6	26.0	3.8	2.6	0.0	1.42	(50)
岩手県	74.4	10.5	10.2	2.2	2.7	1.50	(102)
宮城県	69.8	16.8	8.0	1.2	4.2	1.58	(125)
秋田県	81.9	11.2	3.1	0.0	3.8	1.36	(49)
山形県	70.7	15.6	7.9	1.9	3.8	1.54	(53)
福島県	74.2	14.8	4.5	3.2	3.4	1.47	(98)
茨城県	87.2	9.9	2.8	0.0	0.0	1.16	(47)
栃木県	83.8	13.1	2.8	0.4	0.0	1.20	(155)
群馬県	84.4	11.6	4.1	0.0	0.0	1.20	(140)
埼玉県	77.8	12.6	8.3	1.3	0.0	1.33	(57)
千葉県	77.7	16.2	3.4	1.5	1.3	1.34	(180)
東京都	66.1	18.0	6.5	5.4	4.0	1.66	(238)
神奈川県	76.5	17.7	2.3	1.1	2.5	1.38	(233)
新潟県	81.2	15.9	1.6	1.2	0.0	1.23	(127)
富山県	80.7	13.9	2.1	0.0	3.4	1.31	(44)
石川県	82.8	12.2	4.9	0.0	0.0	1.22	(98)
福井県	94.5	4.2	0.0	1.3	0.0	1.08	(56)
山梨県	79.2	15.4	5.3	0.0	0.0	1.26	(122)
長野県	62.2	27.6	7.9	1.3	1.0	1.53	(245)
岐阜県	88.8	7.5	2.7	1.1	0.0	1.16	(71)
静岡県	70.8	22.5	2.9	1.8	2.0	1.44	(304)
愛知県	76.1	16.1	3.7	1.5	2.5	1.41	(146)
三重県	82.3	13.6	2.3	0.6	1.2	1.27	(121)
滋賀県	92.7	5.6	1.7	0.0	0.0	1.09	(54)
京都府	58.3	25.5	8.6	3.5	4.2	1.71	(169)
大阪府	62.0	25.4	10.1	0.7	1.8	1.56	(157)
兵庫県	84.5	7.9	4.2	1.8	1.7	1.32	(165)
奈良県	87.4	9.2	1.5	1.9	0.0	1.18	(39)
和歌山県	74.2	20.4	1.7	1.7	2.1	1.38	(79)
鳥取県	85.0	11.7	3.3	0.0	0.0	1.18	(28)
島根県	63.1	36.9	0.0	0.0	0.0	1.37	(33)
岡山県	73.9	21.5	4.6	0.0	0.0	1.31	(51)
広島県	64.2	24.6	3.6	2.5	5.1	1.67	(94)
山口県	85.6	7.4	2.3	2.3	2.4	1.31	(64)
徳島県	81.9	18.1	0.0	0.0	0.0	1.18	(28)
香川県	88.3	4.0	5.8	1.8	0.0	1.21	(41)
愛媛県	63.7	26.0	6.8	3.5	0.0	1.50	(41)
高知県	67.8	8.3	14.7	2.6	6.5	1.74	(29)
福岡県	63.2	26.8	7.4	0.7	1.9	1.54	(138)
佐賀県	89.5	10.5	0.0	0.0	0.0	1.11	(25)
長崎県	75.0	14.3	7.2	1.9	1.6	1.41	(83)
熊本県	72.5	19.4	3.3	1.9	2.9	1.47	(75)
大分県	83.6	11.6	3.5	0.0	1.3	1.24	(114)
宮崎県	79.2	16.8	2.5	0.0	1.4	1.29	(40)
鹿児島県	56.8	23.0	8.7	5.9	5.7	1.87	(83)
沖縄県	22.0	31.4	31.2	10.5	4.8	2.49	(165)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い  
 ■平均宿泊数が全体平均値より0.5泊以上高い(平均宿泊数については、7泊以上は7泊と仮定して算出)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

表I-2-11 旅行先(都道府県)別の現地活動(複数回答)

現地活動 旅行先	現地活動																	
	温泉	自然や景勝地の訪問	現地グルメ・名物料理	まち並み散策・まち歩き	ショッピング・買い物	歴史・文化的な名所の訪問	都市観光	観光施設・動物園・水族館	ドライブ	テーマパーク・レジャーランド	家族や親戚・友人知人訪問	美術館・博物館	リゾート滞在(海浜)	登山・トレッキング	リゾート滞在(高原)	季節の花見	芸術鑑賞 (観劇・コンサート・ライブなど)	写真・写生
全体	46.1	35.9	34.6	23.6	21.4	21.3	11.8	8.7	8.2	6.8	6.1	5.3	3.7	3.5	3.1	3.0	2.9	2.9
前年	44.8	39.6	34.7	25.9	22.0	24.2	14.6	8.9	7.5	7.1	6.3	5.5	4.1	3.4	3.4	2.7	2.2	3.0
前々年	37.5	39.5	35.9	32.0	25.7	29.8	19.5	11.2	6.8	10.2	7.1	7.0	4.7	2.5	3.4	4.7	4.9	3.9
北海道	53.7	38.3	38.5	24.3	23.1	15.6	15.2	6.1	10.9	2.3	5.7	3.6	0.8	4.6	2.4	2.5	3.2	3.1
青森県	57.4	35.1	40.2	14.5	11.0	14.9	2.2	7.9	7.2	4.1	8.5	8.3	0.0	1.5	0.0	3.8	1.5	0.0
岩手県	59.3	29.9	28.1	9.9	14.8	12.5	4.4	4.6	6.5	2.8	3.6	1.3	1.6	8.3	1.8	3.9	0.0	0.0
宮城県	59.2	30.2	26.4	15.5	18.2	20.2	12.1	3.8	5.2	0.0	11.9	3.2	0.5	2.4	2.6	3.3	1.9	0.6
秋田県	72.7	35.6	25.0	14.5	16.2	19.0	11.2	3.0	13.1	1.9	5.7	1.9	0.0	4.7	4.6	0.0	1.9	0.0
山形県	70.4	34.0	41.6	20.4	26.9	19.7	9.8	6.0	6.2	3.3	7.1	3.6	1.1	12.2	3.3	2.5	0.0	3.9
福島県	61.7	25.7	26.3	12.7	16.4	10.3	4.1	2.9	6.5	1.3	9.1	3.5	0.0	7.0	9.1	5.7	0.0	1.7
茨城県	49.6	41.1	34.6	14.4	18.2	16.5	4.8	9.0	3.2	3.2	6.4	2.8	1.2	2.2	0.0	2.8	0.0	0.0
栃木県	63.2	35.3	31.8	13.9	19.5	17.7	6.8	13.9	6.8	13.2	0.9	3.2	0.0	3.4	4.3	2.3	0.0	2.8
群馬県	72.4	39.3	23.5	22.6	18.9	12.2	6.0	7.3	11.8	4.2	2.3	3.2	0.0	2.9	2.9	1.5	0.0	3.6
埼玉県	41.3	39.7	22.9	21.4	20.6	24.7	6.4	0.0	9.6	11.9	8.6	4.9	0.0	0.0	3.7	6.4	2.3	3.4
千葉県	28.9	23.8	29.7	7.0	26.9	5.6	2.9	9.8	7.4	33.2	7.1	0.3	6.0	0.0	0.0	2.2	0.5	2.1
東京都	9.2	7.9	28.1	22.8	27.9	11.0	21.1	4.0	1.0	8.2	15.9	6.5	0.2	2.1	0.6	1.7	19.5	1.3
神奈川県	58.3	35.6	36.6	28.7	23.2	18.0	13.0	12.6	5.4	2.6	3.2	17.2	2.1	1.8	7.6	4.3	5.0	1.5
新潟県	58.9	35.2	38.8	13.9	20.3	16.7	6.2	3.9	8.5	0.6	3.5	2.8	0.0	3.1	4.9	4.3	1.9	0.7
富山県	52.1	30.4	36.1	16.9	22.4	19.8	6.9	0.0	11.8	0.0	1.3	4.8	0.0	13.9	3.3	0.0	0.0	0.0
石川県	60.3	31.6	33.7	31.1	21.3	22.4	18.0	8.3	7.1	0.8	6.5	9.3	5.5	1.0	0.0	5.8	2.3	5.8
福井県	35.0	40.3	30.4	23.0	16.6	28.8	12.1	13.5	8.8	1.8	4.5	7.7	3.7	1.3	0.0	0.0	0.0	0.0
山梨県	49.9	47.9	26.6	13.8	14.0	14.9	10.0	5.8	11.6	12.0	2.9	1.7	0.0	5.2	9.3	3.4	2.2	1.4
長野県	46.2	42.4	29.8	24.5	28.9	18.8	6.9	2.6	9.9	0.8	2.6	3.8	0.0	14.8	13.4	2.8	1.1	3.3
岐阜県	70.1	38.9	35.8	49.8	19.0	21.5	10.6	9.7	5.5	3.3	1.9	0.0	3.9	3.6	1.1	5.0	0.0	0.0
静岡県	65.4	39.5	33.9	20.0	16.9	15.1	3.6	12.4	11.0	3.0	3.3	6.1	6.1	1.0	2.9	4.3	0.2	1.8
愛知県	24.2	22.2	28.0	16.1	19.3	19.8	11.8	8.1	3.1	8.2	9.8	5.2	4.2	1.8	1.3	2.0	4.4	1.7
三重県	46.8	36.0	45.2	20.7	27.9	19.8	6.7	11.6	10.4	11.7	5.4	2.4	5.3	4.1	0.0	1.1	0.0	3.5
滋賀県	44.1	40.8	38.3	18.3	13.7	38.3	10.8	6.3	4.4	5.7	4.5	0.0	0.0	1.1	1.9	5.5	0.0	2.1
京都府	15.5	43.6	35.8	45.8	22.9	56.8	26.5	7.7	2.5	4.8	7.2	5.3	1.0	1.3	0.3	5.3	3.2	4.8
大阪府	15.1	5.4	31.8	20.1	19.1	13.0	17.1	5.2	1.0	28.9	9.1	3.0	1.2	0.0	0.0	2.4	11.5	1.4
兵庫県	49.4	24.7	37.8	29.6	19.1	13.4	8.0	11.1	5.4	4.7	4.7	3.0	4.6	1.9	0.0	1.8	1.6	5.0
奈良県	25.7	38.7	17.1	24.8	12.2	60.4	7.5	3.9	11.8	2.9	1.9	11.5	0.0	6.4	1.9	1.5	2.6	1.9
和歌山県	56.8	36.0	26.2	10.7	11.4	17.5	11.4	27.0	7.3	11.5	5.6	1.0	8.3	0.7	0.0	1.0	0.0	4.7
鳥取県	59.0	45.3	35.5	15.0	3.6	11.7	9.6	2.7	0.0	6.4	4.8	0.0	0.0	9.2	5.3	0.0	3.3	0.0
島根県	57.3	35.3	38.0	22.8	12.4	46.9	18.5	7.1	4.4	1.7	5.8	4.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.0
岡山県	43.8	28.6	36.2	21.5	21.2	16.5	9.4	12.6	4.6	10.2	4.2	3.6	2.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0
広島県	17.3	31.1	39.9	33.3	19.9	25.3	12.2	5.8	2.6	0.6	14.0	4.9	2.8	0.6	0.0	0.8	4.9	4.9
山口県	58.4	41.5	33.1	23.1	12.1	30.9	2.3	7.0	4.9	0.9	2.3	5.1	1.6	0.0	0.0	3.2	0.0	1.8
徳島県	29.5	57.4	32.9	21.7	6.6	15.5	3.3	5.2	0.0	2.7	9.6	13.2	12.6	6.7	0.0	2.7	0.0	0.0
香川県	39.6	38.9	42.6	36.3	20.7	23.2	11.0	10.8	6.7	10.5	0.0	7.2	1.4	3.2	0.0	3.5	0.0	3.6
愛媛県	36.5	27.3	30.7	19.5	21.9	17.2	10.5	6.9	17.5	1.4	5.3	1.4	3.1	4.0	6.8	8.2	1.8	0.0
高知県	32.9	58.5	40.0	13.1	13.1	24.6	9.3	7.7	17.5	2.6	5.4	5.8	0.0	0.0	5.2	6.1	0.0	3.5
福岡県	19.5	21.8	44.4	23.0	27.7	18.8	14.1	7.4	9.1	3.0	10.8	4.4	5.0	1.1	0.0	2.7	10.0	3.0
佐賀県	63.7	13.4	28.5	11.6	17.4	5.3	2.3	0.0	14.1	2.9	0.0	2.2	0.0	5.8	7.5	5.3	4.0	0.0
長崎県	49.7	31.3	28.7	24.1	21.8	29.6	7.6	10.6	5.1	11.0	3.2	4.5	8.9	2.4	5.1	5.7	0.0	7.9
熊本県	63.3	36.5	34.7	15.1	14.7	14.5	0.0	6.8	10.0	5.8	5.9	1.8	0.0	1.8	1.8	1.8	1.8	0.0
大分県	73.4	32.4	34.1	26.6	20.1	14.4	12.1	12.5	4.7	13.1	2.3	4.9	2.6	2.7	1.9	1.0	1.2	0.0
宮崎県	54.1	48.5	33.8	10.0	12.2	8.6	5.3	2.3	11.6	0.0	3.7	7.0	5.9	7.2	0.0	1.5	0.0	0.0
鹿児島県	44.5	46.6	43.8	16.0	18.0	10.1	4.1	4.4	18.0	2.8	14.7	3.2	12.0	4.0	5.7	0.0	1.6	2.7
沖縄県	13.1	54.0	31.4	28.3	24.8	15.1	11.8	15.4	12.9	6.6	3.9	0.8	35.7	1.4	1.0	0.3	0.9	7.4

(注) 旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

(単位：%)

世界遺産訪問	(カヌー、乗馬体験、気球など)	アウトドア体験	祭り・イベント	海水浴・マリンスポーツ	ゴルフ	スポーツ観戦	スキー・スノーボード	スパ・エステ	果物狩り・農林漁業体験	サイクリング	野生動物観察 (クジラ、鳥など)	(陶芸体験、そば打ち体験など)	生活文化体験	産業観光(工場見学、モノづくりの現場見学など)	マラソン・ジョギング	その他	体験プログラム等の参加率	現地ツアー・ 現地ツアー 体験プログラム等の参加率	サンプル数	現地活動
																				旅行先
2.4	2.3	2.2	2.2	1.9	1.7	1.2	1.1	1.1	0.9	0.7	0.6	0.6	0.6	0.6	2.7	4.5	(5803)	全体		
2.9	2.0	2.9	1.9	2.0	1.4	1.5	1.0	1.2	1.2	0.8	0.7	0.9	0.4	2.8	8.0	(6511)	前年			
3.0	2.3	7.1	2.5	2.0	2.9	1.3	1.5	1.8	1.2	1.0	1.3	1.4	0.7	2.3	13.1	(9364)	前々年			
1.6	1.8	0.9	1.0	1.6	0.2	3.1	0.4	0.2	0.6	0.6	0.5	1.3	1.0	3.1	5.5	(347)	北海道			
1.8	3.0	2.9	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.0	(50)	青森県			
0.0	6.1	1.3	1.3	3.1	1.4	2.5	0.7	2.6	0.0	5.5	0.6	0.0	0.7	1.4	3.8	(102)	岩手県			
2.3	0.0	0.7	0.0	0.0	3.0	0.0	0.8	1.1	0.0	0.6	2.6	0.0	0.0	1.8	2.7	(125)	宮城県			
0.0	0.0	3.4	0.0	1.9	1.5	2.6	3.0	4.6	1.9	0.0	2.0	0.0	0.0	1.9	7.7	(49)	秋田県			
0.0	0.0	1.7	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.8	1.1	1.4	0.0	3.8	2.5	0.0	7.0	(53)	山形県			
1.6	3.1	2.1	1.4	0.0	0.0	2.4	2.2	0.7	0.7	0.6	0.0	0.7	2.0	4.1	1.0	(98)	福島県			
0.0	0.0	1.6	2.8	11.5	0.0	1.2	0.0	1.2	2.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	(47)	茨城県			
5.2	2.4	0.4	0.6	7.0	0.6	1.9	0.5	1.0	0.0	0.5	0.0	0.5	0.0	0.5	4.3	(155)	栃木県			
2.1	2.4	3.8	0.0	2.7	0.0	2.4	0.0	3.2	0.0	0.4	0.7	0.0	0.0	2.5	1.6	(140)	群馬県			
0.0	2.3	2.3	0.0	9.0	2.6	0.0	4.1	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.5	(57)	埼玉県			
0.0	2.6	0.3	2.5	2.9	3.7	0.0	0.9	1.3	0.7	0.3	2.1	0.0	0.0	6.1	2.2	(180)	千葉県			
0.8	1.6	7.3	0.7	0.6	1.9	0.0	0.2	0.6	1.4	0.2	0.0	0.8	1.4	3.5	3.4	(238)	東京都			
0.7	0.0	1.8	0.6	1.7	1.4	0.6	0.6	0.3	1.2	0.0	0.7	0.0	0.6	1.8	4.2	(233)	神奈川県			
0.0	3.4	2.1	0.8	0.0	1.7	5.1	0.8	0.7	0.9	0.0	0.0	0.0	0.5	3.7	3.2	(127)	新潟県			
3.5	0.0	0.0	0.0	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	1.3	0.0	2.1	3.3	(44)	富山県			
0.8	1.3	1.3	1.0	2.9	2.3	0.0	0.6	0.0	1.3	0.0	0.8	2.0	2.4	0.0	6.8	(98)	石川県			
1.3	0.0	0.0	5.4	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	0.0	1.3	0.0	0.0	13.8	1.0	(56)	福井県			
0.8	5.1	1.3	0.8	3.4	3.1	0.4	0.8	2.3	0.7	0.0	1.1	0.0	1.3	5.3	0.8	(122)	山梨県			
0.5	4.8	0.5	0.4	1.7	0.5	9.0	1.1	2.9	2.7	1.6	1.5	0.6	1.4	1.5	6.6	(245)	長野県			
4.8	3.5	2.0	1.1	2.6	1.0	1.8	1.0	1.1	5.1	1.1	0.0	0.0	0.0	5.7	8.5	(71)	岐阜県			
0.7	1.6	3.7	2.7	1.2	2.5	0.2	1.5	2.6	0.6	0.2	0.7	0.4	0.2	2.2	1.2	(304)	静岡県			
0.0	1.4	0.7	2.3	1.8	2.6	0.4	2.2	0.9	0.0	2.1	0.4	0.4	1.4	5.4	1.9	(146)	愛知県			
3.2	0.0	1.2	2.4	3.0	1.0	0.0	3.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.6	0.0	2.3	0.0	(121)	三重県			
0.0	0.0	0.0	0.0	1.3	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.4	0.0	2.4	5.3	(54)	滋賀県			
9.6	0.0	3.8	0.3	0.0	0.3	0.0	1.6	0.0	0.8	0.0	0.0	0.0	0.9	1.1	5.3	(169)	京都府			
0.0	0.0	2.3	0.0	0.4	2.2	0.5	1.8	0.8	0.0	0.8	0.8	0.0	0.0	3.8	3.3	(157)	大阪府			
1.7	2.2	3.3	2.2	0.4	0.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	0.9	0.4	2.8	0.9	(165)	兵庫県			
10.2	1.9	1.9	5.8	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	5.9	0.0	0.0	0.0	2.3	4.0	(39)	奈良県			
0.7	2.1	3.4	6.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.0	1.7	0.0	1.8	1.0	1.7	2.8	(79)	和歌山県			
0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(28)	鳥取県			
4.5	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.7	(33)	島根県			
1.8	16.9	2.0	2.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	2.0	3.6	0.0	1.5	2.6	(51)	岡山県			
9.3	4.4	0.0	1.0	0.8	5.7	0.0	2.8	0.0	0.6	1.9	0.8	1.7	1.0	4.1	1.0	(94)	広島県			
2.9	0.0	0.0	2.1	1.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	2.9	0.0	3.5	2.6	(64)	山口県			
0.0	4.8	2.7	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	3.3	(28)	徳島県			
3.5	1.8	0.0	0.0	3.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.8	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	(41)	香川県			
0.0	10.8	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	(41)	愛媛県			
0.0	5.4	0.0	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	(29)	高知県			
1.6	1.7	3.5	0.0	2.5	3.9	0.5	0.0	1.0	0.4	0.0	0.4	0.0	0.5	0.5	2.3	(138)	福岡県			
0.0	9.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.0	0.0	2.9	(25)	佐賀県			
2.1	3.0	2.6	4.4	1.2	1.9	0.0	1.4	1.9	1.6	0.0	1.9	0.0	0.0	2.0	6.7	(83)	長崎県			
1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	3.1	0.7	1.8	0.0	0.0	0.0	1.2	3.6	(75)	熊本県			
0.6	0.0	2.2	0.9	1.8	2.3	0.0	0.9	0.0	0.0	0.5	0.0	0.0	0.0	1.6	3.0	(114)	大分県			
0.0	3.3	3.3	2.3	0.0	2.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.7	1.5	0.0	0.0	1.9	1.5	(40)	宮崎県			
4.7	6.6	0.0	8.5	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.7	1.9	0.0	1.6	0.0	4.8	10.9	(83)	鹿児島県			
4.9	7.1	0.6	27.0	2.1	0.0	0.0	3.3	0.0	1.9	1.1	0.0	1.4	0.0	4.4	18.7	(165)	沖縄県			

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

は、近畿・中四国地方での実施率が高い活動である。

その他の活動で、都道府県によって特徴が顕著に表れたものは、『観光施設・動物園・水族館』における「和歌山」、『テーマパーク・レジャーランド』における「千葉」「大阪」、『リゾート滞在(海浜)』『海水浴・マリンスポーツ』における「沖縄」、『芸術鑑賞』における「東京」などであった。

また、現地ツアー・オプションツアー・体験プログラムの参加率は全体で4.5%となり、前年から3.6ポイント減、前々年から8.6ポイント減となり、コロナ禍において低位にとどまっている。都道府県別にみると、突出して高い値を示した「沖縄」での参加率が18.7%となったが、前年21.2%、前々年37.7%からは大幅に減少した。

#### ⑧旅行先と旅行費用(表I-2-12)

交通費や宿泊費、飲食代、土産代などを含めた旅行1回1人当たりの総費用について全体でみると、前年同様『1万円以上2万円未満』が最頻値となった。近隣旅行の増加、宿泊数の短縮化などとも関連し、コロナ禍前に比べて旅行費用の減少が続く。

都道府県別にみると、「青森」「岩手」「秋田」「埼玉」「奈良」「佐賀」「宮崎」で消費額2万円未満の割合が過半数を占め、低めの傾向にあった。一方、平均費用が高いのは「北海道」「鹿児島」「沖縄」であった。「沖縄」は『10万円以上』のシェアが4割を占め、他都道府県と比べて圧倒的に高い水準であった。

#### ⑨旅行先と満足度・再来訪意向(表I-2-13)

旅行先での満足度をみると、前年に比べて『大変満足』の比率が1.2ポイント減少し、コロナ禍前の前々年と比べると3.6ポイント減となった。一方、都道府県別の再来訪意向(「1年以内に当該地域を再び訪れたいですか。」)は、前年に比べて『大変そう思う』の比率が1.1ポイント増加した。

満足度の全体でのトップシェアは『満足』であり、ほとんどの都道府県において満足層(『大変満足』+『満足』+『やや満足』)が9割を占める。“観光地における満足度調査で満足層が9割”というのは、決して高い水準ではなく、日本においては標準的な結果であるということが分かる。

再来訪希望層(『大変そう思う』+『そう思う』+『やや思う』)は、6~9割となり、満足度よりも都道府県によって評価は分かれる。「沖縄」「山梨」は、再来訪意向の『大変そう思う』の比率が4割を超えた。

表 I-2-12 旅行先(都道府県)別の旅行費用価格帯

(単位：%) (単位：円)

消費額 旅行先	1万円未満	1万円以上 2万円未満	2万円以上 3万円未満	3万円以上 4万円未満	4万円以上 5万円未満	5万円以上 7万円未満	7万円以上 10万円未満	10万円以上	平均費用 (概数)	サンプル数
全体	10.3	21.1	20.6	12.9	10.7	10.1	6.4	7.9	41,580	(5620)
前年	8.8	21.5	20.1	14.5	11.6	9.9	6.6	7.1	41,133	(6322)
前々年	3.9	13.6	18.0	16.2	13.1	13.1	9.8	12.3	53,444	(9111)
北海道	12.2	19.6	16.0	8.2	9.9	12.9	7.5	13.6	48,948	(335)
青森県	22.0	28.7	14.7	6.8	13.4	5.8	2.7	5.9	30,648	(49)
岩手県	33.2	21.8	9.9	19.6	8.2	1.4	2.7	3.4	25,248	(94)
宮城県	19.4	19.9	21.7	11.4	12.5	7.3	2.5	5.2	34,227	(117)
秋田県	13.6	47.8	13.5	6.5	1.9	6.2	3.1	7.4	31,044	(49)
山形県	11.9	22.0	28.3	9.4	3.1	12.3	6.5	6.6	36,771	(51)
福島県	11.3	21.6	28.7	14.3	8.7	3.8	6.6	5.0	34,632	(97)
茨城県	8.4	38.8	28.2	7.5	6.3	4.9	6.0	0.0	26,758	(47)
栃木県	9.5	35.8	20.4	14.0	11.8	4.8	2.3	1.3	27,645	(148)
群馬県	12.6	26.1	25.1	16.4	9.4	7.8	0.7	2.0	28,706	(135)
埼玉県	12.4	38.4	16.1	9.7	11.0	10.8	0.0	1.6	27,240	(57)
千葉県	14.2	24.4	21.8	11.9	7.6	4.7	6.3	9.0	40,544	(175)
東京都	10.9	16.5	17.5	16.3	13.4	11.5	6.1	7.7	43,531	(227)
神奈川県	7.3	21.7	23.9	11.1	9.2	13.0	5.7	8.3	43,732	(223)
新潟県	12.9	28.7	16.2	7.2	18.1	7.9	4.8	4.2	34,604	(122)
富山県	15.3	33.3	30.4	5.5	0.0	6.1	2.3	7.2	31,651	(40)
石川県	7.7	16.8	21.8	13.5	14.4	11.5	5.2	9.0	44,532	(96)
福井県	15.2	28.4	21.6	15.1	7.9	0.0	6.4	5.3	31,400	(56)
山梨県	14.4	26.0	25.9	15.7	6.5	5.8	2.6	3.1	30,259	(120)
長野県	8.0	17.8	23.8	15.3	9.9	13.5	5.2	6.5	41,438	(236)
岐阜県	8.1	17.5	32.7	16.5	8.4	12.6	2.2	2.0	32,716	(66)
静岡県	5.9	26.6	25.3	13.2	9.3	8.8	8.3	2.6	35,187	(297)
愛知県	17.3	23.4	27.6	7.3	12.0	6.5	3.0	2.8	29,614	(143)
三重県	6.0	30.9	26.2	12.1	5.9	4.2	9.0	5.7	36,789	(120)
滋賀県	4.6	34.0	23.1	14.1	19.1	1.9	1.4	1.8	29,171	(53)
京都府	3.4	13.3	25.5	15.4	11.9	15.1	6.8	8.6	46,775	(164)
大阪府	7.1	30.0	18.7	10.7	7.1	10.7	7.9	7.8	41,225	(152)
兵庫県	18.8	13.5	19.2	20.0	11.6	8.6	5.3	3.0	34,420	(157)
奈良県	22.3	30.2	19.5	9.2	3.8	15.0	0.0	0.0	24,426	(38)
和歌山県	8.6	24.4	19.5	9.2	11.6	11.9	6.7	8.0	42,028	(77)
鳥取県	13.9	28.6	27.2	14.9	2.7	6.1	2.0	4.8	33,050	(28)
島根県	11.2	21.1	18.8	13.1	18.4	0.0	15.6	1.8	38,068	(31)
岡山県	12.7	22.3	17.4	19.3	8.4	13.3	5.2	1.5	33,110	(51)
広島県	16.9	22.7	13.2	16.4	7.7	13.4	4.8	4.9	35,631	(89)
山口県	22.5	26.1	14.8	12.3	13.7	4.6	5.9	0.0	26,995	(62)
徳島県	2.1	22.5	18.7	22.0	17.4	6.3	11.1	0.0	36,883	(28)
香川県	19.6	19.5	25.0	15.9	9.4	5.4	5.3	0.0	27,677	(40)
愛媛県	8.5	6.4	44.3	5.8	12.7	3.7	6.8	11.9	46,197	(41)
高知県	15.6	11.6	21.2	29.8	7.7	5.1	3.5	5.4	34,572	(29)
福岡県	8.1	14.0	25.3	18.5	10.2	9.6	5.5	8.9	42,872	(136)
佐賀県	29.6	26.2	23.8	12.2	0.0	5.8	2.3	0.0	21,101	(25)
長崎県	12.4	24.3	23.1	16.3	14.7	4.3	2.1	2.7	30,984	(82)
熊本県	10.2	29.7	19.9	11.4	3.3	10.4	5.3	9.9	40,399	(72)
大分県	7.0	28.3	22.5	12.6	13.1	6.9	3.8	5.7	36,799	(112)
宮崎県	24.2	32.6	14.2	11.4	11.3	2.5	0.0	3.7	25,822	(40)
鹿児島県	10.1	20.8	15.0	12.0	7.8	13.1	8.1	13.0	49,294	(81)
沖縄県	5.1	9.3	8.0	7.0	6.2	11.1	15.4	37.9	89,776	(156)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している。資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

表 I-2-13 旅行先(都道府県)別の満足度・再来訪意向

(単位：%)

旅行先	満足度								サンプル数
	大変満足	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満	大変不満	満足度指数	
全体	29.4	45.9	18.4	4.5	1.1	0.3	0.3	5.96	(5803)
前年	30.6	45.4	17.7	4.5	1.3	0.3	0.2	5.98	(6511)
前々年	33.0	45.6	16.0	4.1	0.9	0.2	0.2	6.04	(9364)
北海道	35.2	41.9	17.2	4.4	0.8	0.2	0.3	6.05	(347)
青森県	27.3	55.6	12.8	2.9	0.0	0.0	1.5	6.01	(50)
岩手県	34.1	43.9	19.4	2.7	0.0	0.0	0.0	6.09	(102)
宮城県	27.4	44.9	18.8	5.2	2.5	0.7	0.5	5.85	(125)
秋田県	15.4	53.1	30.0	0.0	1.5	0.0	0.0	5.81	(49)
山形県	37.2	48.3	12.7	1.8	0.0	0.0	0.0	6.21	(53)
福島県	19.5	56.4	15.4	5.1	1.6	1.3	0.7	5.80	(98)
茨城県	18.2	48.1	26.9	2.8	2.8	0.0	1.2	5.71	(47)
栃木県	22.9	49.2	23.8	3.1	0.0	1.0	0.0	5.89	(155)
群馬県	25.4	44.0	21.4	6.1	3.2	0.0	0.0	5.82	(140)
埼玉県	21.9	51.8	14.4	9.4	1.0	1.6	0.0	5.79	(57)
千葉県	32.8	42.3	19.6	3.5	0.0	1.8	0.0	5.99	(180)
東京都	29.6	44.7	18.7	5.4	1.2	0.0	0.4	5.94	(238)
神奈川県	31.4	36.6	24.1	7.2	0.2	0.0	0.3	5.91	(233)
新潟県	27.2	53.0	16.0	2.8	0.0	1.0	0.0	6.01	(127)
富山県	27.2	39.7	17.2	13.6	2.3	0.0	0.0	5.76	(44)
石川県	26.5	41.1	21.0	7.0	0.9	2.5	0.9	5.74	(98)
福井県	18.9	49.1	28.3	3.8	0.0	0.0	0.0	5.83	(56)
山梨県	36.0	40.6	20.4	1.1	2.0	0.0	0.0	6.08	(122)
長野県	34.0	44.7	15.9	5.0	0.5	0.0	0.0	6.07	(245)
岐阜県	20.9	44.5	30.7	3.8	0.0	0.0	0.0	5.83	(71)
静岡県	30.8	48.2	16.3	3.6	0.6	0.4	0.0	6.04	(304)
愛知県	22.8	45.5	23.7	4.9	2.2	0.0	1.0	5.78	(146)
三重県	24.9	55.6	18.9	0.6	0.0	0.0	0.0	6.05	(121)
滋賀県	20.8	57.7	15.9	4.3	1.4	0.0	0.0	5.92	(54)
京都府	31.6	47.2	17.4	3.1	0.7	0.0	0.0	6.06	(169)
大阪府	31.4	40.1	16.0	8.2	2.3	0.0	2.0	5.82	(157)
兵庫県	24.6	47.7	20.4	4.7	2.6	0.0	0.0	5.87	(165)
奈良県	24.8	59.2	12.0	1.4	2.6	0.0	0.0	6.02	(39)
和歌山県	19.6	54.7	17.4	7.3	0.9	0.0	0.0	5.85	(79)
鳥取県	22.5	39.6	27.9	6.7	0.0	0.0	3.3	5.65	(28)
島根県	38.1	38.0	19.9	4.0	0.0	0.0	0.0	6.10	(33)
岡山県	24.7	56.3	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.06	(51)
広島県	21.8	51.8	15.2	10.2	1.0	0.0	0.0	5.83	(94)
山口県	12.5	43.8	32.1	6.2	5.6	0.0	0.0	5.51	(64)
徳島県	35.4	53.1	11.4	0.0	0.0	0.0	0.0	6.24	(28)
香川県	28.7	36.4	29.8	1.8	3.2	0.0	0.0	5.86	(41)
愛媛県	39.6	31.8	28.7	0.0	0.0	0.0	0.0	6.11	(41)
高知県	8.6	55.8	22.6	7.6	5.4	0.0	0.0	5.54	(29)
福岡県	28.2	46.2	20.4	5.1	0.0	0.0	0.0	5.98	(138)
佐賀県	9.9	52.0	35.9	2.2	0.0	0.0	0.0	5.70	(25)
長崎県	31.4	46.4	11.1	8.7	1.2	0.0	1.1	5.94	(83)
熊本県	18.8	57.6	18.4	5.3	0.0	0.0	0.0	5.90	(75)
大分県	34.1	50.3	11.2	2.0	0.5	0.0	1.8	6.08	(114)
宮崎県	25.9	38.5	26.1	9.4	0.0	0.0	0.0	5.81	(40)
鹿児島県	28.6	53.6	13.3	3.5	0.0	0.9	0.0	6.05	(83)
沖縄県	37.7	45.6	9.6	4.0	3.1	0.0	0.0	6.11	(165)

(注)旅行先別については、1回の旅行につき、単一の旅行先(都道府県)を選択したデータのみ。表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している  
 (注)満足度指数:大変満足(7点)~大変不満(1点)の7段階評価の平均値。再来訪意向指数:大変そう思う(7点)~全く思わない(1点)の7段階評価の平均値  
 ■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

(単位：%)

旅行先	再来訪意向(1年以内)							再来訪意向指数	サンプル数
	大変そう思う	そう思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	全く思わない		
全体	28.1	32.9	19.4	12.4	4.5	1.9	0.8	5.59	(5803)
前年	27.0	31.5	18.6	13.3	6.0	2.3	1.2	5.49	(6511)
前々年	29.6	33.9	17.9	11.2	4.4	2.2	0.8	5.63	(9364)
北海道	31.9	30.2	18.7	14.5	3.0	1.1	0.6	5.68	(347)
青森県	20.2	39.1	21.4	15.2	1.5	1.2	1.5	5.52	(50)
岩手県	35.4	33.4	18.5	9.9	2.7	0.0	0.0	5.89	(102)
宮城県	30.0	28.6	22.2	15.8	3.5	0.0	0.0	5.66	(125)
秋田県	22.5	25.0	30.0	17.4	2.0	3.1	0.0	5.39	(49)
山形県	27.6	28.9	13.9	12.8	15.8	0.0	1.1	5.35	(53)
福島県	17.3	38.9	18.7	17.0	5.0	2.5	0.6	5.37	(98)
茨城県	20.5	34.4	14.3	19.1	11.8	0.0	0.0	5.33	(47)
栃木県	14.1	42.2	27.5	7.4	4.2	2.2	2.5	5.38	(155)
群馬県	17.2	35.4	22.8	17.1	5.9	0.5	1.1	5.35	(140)
埼玉県	27.0	33.2	20.9	11.4	3.9	3.6	0.0	5.57	(57)
千葉県	37.6	32.0	14.0	10.7	2.1	3.1	0.5	5.81	(180)
東京都	31.5	38.8	16.2	9.1	2.6	1.3	0.4	5.82	(238)
神奈川県	28.2	34.2	16.3	13.4	5.7	1.5	0.7	5.58	(233)
新潟県	27.5	37.2	15.9	10.0	5.4	2.9	1.1	5.58	(127)
富山県	29.3	21.1	10.3	24.1	11.9	3.3	0.0	5.22	(44)
石川県	24.7	31.1	22.3	12.7	1.8	5.0	2.5	5.39	(98)
福井県	23.3	29.7	12.3	21.8	7.7	2.6	2.6	5.21	(56)
山梨県	40.3	27.2	20.2	7.7	0.7	3.8	0.0	5.87	(122)
長野県	29.6	32.2	19.4	13.6	2.9	1.0	1.3	5.64	(245)
岐阜県	24.8	25.5	22.3	16.5	8.0	0.0	2.9	5.31	(71)
静岡県	26.5	33.8	21.9	11.4	4.3	1.7	0.4	5.60	(304)
愛知県	30.9	27.5	24.4	11.7	4.0	1.6	0.0	5.65	(146)
三重県	25.3	34.3	18.5	15.5	5.2	1.4	0.0	5.55	(121)
滋賀県	18.1	31.1	31.9	8.9	6.8	3.2	0.0	5.35	(54)
京都府	36.1	31.6	14.9	8.6	6.1	1.5	1.2	5.74	(169)
大阪府	28.7	34.6	18.3	11.3	4.3	0.0	2.8	5.61	(157)
兵庫県	23.5	39.1	15.7	11.2	6.3	2.3	1.8	5.48	(165)
奈良県	16.6	36.1	22.6	20.9	2.4	1.4	0.0	5.40	(39)
和歌山県	29.1	27.1	18.2	23.2	1.7	0.7	0.0	5.57	(79)
鳥取県	18.7	38.7	22.3	17.7	0.0	0.0	2.7	5.48	(28)
島根県	31.9	29.2	15.6	14.0	6.2	3.0	0.0	5.57	(33)
岡山県	24.7	23.1	30.9	12.3	6.5	2.6	0.0	5.39	(51)
広島県	19.5	34.6	21.2	20.6	3.0	1.2	0.0	5.43	(94)
山口県	15.1	20.2	41.5	15.4	4.6	3.2	0.0	5.16	(64)
徳島県	9.3	38.7	23.4	16.4	6.7	5.6	0.0	5.11	(28)
香川県	20.1	17.3	25.4	30.3	3.6	0.0	3.2	5.07	(41)
愛媛県	39.1	29.1	16.0	10.0	5.7	0.0	0.0	5.86	(41)
高知県	26.3	35.5	21.2	7.0	5.4	4.6	0.0	5.56	(29)
福岡県	32.9	31.4	18.1	11.6	4.0	1.9	0.0	5.72	(138)
佐賀県	8.1	57.1	21.3	11.2	2.3	0.0	0.0	5.58	(25)
長崎県	36.3	20.8	19.2	15.3	8.5	0.0	0.0	5.61	(83)
熊本県	23.5	37.9	25.3	10.4	1.8	0.0	1.0	5.67	(75)
大分県	31.4	34.9	15.0	11.9	5.6	1.2	0.0	5.71	(114)
宮崎県	26.8	20.9	24.5	13.6	7.3	3.7	3.3	5.22	(40)
鹿児島県	28.5	35.2	15.9	9.4	5.7	5.3	0.0	5.56	(83)
沖縄県	43.6	27.4	17.4	9.1	1.3	1.2	0.0	5.99	(165)

**3 マーケットセグメント  
(同行者×ライフステージ) 別の旅行動向**  
いずれのセグメントも密を避けた行動が目立つ

ここでは、国内宿泊観光旅行(観光・レクリエーションを目的とする国内宿泊旅行)に絞り、日本人の国内旅行の実態を詳しく見ていく。なお、ここで分析に用いた表データは、全て「JTBF 旅行実態調査」による。

① マーケットセグメントと申し込み時期(表I-2-14)

全体をみると、前年同様、例年に比べて申し込み時期が遅く、旅行が近づいてからの申し込みが多い傾向が続く。『旅行の3か月より前』は、前年は20.7%、コロナ禍前の前々年は30.7%

を占めたが、2021年は17.4%となった。一方、『2週間を切ってから』は30.3%を占めたが、前年は27.6%、前々年19.3%であった。

マーケットセグメント別にも、全体的に前年に比べて申し込み時期が遅めの傾向がみられた。ただし、「3世代家族旅行」「子育て後の男性による友人旅行」「男性のひとり旅」では、『旅行の1か月前まで』に申し込み割合が、前年に比べて増加した。

旅行が近づいてからの申し込みが多いのは「カップルでの旅行」「ひとり旅(男女ともに)」であり、『旅行の1か月前を切ってから』申し込み割合は5割超、『1週間以内』の割合も1割を超えており、他セグメントに比べ、旅行直前に申し込んでいた。

逆に、余裕を持って申し込む「3世代家族旅行」「子育て後の友人旅行(男女ともに)」では『旅行の1か月前まで』の申し込みが6割以上を占めた。

表I-2-14 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行申し込み時期

(単位: %)

マーケットセグメント	申し込み時期										サンプル数
	1年以上前	半年～1年前	3～5か月前	1～2か月前	3～4週間前	1～2週間前	4～6日前	2～3日前	出発前日	当日/出発後	
全体	0.8	3.5	13.0	34.1	18.2	18.7	4.7	4.6	1.3	1.1	(5595)
前年	1.0	4.9	14.9	33.7	18.0	16.6	4.5	4.0	1.3	1.2	(6286)
前々年	1.2	7.8	21.7	34.9	15.1	11.2	3.3	2.8	1.0	1.1	(8953)
家族旅行	1.0	4.6	14.4	37.5	17.9	16.0	3.2	3.8	1.0	0.6	(1606)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	0.2	3.3	13.7	41.0	18.4	12.7	2.5	5.4	1.9	1.0	(313)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	1.3	5.6	13.8	36.7	18.4	15.1	2.8	4.5	1.1	0.8	(687)
18歳以上のみの家族旅行	1.1	4.1	15.6	36.7	17.1	18.7	4.1	2.0	0.4	0.3	(606)
3世代家族旅行*	1.3	5.9	15.3	43.1	18.3	12.4	1.2	1.7	0.5	0.3	(325)
夫婦・カップル旅行	0.7	2.9	12.8	32.6	19.3	19.9	4.8	4.9	1.1	1.1	(2184)
カップルでの旅行	1.1	2.8	9.7	34.1	18.6	20.2	4.8	5.9	1.1	1.7	(625)
夫婦での旅行(子どもなし)	0.7	4.5	12.4	30.5	20.0	21.1	3.2	5.7	0.6	1.3	(545)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	0.7	5.0	15.8	35.0	18.0	20.9	0.0	4.6	0.0	0.0	(83)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	0.4	1.8	14.7	32.6	19.6	18.9	6.1	3.7	1.4	0.6	(931)
友人旅行	0.5	3.7	13.3	37.6	19.2	16.8	3.3	3.6	1.2	0.9	(793)
未婚男性による友人旅行	1.1	4.0	11.1	35.9	16.8	18.9	4.0	4.6	2.0	1.6	(191)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	0.0	6.0	8.0	40.8	21.7	11.9	2.9	3.8	1.7	3.2	(45)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	2.3	2.8	6.7	48.3	25.2	13.0	0.0	1.6	0.0	0.0	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	4.4	17.1	39.3	12.3	19.2	5.3	1.4	0.9	0.0	(103)
未婚女性による友人旅行	0.0	1.9	10.9	36.6	21.9	19.7	2.3	4.5	1.8	0.4	(172)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	1.3	2.2	12.2	35.0	24.6	18.9	2.9	1.7	0.0	1.2	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	0.0	0.0	15.3	13.1	23.4	39.0	0.0	9.2	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	0.0	5.0	19.7	38.2	18.8	10.0	3.4	3.8	0.6	0.5	(165)
ひとり旅	1.2	2.6	11.3	28.8	15.3	22.3	7.6	6.2	2.3	2.2	(929)
男性のひとり旅	1.4	3.1	10.5	28.0	13.7	23.5	7.9	7.3	2.3	2.3	(610)
女性のひとり旅	0.9	1.7	12.9	30.4	18.2	20.1	7.0	4.3	2.4	2.1	(319)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

②マーケットセグメントと出発月・出発日(表I-2-15)

出発月は、例年『8月』が最も多く、『2月』が最も少ないが、2021年もコロナ禍の影響を大きく受け、例年とは異なる傾向であった。感染状況が比較的落ち着いた『10～12月』が増加し、4割弱を占めた。一方、2回目の緊急事態宣言が発出された『1～2月』はあわせても1割を下回った。マーケットセグメント別にみると、コロナ禍においても、「18歳未満の子どもと一緒に家族旅行」「3世代家族旅行」は例年同様、学校が夏休みとなる『8月』が多い。「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行」「18歳以上のみの家族旅行」では『11～12月』が多かった。

出発日は、『ゴールデンウィーク』は、前年は初めての緊急事態宣言が発出されステイホームが呼びかけられていたこともあり、前年に比べて2.5ポイント増加した。『月～木曜日』の比率は前年に比べると1.0ポイント減だが、コロナ禍前の前々年からは2.8ポイント増となり、密を避けた平日旅行が意識された結果となった。出発日はマーケットセグメントによる差が大きく、コロナ禍においても、やはり「家族旅行」の出発日は子どもの年齢に大きく左右され、『夏休み』のシェアが他セグメントに比べて大きい。「子育て後の夫婦での旅行」などでは『月～木曜日』出発の旅行が4割を超えた。

表I-2-15 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別に出発月・出発日

(単位：%)

マーケットセグメント	出発月												出発日					サンプル数		
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	夏休み	ゴールデンウィーク	年末年始	土曜日	日曜・祝日		月～木曜日	金曜日
全体	3.5	3.4	9.4	5.4	7.1	5.8	8.7	11.2	7.1	10.1	13.4	14.9	7.7	3.3	4.8	21.4	13.7	34.5	14.6	(5803)
前年	10.2	10.6	7.8	1.7	1.8	4.2	6.9	12.6	11.4	10.1	14.2	8.5	6.4	0.7	5.1	19.0	19.6	35.4	13.7	(6511)
前々年	5.8	5.6	9.0	7.6	11.5	7.5	7.9	14.3	9.1	6.8	7.8	7.1	8.0	6.7	4.2	17.8	16.1	31.7	15.5	(9364)
家族旅行	4.1	2.6	9.5	5.3	6.2	4.2	9.1	15.0	5.3	9.1	13.7	15.9	14.1	3.9	7.4	25.7	13.3	22.6	13.0	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行 (小中高生を含まない)	3.8	1.8	8.1	6.0	7.5	5.8	7.1	11.0	7.1	9.7	16.1	16.0	10.7	4.5	7.0	27.5	12.8	21.6	15.9	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行 (乳幼児連れも含む)	3.4	1.9	10.2	5.4	6.7	3.0	11.3	20.6	3.0	8.4	11.8	14.3	20.1	5.1	7.5	28.5	12.7	15.7	10.4	(720)
18歳以上のみの家族旅行	5.1	3.7	9.5	4.8	5.0	4.8	7.6	10.6	7.1	9.5	14.6	17.8	9.0	2.2	7.4	21.6	14.2	31.1	14.6	(626)
3世代家族旅行*	3.9	1.7	10.4	4.6	6.2	4.1	11.2	17.3	5.0	6.4	14.0	15.2	18.1	3.3	5.6	28.3	16.1	18.0	10.5	(352)
夫婦・カップル旅行	3.2	3.9	9.0	5.6	8.5	6.4	8.2	9.6	7.5	10.5	13.3	14.1	5.0	3.3	3.5	20.3	14.1	39.2	14.6	(2245)
カップルでの旅行	3.5	3.7	8.3	5.9	9.5	5.8	7.3	11.7	6.9	11.3	10.3	15.7	6.0	4.6	4.8	25.2	13.4	28.0	18.0	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	3.1	3.5	9.9	5.2	7.6	6.8	8.0	10.8	7.7	9.4	14.0	13.9	7.3	4.3	4.4	25.9	12.5	28.9	16.7	(563)
子育て中の夫婦での旅行 (末子が18歳未満)	3.2	0.9	7.8	4.1	9.7	2.7	9.5	14.1	8.7	10.9	20.0	8.5	5.9	1.8	0.6	20.3	22.4	37.0	12.1	(85)
子育て後の夫婦での旅行 (末子が18歳以上)	3.0	4.5	9.0	5.8	8.3	7.0	8.8	7.1	7.7	10.7	14.4	13.6	2.9	2.0	2.4	13.7	14.8	53.0	11.2	(951)
友人旅行	3.0	3.4	9.8	4.9	6.9	6.6	8.6	10.4	8.2	9.6	13.4	15.1	5.6	3.6	3.6	19.2	14.3	40.3	13.4	(828)
未婚男性による友人旅行	3.4	3.6	12.7	3.9	7.9	5.5	11.7	14.1	8.1	9.6	7.5	11.9	11.5	6.2	6.2	21.3	14.5	24.9	15.3	(207)
既婚男性による友人旅行 (子どもなし)	3.4	4.7	9.1	9.6	5.7	6.3	8.4	16.6	5.8	8.3	16.1	6.0	5.5	6.2	5.3	25.2	12.1	39.6	6.1	(48)
子育て中の男性による友人旅行 (末子が18歳未満)	5.8	1.6	3.1	1.2	5.9	1.6	10.8	19.9	4.0	14.2	13.2	18.6	5.7	2.0	8.5	31.8	3.2	31.9	16.9	(47)
子育て後の男性による友人旅行 (末子が18歳以上)	3.6	2.1	11.7	4.3	7.7	10.6	8.5	2.5	7.0	12.4	14.5	15.0	1.9	2.6	2.9	17.3	9.7	47.9	17.8	(106)
未婚女性による友人旅行	2.4	3.7	10.1	4.8	8.6	7.5	8.4	12.5	9.7	5.1	12.0	15.2	7.4	3.7	2.2	18.8	14.2	43.0	10.8	(181)
既婚女性による友人旅行 (子どもなし)	0.0	6.2	7.3	2.9	4.5	7.5	11.7	0.0	9.2	13.2	20.5	16.9	1.7	3.0	2.4	16.6	16.0	51.1	9.2	(60)
子育て中の女性による友人旅行 (末子が18歳未満)	0.0	7.4	7.2	5.7	18.1	7.5	0.0	0.0	9.2	0.0	30.6	14.4	0.0	9.0	0.0	74.3	0.0	9.2	7.5	(10)
子育て後の女性による友人旅行 (末子が18歳以上)	3.2	2.7	7.8	6.8	4.3	5.4	4.2	8.7	8.8	11.0	17.4	19.8	0.8	0.5	1.2	10.4	21.1	51.8	14.2	(169)
ひとり旅	3.8	3.9	10.4	5.7	5.4	6.6	8.9	9.2	8.7	10.7	12.2	14.5	4.6	2.1	4.7	19.5	12.5	38.7	17.9	(963)
男性のひとり旅	3.7	4.1	9.6	6.7	6.6	7.0	9.0	8.8	7.4	10.6	12.4	13.9	4.3	2.3	4.0	23.7	12.6	34.9	18.1	(635)
女性のひとり旅	4.2	3.4	12.0	3.7	3.1	5.7	8.6	10.1	11.0	10.9	11.8	15.5	5.3	1.6	6.1	11.3	12.1	46.0	17.5	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

③マーケットセグメントと交通手段

●旅行先までの主な交通手段(表I-2-16)

コロナ禍において旅行先までの主な交通手段はその影響を大きく受け、『列車』や『飛行機』などの公共交通機関の利用率が大幅に減少、『自家用車』の利用率が高まったが、2021年もその傾向が続いた。『自家用車』は、前年と比較して3.6ポイント増、コロナ禍前の前々年と比較すると18.3ポイント増と大幅に増加した。一方、公共交通機関は『列車』対前年1.8ポイント減・対前々年6.2ポイント減、『飛行機』対前年1.7ポイント減・対前々年10.2ポイント減となった。

「家族旅行」は『自家用車』利用率が他セグメントに比べて高く、特に「18歳未満の子どもと一緒に家族旅行」では8割弱を占めた(前年7.5割、前々年6割弱)。子どもが大きくなるにつれ、『自家用車』利用率が減少し、「3世代家族旅行」になると、再び『自家用車』利用率が高まるという傾向は例年同様であった。「夫婦・カップル旅行」も『自家用車』がトップシェアを占め、前々年46.9%、前年61.5%から66.6%と増加が続いた。「友人旅行」は、「未婚女性による友人旅行」において『列車』利用が最も多く、それ以外のセグメントでは『自家用車』利用が最も多い。「ひとり旅」では『列車』『飛行機』の利用率が他セグメントに比べ高い。

表 I-2-16 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行先までの主な交通手段 (単位: %)

旅行先までの主な交通手段 マーケットセグメント	自家用車			列車			飛行機			バス・貸切バス	レンタカー			その他	サンプル数
	高速道路利用	利用なし	高速道路	有料特急利用	新幹線・有料特急利用なし	新幹線・有料	JAL・ANA利用	JAL・ANA以外利用	JAL・ANA		高速道路利用	利用なし	高速道路		
全体	58.2	40.9	17.3	21.1	14.5	6.6	12.5	8.6	3.9	3.8	3.3	2.7	0.6	1.1	(5803)
前年	54.6	39.9	14.6	23.0	16.0	7.0	14.2	11.1	3.1	4.0	3.2	2.8	0.4	1.0	(6511)
前々年	39.9	33.2	6.7	27.3	22.0	5.4	22.7	17.7	5.0	6.4	2.7	2.2	0.5	1.0	(9364)
家族旅行	71.9	54.2	17.7	14.3	10.6	3.7	8.4	6.1	2.3	1.4	3.5	3.0	0.5	0.5	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	77.8	59.3	18.5	8.0	6.2	1.8	9.5	7.4	2.2	0.3	4.3	3.5	0.9	0.0	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	77.3	57.4	19.9	10.5	8.0	2.5	6.9	5.4	1.5	1.5	3.5	3.0	0.5	0.4	(720)
18歳以上のみの家族旅行	62.7	47.9	14.8	21.9	16.0	6.0	9.4	6.2	3.2	1.9	3.2	2.8	0.4	0.9	(626)
3世代家族旅行*	72.4	52.4	20.0	12.2	9.2	3.0	9.8	8.0	1.8	0.2	4.8	3.9	0.9	0.6	(352)
夫婦・カップル旅行	66.6	46.0	20.6	17.0	11.2	5.7	10.4	7.6	2.8	2.6	3.1	2.3	0.8	0.4	(2245)
カップルでの旅行	53.8	38.7	15.1	25.4	15.8	9.6	10.3	7.8	2.5	4.4	5.6	4.4	1.2	0.5	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	58.9	42.0	17.0	18.9	11.7	7.3	14.9	10.4	4.5	2.2	4.6	3.2	1.5	0.4	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	74.4	62.2	12.3	16.3	10.1	6.2	8.4	6.0	2.4	0.0	0.9	0.9	0.0	0.0	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	79.1	51.8	27.3	10.2	8.0	2.2	7.9	5.9	2.0	1.8	0.7	0.5	0.2	0.4	(951)
友人旅行	47.9	32.4	15.5	26.9	16.3	10.6	12.2	7.4	4.8	4.8	6.1	5.0	1.0	2.1	(828)
未婚男性による友人旅行	43.3	27.2	16.0	27.9	16.7	11.2	12.0	7.9	4.1	5.5	9.4	9.1	0.4	1.9	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	64.3	50.2	14.1	17.3	10.9	6.4	10.0	2.4	7.6	1.9	6.4	2.8	3.6	0.0	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	59.7	55.9	3.8	13.1	13.1	0.0	19.1	13.1	5.9	3.3	0.0	0.0	0.0	4.8	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	71.0	55.7	15.3	10.9	8.1	2.8	8.1	6.9	1.2	1.9	3.4	3.4	0.0	4.6	(106)
未婚女性による友人旅行	28.7	21.1	7.5	41.5	22.4	19.1	12.2	5.6	6.6	5.7	10.4	8.3	2.1	1.6	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	46.0	31.4	14.6	32.0	19.4	12.6	14.1	6.6	7.5	2.4	0.0	0.0	0.0	5.4	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	55.6	39.3	16.3	35.4	29.6	5.7	9.0	9.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	51.8	24.4	27.3	24.4	14.8	9.6	13.2	8.9	4.3	7.3	3.0	1.8	1.2	0.3	(169)
ひとり旅	24.4	13.7	10.6	37.6	27.5	10.1	24.9	16.5	8.4	9.4	1.2	1.0	0.2	2.4	(963)
男性のひとり旅	29.1	16.5	12.5	36.0	26.2	9.9	22.4	15.2	7.2	7.9	1.8	1.4	0.4	2.7	(635)
女性のひとり旅	15.3	8.3	6.9	40.7	30.0	10.7	29.7	18.9	10.8	12.3	0.2	0.2	0.0	1.9	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

※3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

資料: (公財)日本交通公社「JTFB 旅行実態調査」

●旅行先での主な交通手段(表I-2-17)

旅行先での交通手段は、旅行先までの交通手段同様、ほとんどのセグメントにおいて、前年と比較して『自家用車』が増加、『列車』や『路線バス』などの公共交通機関が減少した。

「家族旅行」での『自家用車』利用率はいずれのセグメントでも半数を超えて5～6.5割と高く、特に、「18歳未満の子どもと一緒に家族旅行」では6割以上を占めた。「夫婦・カップル旅行」は、「カップルでの旅行」「夫婦での旅行(子どもなし)」の『自家用車』利用率は5割を下回るが、「子育て後の夫婦での旅行」は

7割弱が『自家用車』を利用、前年に比べて10ポイント増加した。「友人旅行」では、「未婚男性・女性の友人旅行」は『列車』、『路線バス』、「子育て後の男性による友人旅行」は『自家用車』、「子育て後の女性による友人旅行」は『貸切バス・定期観光バス』が特徴であった。「ひとり旅」は、4.5割が『列車』を、2割が『路線バス』を利用しており、他セグメントに比べて特徴的な交通手段となっている。なお、他セグメント同様、コロナ禍前と比べると『自家用車』の利用率は10ポイント程度増加している。

表I-2-17 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行先での主な交通手段(複数回答) (単位：%)

旅行先での主な交通手段	自家用車	列車	レンタカー	路線バス	タクシー・ハイヤー	貸切バス・定期観光バス	飛行機	船(フェリー、観光船、屋形船など)	観光客向けの巡回バスなど	レンタサイクル	その他	交通機関は利用しなかった	サンプル数
マーケットセグメント													
全体	49.3	20.4	9.7	9.4	4.9	2.4	2.1	2.0	1.8	0.8	0.9	14.4	(5803)
前年	46.5	21.1	10.9	11.1	5.8	4.4	4.2	2.3	2.9	1.1	1.3	13.2	(6511)
前々年	37.5	29.7	13.6	14.1	8.5	7.3	8.1	2.9	3.9	1.4	1.1	7.2	(9364)
家族旅行	59.2	12.8	9.4	6.1	3.9	1.5	2.4	1.9	1.8	0.6	0.7	15.8	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	64.5	8.9	11.3	2.6	2.9	2.1	3.2	1.6	0.9	0.8	0.3	15.1	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	61.8	9.8	9.6	4.9	2.5	1.4	2.1	2.1	1.2	0.5	0.5	17.5	(720)
18歳以上のみの家族旅行	53.6	18.3	8.3	9.4	5.9	1.4	2.5	2.0	3.0	0.6	1.2	14.3	(626)
3世代家族旅行*	56.8	9.3	13.9	3.4	3.1	1.9	4.0	2.6	1.5	0.4	1.0	18.6	(352)
夫婦・カップル旅行	56.5	15.1	9.6	7.1	5.0	2.2	1.4	1.9	1.6	0.7	0.3	14.1	(2245)
カップルでの旅行	46.1	20.3	12.8	7.3	6.0	0.8	2.0	1.9	2.2	1.6	0.2	15.3	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	48.9	20.7	14.8	10.7	6.6	1.4	1.7	1.7	1.6	0.7	0.5	15.0	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	59.6	15.5	5.9	9.3	9.1	3.3	0.9	2.7	3.3	0.9	1.6	10.9	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	67.8	8.3	4.7	4.6	3.1	3.5	0.8	1.9	0.9	0.1	0.1	13.2	(951)
友人旅行	39.7	22.1	13.0	8.8	5.3	3.5	2.4	2.5	2.5	0.0	1.9	15.6	(828)
未婚男性による友人旅行	34.2	27.5	18.6	9.6	4.6	1.4	4.9	3.3	3.7	0.0	1.4	17.4	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	51.6	12.1	13.5	2.8	0.0	4.4	2.1	0.0	3.2	0.0	4.2	13.1	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	42.0	24.2	6.0	9.2	4.0	0.0	2.8	0.0	0.0	0.0	2.8	25.0	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	62.3	5.3	11.1	0.0	4.6	2.6	2.9	0.9	1.4	0.0	5.1	11.8	(106)
未婚女性による友人旅行	29.5	33.8	14.4	15.4	4.4	2.7	2.1	1.6	1.8	0.0	0.0	13.2	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	33.0	17.5	11.9	2.6	15.1	2.4	0.0	2.2	0.0	0.0	0.0	24.3	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	25.7	30.0	21.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.3	22.5	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	42.3	17.0	7.7	10.9	6.2	8.6	0.3	5.0	4.2	0.0	1.3	13.0	(169)
ひとり旅	24.5	45.2	7.4	20.7	6.0	3.1	3.3	1.9	1.5	2.4	2.1	11.3	(963)
男性のひとり旅	27.1	43.4	8.1	20.0	5.0	1.1	4.4	2.0	0.7	3.3	2.1	11.9	(635)
女性のひとり旅	19.6	48.8	6.0	22.1	7.9	7.1	1.2	1.6	3.1	0.7	2.1	10.1	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

④マーケットセグメントと旅行で最も楽しみにしていたこと (表I-2-18)

『温泉に入ること』は、「家族旅行」「夫婦での旅行(子どもなし)」「子育て後の女性による友人旅行」で最多となり、「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行」「子育て後の夫婦での旅行」は全体に比べて5ポイント以上高い比率となった。前年との比較でみると、特に「乳幼児の子どもと一緒に家族旅行」「既婚男性による友人旅行(子どもなし)」「未婚女性による友人旅行」などでの増加幅が大きい。

『おいしいものを食べること』は、「カップルでの旅行」「未婚

男性・女性による友人旅行」「男性のひとり旅」などにおいて最多となった。『自然景観を見ること』や『文化的な名所を見ること』はどのセグメントにおいてもトップシェアにはならないものの、比較的上位を占めた。『目当ての宿泊施設に泊まること』は、「3世代家族旅行」で1割を占めた。『スポーツやアウトドア活動を楽しむこと』は「男性による友人旅行」で特徴的な楽しみとなっている。

このように、同行者やライフステージによって、旅行での楽しみは異なる。

表I-2-18 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の旅行で最も楽しみにしていたこと

(単位：%)

マーケットセグメント	温泉に入ること	おいしいものを食べること	自然景観を見ること	文化的な名所(史跡、寺社仏閣など)を見ること	目当ての宿泊施設に泊まること	スポーツやアウトドア活動を楽しむこと	観光・文化施設(水族館や美術館、テーマパークなど)を訪れること	帰省・冠婚葬祭関連・親族や知人訪問	自然の豊かさを体験すること	芸術・音楽・スポーツなどの観劇・鑑賞・観戦	買い物をする	街や都市を訪れること	地域の祭りやイベント	地域の文化を体験すること	その他	サンプル数
全体	23.0	21.4	10.1	7.0	6.6	6.2	5.5	4.4	3.8	3.1	2.8	2.7	0.7	0.6	2.3	(5803)
前年	20.9	20.8	11.1	8.2	5.7	6.0	6.7	4.3	3.7	2.6	2.5	3.6	0.9	0.4	2.4	(6511)
前々年	15.4	18.7	12.2	11.7	2.5	6.2	9.3	4.0	3.2	5.0	2.9	4.0	1.9	1.0	2.1	(9364)
家族旅行	25.5	19.8	8.1	6.2	8.0	5.2	8.2	4.6	4.6	1.8	3.1	1.7	0.5	0.7	2.2	(1673)
乳幼児の子どもと一緒に家族旅行(小中高生を含まない)	28.8	18.1	6.4	3.5	7.9	4.2	10.1	6.9	6.5	0.3	3.8	0.8	0.9	0.2	1.7	(327)
小中高生の子どもと一緒に家族旅行(乳幼児連れも含む)	22.4	17.6	8.4	5.2	9.8	8.2	9.8	3.8	4.9	1.1	2.4	1.2	0.6	1.1	3.4	(720)
18歳以上のみの家族旅行	27.3	23.1	8.6	8.8	6.0	2.2	5.3	4.3	3.1	3.2	3.6	2.9	0.2	0.4	1.1	(626)
3世代家族旅行*	22.5	18.4	9.0	3.8	10.2	5.0	7.2	5.5	7.0	2.2	1.3	1.4	1.0	2.4	2.9	(352)
夫婦・カップル旅行	28.4	23.4	11.1	6.6	6.2	3.1	5.1	3.9	3.8	1.1	2.9	2.6	0.5	0.4	0.9	(2245)
カップルでの旅行	24.6	26.1	11.1	6.2	6.9	1.9	9.0	2.6	2.7	0.5	3.1	3.8	0.7	0.3	0.7	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	28.0	17.7	10.0	7.5	6.2	5.9	5.4	4.6	4.3	1.4	3.3	2.8	0.7	0.6	1.6	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	22.1	32.2	12.2	5.1	2.8	3.4	3.4	2.9	7.0	1.1	4.9	1.2	0.0	1.8	0.0	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	31.9	24.1	11.7	6.5	6.1	2.3	2.3	4.5	4.0	1.4	2.3	1.9	0.2	0.2	0.6	(951)
友人旅行	18.3	24.4	12.0	6.7	5.6	12.1	4.4	1.4	3.0	2.4	2.6	2.4	0.9	0.7	3.0	(828)
未婚男性による友人旅行	14.0	25.0	16.8	8.5	2.6	8.0	5.7	2.5	3.4	1.6	3.4	3.5	1.5	1.7	1.8	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	18.5	24.2	3.1	6.1	4.3	24.7	0.0	1.2	7.8	3.2	0.0	2.1	1.5	0.0	3.2	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	17.9	27.3	15.6	3.5	0.0	19.0	0.0	0.0	2.2	3.3	0.0	3.3	5.0	0.0	2.8	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	18.4	22.7	13.8	5.1	1.4	26.9	2.2	0.0	2.9	1.8	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	(106)
未婚女性による友人旅行	18.3	26.1	6.7	5.1	9.4	5.2	8.3	1.5	2.4	3.8	4.2	3.9	0.0	0.4	4.7	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	12.6	25.9	11.0	8.5	8.1	14.9	8.6	0.0	0.0	4.0	4.8	0.0	0.0	0.0	1.5	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	9.0	23.4	15.3	0.0	30.0	9.2	13.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	26.2	21.8	12.6	8.0	7.2	9.0	0.4	1.6	3.4	1.4	2.6	1.7	0.9	0.9	2.1	(169)
ひとり旅	10.5	17.0	9.5	9.7	5.0	9.9	2.9	8.1	3.0	10.4	2.6	4.8	1.4	0.9	4.4	(963)
男性のひとり旅	11.1	18.9	9.6	11.0	4.6	11.1	1.9	7.4	2.3	7.3	2.5	5.5	1.7	1.2	3.9	(635)
女性のひとり旅	9.2	13.3	9.1	7.3	5.7	7.6	5.0	9.4	4.3	16.5	2.7	3.5	0.8	0.3	5.3	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

⑤マーケットセグメントと宿泊施設(表I-2-19)

前年同様、全てのセグメントにおいて『ホテル』がトップを占めたが、多くのセグメントでその利用率は減少した。『リゾートホテル』は「家族旅行」「子育て後の夫婦での旅行」で、『ビジネスホテル』は「ひとり旅」で、特に、高い利用率となった。

『旅館』の利用率は、「乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行」「夫婦での旅行(子どもなし)」「子育て後の夫婦での旅行」「子育て

後の男性による友人旅行」などで高い傾向がみられた。

『実家・親戚・知人宅』は「女性のひとり旅」において、『民宿・ペンション・ロッジ』は「既婚男性による友人旅行(子どもなし)」において、他セグメントに比べて高い利用率であった。

『キャンプ・オートキャンプ』は、シェアは大きくはないものの、多くのセグメントで利用率が増加した。特に、「男性の友人旅行」で全体に比べて高い傾向にあった。

表 I-2-19 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の宿泊施設(複数回答)

(単位：%)

マーケットセグメント	ホテル			旅館		実家・親戚・知人宅	民宿・ペンション・ロッジ	キャンプ・オートキャンプ	別荘・リゾートマンション・会員制の宿泊施設	公共の宿	ゲストハウス	民泊	その他	サンプル数		
	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	旅館(比較的規模大)	旅館(比較的規模小)											
全体	55.0	23.3	19.7	14.2	30.4	16.7	14.3	6.1	3.8	3.1	2.5	2.1	1.1	0.5	1.6	(5803)
前年	56.8	23.3	20.6	15.4	31.7	18.3	14.2	5.2	4.6	1.9	2.8	1.6	-	-	1.9	(6511)
前々年	62.2	22.9	24.3	19.4	27.0	16.9	10.8	7.4	4.2	1.7	2.5	1.8	-	-	1.8	(9364)
家族旅行	50.5	31.2	9.1	12.2	32.1	19.0	13.6	6.2	4.2	4.9	3.4	1.9	0.8	0.7	1.3	(1673)
乳幼児の子どもと一緒にの家族旅行(小中高生を含まない)	43.0	33.1	2.9	7.7	36.2	20.9	15.5	8.9	4.2	5.4	4.2	1.7	0.0	1.2	0.6	(327)
小中高生の子と一緒にの家族旅行(乳幼児連れも含む)	49.3	33.1	7.0	11.1	29.7	18.6	11.8	7.1	4.8	7.5	3.8	1.1	0.9	0.3	2.0	(720)
18歳以上のみの家族旅行	55.9	28.1	14.9	15.8	32.7	18.4	14.6	3.8	3.6	1.6	2.4	2.8	1.0	0.8	1.0	(626)
3世代家族旅行*	48.6	33.2	6.2	10.2	33.9	23.6	11.2	5.2	5.8	2.9	6.7	1.7	0.4	1.2	1.7	(352)
夫婦・カップル旅行	52.4	25.0	15.9	13.7	37.5	20.0	18.4	4.4	3.2	2.0	2.5	2.7	0.4	0.3	1.4	(2245)
カップルでの旅行	59.0	21.7	25.3	15.1	32.2	17.3	15.8	4.9	3.4	2.3	1.4	1.1	0.5	0.4	0.6	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	51.6	21.9	17.3	16.5	37.9	16.7	22.3	5.1	4.1	3.2	1.9	1.8	0.4	0.3	2.8	(563)
子育て中の夫婦での旅行(末子が18歳未満)	59.8	26.8	15.9	17.2	32.8	20.3	15.2	2.0	1.8	4.2	0.0	2.7	1.8	0.9	1.8	(85)
子育て後の夫婦での旅行(末子が18歳以上)	47.7	29.0	8.8	10.9	41.2	23.7	18.0	3.8	2.7	1.0	3.8	4.3	0.3	0.1	1.1	(951)
友人旅行	54.0	19.0	22.4	14.4	28.9	16.2	13.3	4.5	6.5	3.7	2.2	1.9	1.9	0.9	1.1	(828)
未婚男性による友人旅行	56.4	14.6	31.0	14.0	24.4	15.2	10.7	7.0	8.7	3.0	0.3	0.4	3.5	0.4	1.9	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	43.2	13.0	22.4	7.7	18.8	10.9	7.9	7.9	17.0	9.3	2.8	0.0	3.1	6.0	3.5	(48)
子育て中の男性による友人旅行(末子が18歳未満)	58.2	19.2	24.6	14.4	33.4	17.3	16.0	0.0	1.6	6.2	0.0	0.0	5.7	0.0	0.0	(47)
子育て後の男性による友人旅行(末子が18歳以上)	46.6	18.8	20.2	8.3	36.0	17.2	18.8	2.1	4.1	8.9	5.0	1.2	0.5	0.0	0.9	(106)
未婚女性による友人旅行	59.7	18.1	21.3	21.9	27.4	13.6	13.8	6.2	1.4	2.4	1.0	1.9	0.5	0.0	0.4	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	49.4	22.6	14.0	12.9	30.8	14.5	16.3	1.3	12.0	1.7	4.0	2.4	2.5	2.2	0.0	(60)
子育て中の女性による友人旅行(末子が18歳未満)	76.3	30.2	24.3	21.8	16.5	9.0	7.5	0.0	0.0	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	(10)
子育て後の女性による友人旅行(末子が18歳以上)	51.7	25.0	16.7	12.7	33.4	21.6	12.7	2.9	7.5	0.9	3.9	5.1	0.9	1.2	1.2	(169)
ひとり旅	69.4	8.4	45.4	18.5	12.6	5.6	7.2	11.6	2.4	2.0	0.8	1.1	2.8	0.3	2.9	(963)
男性のひとり旅	72.9	7.4	50.1	18.5	11.7	4.4	7.6	9.1	1.5	2.4	1.3	1.1	1.5	0.3	3.8	(635)
女性のひとり旅	62.7	10.3	36.4	18.4	14.5	7.9	6.5	16.4	4.2	1.3	0.0	1.2	5.2	0.3	1.1	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い

■全体の比率より10ポイント以上高い

■全体の比率より5ポイント以上高い

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

⑥マーケットセグメントと宿泊数(表I-2-20)

ほぼ全てのセグメントにおいて『1泊』の割合が高まり、平均宿泊数は減少した。特に減少が大きかったのは、「未婚男性・女性による友人旅行」「18歳以上のみの家族旅行」「3世代家族旅行」「子育て後の夫婦での旅行」などであった。一方、「ひとり旅」は、前年に比べて平均宿泊数は増加した。

平均宿泊数が最も長いのは、例年同様「ひとり旅」であり、2.14泊であった。スケジュール面やコロナ禍における感染拡

大防止面などにおいて1人だと制約が少ないことが、平均宿泊数の長さに影響しているためと考えられる。

逆に、宿泊数が短い傾向にあるのは「家族旅行(1.50泊)」、「友人旅行(1.51泊)」であった。なかでも、「小中高生の子供と一緒に家族旅行(1.46泊)」、「未婚女性による友人旅行(1.36泊)」、「子育て後の男性・女性による友人旅行(1.49泊)」などで短い傾向にあった。

(五木田玲子)

表 I-2-20 マーケットセグメント(同行者×ライフステージ)別の宿泊数

(単位：%) (単位：泊)

マーケットセグメント	1泊	2泊	3泊	4泊	5泊以上	平均宿泊数	サンプル数
全体	65.8	20.1	7.6	2.7	3.8	1.62	(5803)
前年	62.0	22.9	8.5	3.2	3.4	1.66	(6511)
前々年	50.7	29.2	12.1	3.7	4.4	1.85	(9364)
家族旅行	70.5	17.6	7.2	2.5	2.3	1.50	(1673)
乳幼児の子供と一緒に家族旅行 (小中高生を含まない)	66.3	18.4	7.3	4.9	3.1	1.64	(327)
小中高生の子供と一緒に家族旅行 (乳幼児連れも含む)	72.8	16.2	7.3	1.8	2.0	1.46	(720)
18歳以上のみの家族旅行	70.1	18.8	6.9	2.0	2.3	1.49	(626)
3世代家族旅行*	66.5	19.4	9.9	2.1	2.0	1.56	(352)
夫婦・カップル旅行	67.0	19.4	8.1	2.9	2.5	1.56	(2245)
カップルでの旅行	68.2	20.4	7.4	2.6	1.4	1.49	(646)
夫婦での旅行(子どもなし)	63.0	20.0	10.3	3.2	3.5	1.68	(563)
子育て中の夫婦での旅行 (末子が18歳未満)	71.0	18.8	4.6	1.8	3.8	1.50	(85)
子育て後の夫婦での旅行 (末子が18歳以上)	68.2	18.5	7.7	3.1	2.6	1.55	(951)
友人旅行	68.3	22.7	4.7	0.7	3.6	1.51	(828)
未婚男性による友人旅行	60.3	28.6	9.0	0.0	2.1	1.56	(207)
既婚男性による友人旅行(子どもなし)	68.0	18.2	3.1	2.1	8.5	1.71	(48)
子育て中の男性による友人旅行 (末子が18歳未満)	66.1	17.5	2.2	3.3	10.9	1.81	(47)
子育て後の男性による友人旅行 (末子が18歳以上)	73.3	19.2	1.8	1.5	4.3	1.49	(106)
未婚女性による友人旅行	75.2	20.4	2.7	0.0	1.6	1.36	(181)
既婚女性による友人旅行(子どもなし)	61.8	31.3	2.5	0.0	4.5	1.55	(60)
子育て中の女性による友人旅行 (末子が18歳未満)	91.0	9.0	0.0	0.0	0.0	1.09	(10)
子育て後の女性による友人旅行 (末子が18歳以上)	69.4	20.7	5.5	1.0	3.5	1.49	(169)
ひとり旅	52.3	23.5	10.2	4.2	9.8	2.06	(963)
男性のひとり旅	53.8	22.9	9.8	5.1	8.5	2.02	(635)
女性のひとり旅	49.5	24.7	11.0	2.5	12.3	2.14	(328)

(注)表中の数値は表示単位未満で四捨五入して表示している

\*3世代家族旅行は、子どもの年齢にかかわらず3世代で行った旅行であり、家族旅行の3セグメントと重複する

■全体の比率より15ポイント以上高い ■全体の比率より10ポイント以上高い ■全体の比率より5ポイント以上高い

■平均宿泊数が全体平均値より0.5泊以上高い(平均宿泊数については、7泊以上は7泊と仮定して算出)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

# I-3 日本人の海外旅行

## 1 2021年の概況

2021年の日本人出国者数は51.2万人  
新型コロナウイルス感染症の影響続く

### (1) 海外旅行者の動向

法務省の「出入国管理統計」によると、2021年の日本人出国者数は51.2万人で、2020年の317.4万人から更に減少し、前年比83.9%減となった。2020年から続く新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)の世界的な流行によって、海外への出国者は更に減少した(表 I-3-1)。

### (2) 主な要因

2020年に引き続き、2021年上半期はコロナ禍の影響により、多くの国で入国制限や到着後の隔離、検査の実施などの水際対策がとられた。

一方、上半期にワクチン接種が急速に進んだことで、下半

期には多くの国・地域で入国制限が緩和され、旅行需要回復の兆しが見え始めた。ヨーロッパでは、ワクチン接種を証明するEU デジタル COVID 証明書によって、EU内での自由な移動が可能となった。また、タイやハワイなど複数の国・地域でも、ワクチン接種をしたことを証明できる書類があれば現地での隔離が不要となるなど、短期滞在の外国人観光客の受入に向けて緩和策がとられた。

海外への渡航が容易となった一方で、日本では日本人を含むすべての入国者に対して、海外出国前72時間以内に、日本政府指定のPCR検査を受検し日本政府指定の陰性証明を取得しなければならないなどの制約があった。また、この検査で陽性となった場合、渡航先から出国することができず現地での医療費・滞在費が必要となることなど、依然として日本からの海外旅行実施が懸念される状況となっている。

国連世界観光機関(UNWTO)は、旅行需要の回復には各国間の連携強化とワクチン接種率の向上が必要であるとしている。特に、国際連携による観光目的の渡航制限緩和は、インバ

表 I-3-1 日本人出国者数の推移

(単位：千人)

	前年比(%)	観光・レクリエーション		帰省・知人訪問等		出張・業務	
		前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)	前年比(%)		
2017年	4.5	11,581	3.6	1,949	38.4	4,359	△3.9
2018年	6.0	13,699	18.3	1,014	△48.0	4,241	△2.7
2019年	5.9	14,257	4.1	1,494	47.3	4,330	2.1
2020年	△84.2	-	-	-	-	-	-
2021年	△83.9	-	-	-	-	-	-

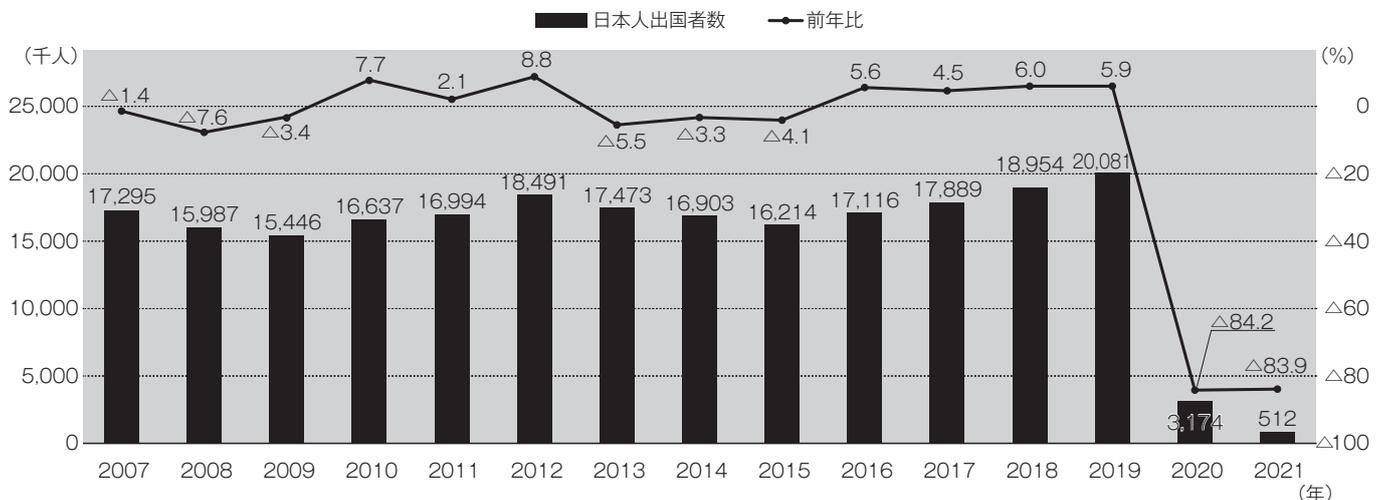
(注1)各年の値は年間確報による

資料：法務省「出入国管理統計」および観光庁「旅行・観光消費動向調査」をもとに(公財)日本交通公社作成

(注2)日本人出国者数は法務省統計の数値を用いた。目的別内訳は観光庁統計の数値を用いて推計した

(注3)「旅行・観光消費動向調査」のうち「海外旅行」は、新型コロナウイルス感染症の影響により、2020年は海外旅行を実施した票を得られなかったため、2021年は回収数が少なかったため、年間値の該当数字は公表されていない

図 I-3-1 日本人出国者数の推移



資料：法務省「出入国管理統計」をもとに(公財)日本交通公社作成

ウンド・アウトバウンドともに観光市場の回復の手立てとなるだろう。誰もが心置きなく海外旅行ができる日が早く来ることを期待したい。

(3) 海外旅行者の内訳

●性・年代別(表I-3-2)

2021年の出国者数及び旅行平均回数は、すべての性・年代

において前年を下回った。また、コロナ禍前の前々年(2019年)と比較すると、出国者数は男女ともに97%減となった。

性・年代別にみると、出国者数は、女性(20.4万人)より男性(30.8万人)が多く、特に男性30~50代(6~7万人)といった出張・業務目的の渡航と考えられる年齢層が多い。旅行平均回数も同様の傾向で、男性30代(0.0093回/人)が最も多く、次いで男性40代(0.0080回/人)となった。この傾向はコロナ禍前

表 I-3-2 性・年代別の日本人出国者数(2021年)

男性	年代								全体
	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
延べ出国者数(千人)	21	19	41	63	71	61	23	8	308
前年比(%)	△64.2	△72.9	△86.0	△77.3	△79.5	△81.6	△88.0	△91.9	△81.6
前々年比(%)	△94.4	△96.5	△97.0	△96.5	△97.0	△97.2	△98.2	△98.7	△97.1
旅行平均回数(回/人)	0.0044	0.0034	0.0068	0.0093	0.0080	0.0073	0.0032	0.0007	0.0052
前年比(%)	△62.5	△72.5	△84.9	△76.2	△78.8	△81.8	△87.6	△92.0	△81.2
前々年比(%)	△94.1	△96.4	△96.7	△96.2	△96.9	△97.3	△98.1	△98.8	△97.0

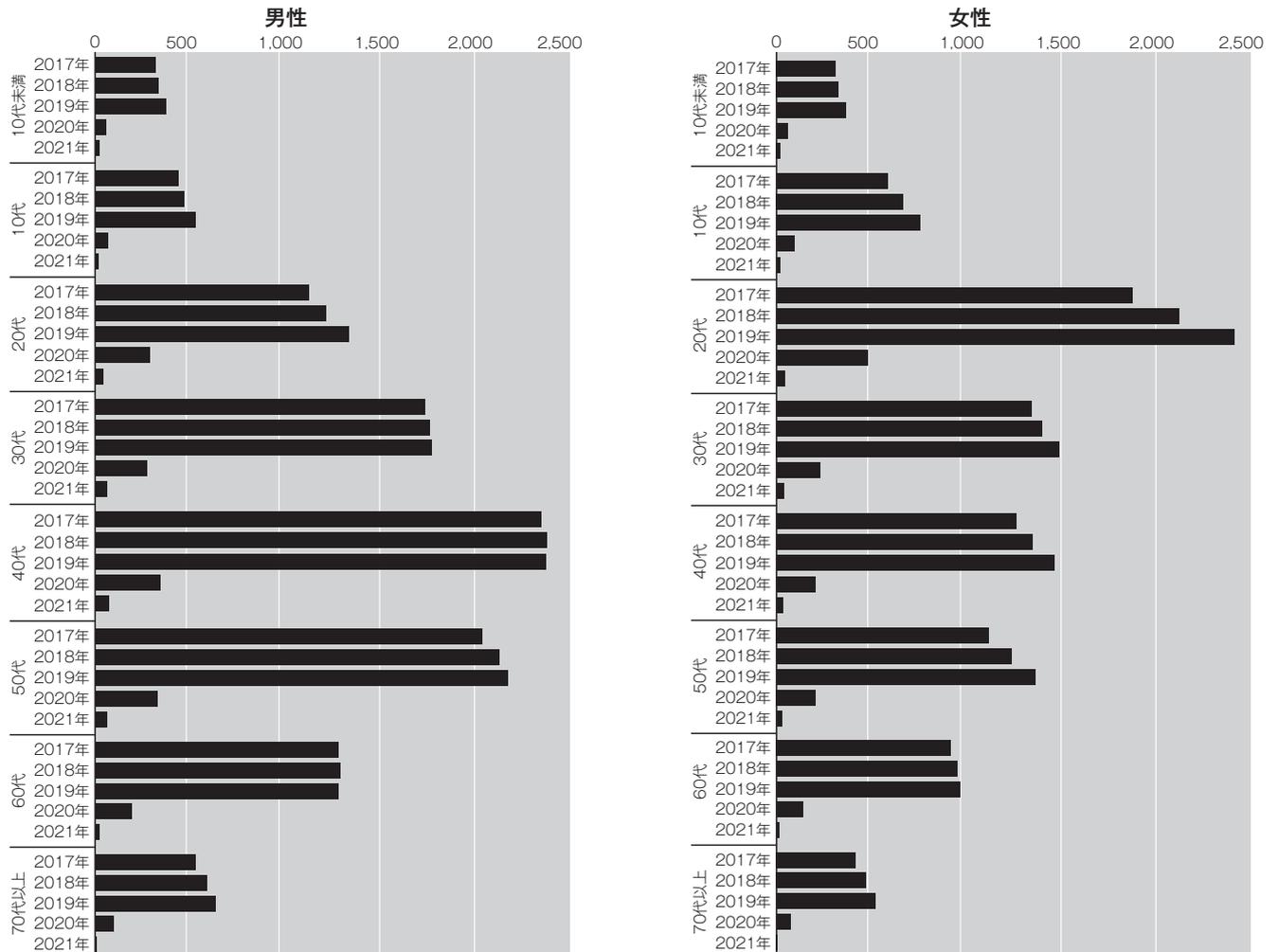
  

女性	年代								全体
	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
延べ出国者数(千人)	21	20	43	40	34	28	13	5	204
前年比(%)	△63.6	△78.6	△91.1	△82.9	△83.4	△86.8	△90.8	△92.8	△86.4
前々年比(%)	△94.4	△97.3	△98.2	△97.4	△97.7	△98.0	△98.7	△99.0	△97.8
旅行平均回数(回/人)	0.0046	0.0039	0.0075	0.0061	0.0040	0.0033	0.0017	0.0003	0.0032
前年比(%)	△61.9	△78.1	△90.6	△82.0	△82.7	△86.8	△90.4	△92.9	△86.1
前々年比(%)	△94.0	△97.3	△98.1	△97.2	△97.5	△98.0	△98.6	△99.1	△97.8

資料：法務省「出入国管理統計」および総務省「人口推計」をもとに(公財)日本交通公社作成

図 I-3-2 性・年代別の日本人出国者数の推移(2017~2021年)

(単位：千人)



資料：法務省「出入国管理統計」をもとに(公財)日本交通公社作成

と変化していない。また、女性では、20～30代の出国者数が4万人を超えている。旅行平均回数は、20代(0.0075回/人)が女性の中で最も多く、次いで30代(0.0061回/人)となった。

#### ●出発月別(表I-3-3)

出国者数を出発月別にみると、2月が2.5万人で最も少なく、8月が6.6万人で最も多かった。コロナ禍前の前々年(2019年)と比較すると、いずれの月も95%減以上のマイナスが続いた。

2021年の出国者数の推移をみると、1月には4.9万人と、2020年12月(3.3万人)から増加した。2～6月は4万人以下にとどまったが、7月には再び4万人を超えた。また、日本人の4割が必要

回数の接種を完了し、各国の水際対策の緩和が始まった8月には6.6万人となった。その後は、12月にかけて5万人前後で推移している。

#### ●居住地別(表I-3-3)

居住地別でみると、出国者数は、沖縄が0.3万人で最も少なく、関東が21.8万人と最も多かった。前年比に着目すると、すべての地域で大幅なマイナスとなっている。旅行平均回数は、関東(0.0051回/人)が最も多く、北海道(0.0009回/人)が最も少ない。

(仲七重)

表 I-3-3 出発月・居住地別の日本人出国者数(2021年)

出発月		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	全体
出国者全体	延べ出国者数(千人)	49	25	29	36	30	31	43	66	52	51	52	49	512
	前年比(%)	△96.5	△98.1	△89.4	817.1	443.8	187.6	112.8	77.9	65.7	63.7	68.6	48.2	△83.9
	前々年比(%)	△96.6	△98.4	△98.5	△97.8	△97.9	△98.0	△97.4	△96.9	△97.0	△96.9	△96.8	△97.1	△97.4
	旅行平均回数(回/人)	0.0004	0.0002	0.0002	0.0003	0.0002	0.0002	0.0004	0.0005	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004	0.0042
観光・レクリエーション	延べ出国者数(千人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	前年比(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行平均回数(回/人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
帰省・知人訪問等	延べ出国者数(千人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	前年比(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行平均回数(回/人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出張・業務	延べ出国者数(千人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	前年比(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行平均回数(回/人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

居住地		北海道	東北	関東	北陸信越	中部	近畿	中国	四国	九州	沖縄	全体
出国者全体	延べ出国者数(千人)	5	8	218	10	50	60	12	4	17	3	512
	前年比(%)	△92.5	△88.6	△85.1	△86.9	△85.1	△89.4	△86.9	△89.8	△90.9	△86.1	△83.9
	前々年比(%)	△98.7	△98.2	△97.6	△98.0	△97.8	△98.4	△98.2	△98.5	△98.7	△98.0	△97.4
	旅行平均回数(回/人)	0.0009	0.0010	0.0051	0.0016	0.0033	0.0030	0.0017	0.0011	0.0013	0.0022	0.0042
観光・レクリエーション	延べ出国者数(千人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	前年比(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行平均回数(回/人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
帰省・知人訪問等	延べ出国者数(千人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	前年比(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行平均回数(回/人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
出張・業務	延べ出国者数(千人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	前年比(%)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	旅行平均回数(回/人)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注)表中のデータについては表 I-3-1注と同じ。

資料：法務省「出入国管理統計」および観光庁「旅行・観光消費動向調査」および総務省「人口推計」をもとに(公財)日本交通公社作成

## I-4 日本人の旅行に対する意識

## 1 行ってみたい旅行

行ってみたい旅行先(国内)は北海道、沖縄県、京都府  
 行ってみたい旅行先(海外)は  
 ハワイ、アメリカ合衆国本土、イタリア  
 行ってみたい旅行タイプは温泉、自然、グルメ

ここでは、日本人の行ってみたい旅行について詳しくみていく。なお、ここで分析に用いたデータは、全て「JTBF 旅行意識調査」に基づいている。

## (1) 行ってみたい旅行先(国内旅行・海外旅行)

「今後1～2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行先(国、都市、観光スポット)」について、具体的な地名を国内・海外それぞれ行きたい順に3つまで自由に回答してもらった(表I-4-1)。

表 I-4-1 行ってみたい旅行先

## 国内旅行

順位	2022年			2019年		
	地域名	合計ポイント	構成比(%)	地域名	合計ポイント	構成比(%)
1位	北海道	1,697	56.5	北海道	1,793	57.8
2位	沖縄県	1,365	45.0	沖縄県	1,335	43.4
3位	京都府	527	19.8	京都府	453	16.2
4位	大阪府	344	14.2	東京都	332	11.9
5位	東京都	289	11.8	大阪府	312	11.7
6位	九州地方	229	9.0	長崎県	259	9.6
7位	石川県	225	9.4	九州地方	240	9.8
8位	長崎県	195	7.6	石川県	240	8.3
9位	千葉県	193	6.8	鹿児島県	215	7.5
10位	鹿児島県	182	6.8	千葉県	184	6.1
11位	福岡県	161	6.7	静岡県	173	5.4
12位	四国地方	140	6.1	東北地方	170	6.2
13位	東北地方	136	5.4	福岡県	147	4.6
14位	神奈川県	134	5.3	四国地方	141	5.7
15位	長野県	130	5.3	三重県	140	5.1
15位	静岡県	130	5.4	広島県	133	4.9
17位	大分県	111	4.1	神奈川県	118	4.1
18位	青森県	110	4.2	長野県	111	3.8
19位	三重県	103	3.9	島根県	111	3.9
20位	広島県	91	3.8	大分県	86	3.0
21位	和歌山県	85	3.4	富山県	86	2.5
22位	群馬県	82	2.8	和歌山県	85	2.9
23位	島根県	78	2.8	青森県	84	3.0
24位	兵庫県	74	3.6	奈良県	81	3.0
25位	富山県	69	2.9	福島県	75	3.8
26位	高知県	62	2.8	兵庫県	71	2.7
27位	宮城県	58	2.7	宮城県	66	2.7
28位	奈良県	53	2.3	山梨県	64	1.3
29位	栃木県	52	2.0	群馬県	61	2.0
30位	山形県	48	1.8	岐阜県	59	1.8

(注)構成比は、順位は問わずに行ってみたい旅行先として回答された割合

ただし、最も行きたい地域を3ポイント、2番目に行きたい地域を2ポイント、3番目に行きたい地域を1ポイントとして、その合計値をランキングにしている。

その結果、国内では北海道が最も高く、初回調査時(1988年)より連続して首位を維持している。次いで沖縄県、京都府、大阪府、東京都の順となり、沖縄県以降については、都市部が続いた。

2019年の結果と比較すると、上位10位までの都道府県の顔ぶれに大きな変更はなかったが、大阪府、九州地方、石川県、千葉県が順位を上げ、東京都、長崎県、鹿児島県が順位を下げた。また、上位30位の中で最も順位を上げたのは、群馬県であり、具体的な地名として草津温泉や伊香保温泉、尾瀬が挙げられた。

海外では、ハワイが最も高く、続いてアメリカ合衆国本土、イタリアとなり、順位の変動はあるものの7位までは昨年度と同じ地域が並んだ。

## 海外旅行

順位	2022年			2019年		
	地域名	合計ポイント	構成比(%)	地域名	合計ポイント	構成比(%)
1位	ハワイ	1,228	46.2	ハワイ	1,247	43.6
2位	アメリカ合衆国本土	529	23.9	イタリア	536	22.2
3位	イタリア	404	19.1	アメリカ合衆国本土	458	19.1
4位	オーストラリア	343	17.3	フランス	338	16.0
5位	フランス	332	16.7	オーストラリア	332	15.8
6位	韓国	329	15.2	台湾	313	13.0
7位	台湾	278	12.3	韓国	244	10.3
8位	グアム	265	12.0	スペイン	243	10.2
9位	カナダ	217	10.1	グアム	240	10.4
10位	スイス	198	8.4	カナダ	206	8.4
11位	英国	183	9.4	シンガポール	204	8.9
12位	スペイン	181	8.3	スイス	175	7.4
13位	タイ	142	6.6	英国	166	7.6
14位	シンガポール	130	6.6	ドイツ	132	5.6
15位	ドイツ	117	6.0	タイ	120	5.9
16位	ベトナム	93	4.5	パリ	110	4.9
17位	エジプト	76	3.3	ベトナム	106	4.5
18位	フィンランド	71	3.3	ヨーロッパ	104	4.0
19位	ニュージーランド	70	3.3	ニュージーランド	81	3.5
20位	ヨーロッパ	68	3.0	中国	67	3.0
21位	パリ	57	3.2	フィンランド	61	2.5
22位	中国	49	2.4	香港	56	2.6
23位	バルー	45	2.0	トルコ	53	2.4
24位	トルコ	39	1.9	ギリシャ	49	2.2
25位	モルディブ	37	1.7	マレーシア	45	2.2
26位	オランダ	36	1.9	オーストラリア	45	1.7
27位	ノルウェー	28	1.4	エジプト	41	1.5
28位	オーストラリア	27	1.4	インド	40	1.8
29位	スウェーデン	24	1.1	ロシア	38	1.8
30位	アラブ首長国連邦/クウェート/オーストラリア/ギリシャ	21	1.1	オランダ	36	1.7

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

(2)行ってみたい旅行タイプ

「今後1～2年の間に行ってみたい国内旅行及び海外旅行の旅行タイプ」として当てはまるものを選択肢一覧表(表I-4-2)から全て選んでもらった結果、行ってみたい旅行タイプ(複数

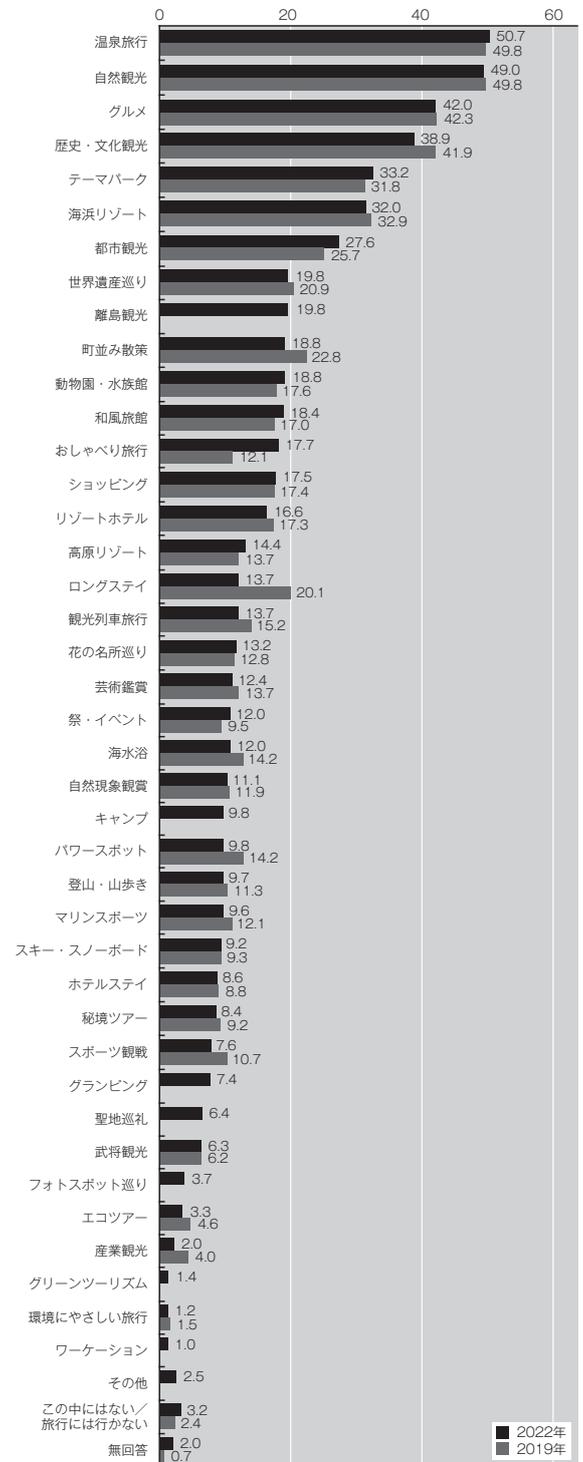
表 I-4-2 行ってみたい旅行タイプ 選択肢一覧

旅行タイプ名	内 容
1 自然観光	自然や景勝地を見てまわる観光旅行
2 歴史・文化観光	歴史や文化的な名所を見てまわる観光旅行
3 海浜リゾート	海辺でゆったり過ごす旅行
4 高原リゾート	高原でゆったり過ごす旅行
5 都市観光	街や都市で楽しむ旅行
6 温泉旅行	温泉を楽しむ旅行
7 祭・イベント	祭やイベントを楽しむ旅行
8 テーマパーク	テーマパークや遊園地で楽しむ旅行
9 動物園・水族館	動物園や水族館で楽しむ旅行
10 グルメ	おいしいものを食べる旅行
11 スキー・スノーボード	スキーを楽しむ旅行
12 マリンスポーツ	マリンスポーツを楽しむ旅行
13 登山・山歩き	登山や山歩きを楽しむ旅行
14 キャンプ	テント等を用いて屋外で寝泊まりする旅行(野営等を含む)
15 グランピング	あらかじめキャンプ用品や食材・食事が用意されている豪華で快適な施設で、キャンプの雰囲気を味わう旅行
16 海水浴	海水浴を楽しむ旅行
17 ショッピング	ショッピングを楽しむ旅行
18 芸術鑑賞	演劇、音楽、展覧会等を楽しむ旅行
19 スポーツ観戦	スポーツ観戦を楽しむ旅行
20 花の名所巡り	桜やハブなどの花の名所を訪ねる旅行
21 自然現象観賞	珍しい自然現象を見に行く旅行
22 秘境ツアー	秘境を訪ねる旅行
23 町並み散策	美しい町並みを楽しむ旅行
24 リゾートホテル	リゾートホテルに泊まる旅行
25 和風旅館	落ち着いた和風旅館に泊まる旅行
26 おしゃべり旅行	仲間や家族と楽しく過ごす旅行(見るもの、遊ぶものにはこだわらない)
27 ロングステイ	ロングステイを楽しむ旅行
28 世界遺産巡り	世界遺産を巡る旅行
29 パワースポット	神秘的な力・エネルギーの宿る場所を訪れる旅行
30 ホテルステイ	ホテルの旅館内での滞在そのものを主目的とした旅行
31 環境にやさしい旅行	旅行中に排出したCO <sub>2</sub> を減らすための料金負担など、環境に配慮した旅行
32 エコツアー	自然を楽しみながら、自然や文化、環境などに対する理解を深める旅行
33 フォトスポット巡り	SNSへの投稿を主な目的として写真スポットを巡る旅行
34 武将観光	戦国武将にまつわる名所・旧跡を訪れる旅行
35 聖地巡礼	アニメ、マンガなどに関連する場所、映画などのロケ地、アイドルゆかりの場所への訪問を楽しむ旅行
36 観光列車旅行	内外装を凝らし、味覚を楽しみながら旅行が出来るなど、乗ること自体を目的とした列車旅行
37 グリーンツーリズム	農山漁村に滞在し農林漁業やふるさと体験を楽しむ旅行
38 離島観光	本土から離れた島を訪れ、島巡りや島での滞在を楽しむ旅行
39 産業観光	工場見学やものづくり現場の見学・体験を楽しむ旅行
40 ワークেশョン	テレワークの活用などにより、リゾート地や地方等の普段の職場と異なる場所で仕事しながら休暇取得等も行う旅行
41 その他	
42 この中にはない/旅行には行かない	

回答)は、「温泉旅行」(50.7%)、「自然観光」(49.0%)、「グルメ」(42.0%)、「歴史・文化観光」(38.9%)の順となった(図I-4-1)。

また、2019年から順位を上げ、かつ、選択率が増加したのは、「和風旅館」「おしゃべり旅行」「高原リゾート」などであった。

図 I-4-1 行ってみたい旅行タイプ(複数回答) (単位: %)



(注) 離島観光、キャンプ、グランピング、聖地巡礼、フォトスポット巡り、グリーンツーリズム、ワーケーション、その他は、2019年は設定なし  
資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

表I-4-3では、性・年代別にランキング形式で示している。男性20～40代では、「グルメ」「テーマパーク」が、女性20～40代では「テーマパーク」「温泉旅行」が、それぞれ上位3位以内に挙がっている。50代以上は、男女ともに「温泉旅行」「自然観光」「歴史・文化観光」が上位3位を占めた。

また、2019年から順位を上げた「和風旅館」は、男性50～60代と女性70代で選択率が増加し、「おしゃべり旅行」は、特に

女性の20代と40代で大きく順位を上げた。なお、「高原リゾート」は、性年代別では10位以内には入らなかったが、女性30代で比較的选择率が高かった。

2019年には調査項目になかった「離島観光」については、全ての年代の男性で上位10位内に挙げられ、女性では60～70代と比較的高い年代で上位となった。

(単位：%)

表 I-4-3 性・年代別 行ってみたい旅行タイプ(複数回答)

## 男性20代

		2022年	2019年
1位	グルメ	39.5	37.3 (3位)
2位	テーマパーク	36.0	35.3 (5位)
3位	自然観光	34.9	51.0 (1位)
	海浜リゾート	34.9	37.3 (3位)
5位	温泉旅行	33.7	39.2 (2位)
6位	都市観光	26.7	30.4 (6位)
7位	歴史・文化観光	25.6	30.4 (6位)
8位	スキー・スノーボード	18.6	15.7 (12位)
9位	リゾートホテル	15.1	15.7 (12位)
10位	マリンスポーツ	14.0	15.7 (12位)
	海水浴	14.0	14.7 (15位)
	スポーツ観戦	14.0	14.7 (15位)
	離島観光	14.0	調査なし

## 男性30代

		2022年	2019年
1位	グルメ	44.9	48.0 (2位)
2位	温泉旅行	39.8	49.6 (1位)
3位	テーマパーク	38.8	37.0 (4位)
4位	自然観光	37.8	37.0 (4位)
5位	海浜リゾート	35.7	41.7 (3位)
6位	歴史・文化観光	22.4	30.7 (6位)
7位	都市観光	17.3	25.2 (7位)
8位	離島観光	16.3	調査なし
	キャンプ	16.3	調査なし
10位	スキー・スノーボード	15.3	16.5 (11位)

## 男性40代

		2022年	2019年
1位	自然観光	46.6	48.0 (1位)
2位	グルメ	42.5	45.4 (2位)
3位	テーマパーク	39.7	36.2 (6位)
4位	温泉旅行	38.4	41.4 (3位)
5位	海浜リゾート	37.7	38.8 (5位)
6位	歴史・文化観光	34.9	39.5 (4位)
7位	都市観光	33.6	23.0 (7位)
8位	離島観光	22.6	調査なし
9位	海水浴	21.2	17.8 (11位)
10位	世界遺産巡り	18.5	18.4 (9位)

## 女性20代

		2022年	2019年
1位	テーマパーク	62.5	59.4 (2位)
2位	グルメ	50.0	60.4 (1位)
3位	温泉旅行	48.9	51.5 (3位)
	海浜リゾート	48.9	48.5 (4位)
5位	自然観光	39.8	37.6 (5位)
6位	都市観光	38.6	32.7 (6位)
7位	ショッピング	35.2	29.7 (9位)
8位	おしゃべり旅行	33.0	13.9 (18位)
9位	歴史・文化観光	26.1	32.7 (6位)
	動物園・水族館	26.1	30.7 (8位)

## 女性30代

		2022年	2019年
1位	テーマパーク	68.0	60.8 (1位)
2位	温泉旅行	57.7	53.3 (4位)
3位	グルメ	55.7	54.2 (3位)
4位	海浜リゾート	45.4	48.3 (5位)
5位	自然観光	41.2	58.3 (2位)
6位	動物園・水族館	33.0	32.5 (7位)
7位	ショッピング	29.9	27.5 (12位)
8位	都市観光	28.9	31.7 (8位)
9位	歴史・文化観光	26.8	40.0 (6位)
	リゾートホテル	26.8	30.8 (9位)

## 女性40代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	54.0	48.3 (4位)
2位	自然観光	50.8	49.0 (2位)
3位	テーマパーク	49.2	48.3 (4位)
4位	海浜リゾート	46.8	42.7 (6位)
5位	グルメ	46.0	55.2 (1位)
6位	歴史・文化観光	41.9	49.0 (2位)
7位	都市観光	36.3	35.7 (7位)
8位	動物園・水族館	26.6	25.9 (9位)
9位	ショッピング	24.2	24.5 (10位)
10位	おしゃべり旅行	22.6	16.8 (18位)

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-3 性・年代別 行ってみたい旅行タイプ(複数回答) 一つづき

(単位: %)

## 男性50代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	56.3	46.9 (2位)
2位	自然観光	53.2	50.8 (1位)
3位	歴史・文化観光	44.4	43.1 (3位)
4位	グルメ	39.7	36.9 (4位)
5位	海浜リゾート	36.5	30.8 (5位)
6位	都市観光	31.0	24.6 (6位)
7位	テーマパーク	25.4	23.1 (7位)
8位	和風旅館	22.2	13.8 (13位)
9位	離島観光	19.0	調査なし
	世界遺産巡り	19.0	16.2 (10位)
	リゾートホテル	19.0	12.3 (15位)

## 男性60代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	56.8	54.0 (2位)
2位	自然観光	55.1	55.6 (1位)
3位	歴史・文化観光	41.5	47.6 (3位)
4位	グルメ	34.7	36.5 (4位)
5位	世界遺産巡り	29.7	16.7 (9位)
6位	海浜リゾート	27.1	29.4 (5位)
7位	都市観光	25.4	21.4 (6位)
8位	離島観光	19.5	調査なし
9位	テーマパーク	18.6	12.7 (17位)
	和風旅館	17.8	15.9 (10位)

## 男性70代

		2022年	2019年
1位	自然観光	58.5	57.7 (2位)
2位	温泉旅行	52.3	51.5 (3位)
3位	歴史・文化観光	40.8	60.8 (1位)
4位	グルメ	28.5	22.7 (6位)
5位	町並み散策	23.8	32.0 (4位)
	世界遺産巡り	23.8	17.5 (9位)
7位	都市観光	22.3	18.6 (8位)
8位	離島観光	20.0	調査なし
9位	観光列車旅行	18.5	19.6 (7位)
10位	海浜リゾート	16.9	13.4 (13位)

## 女性50代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	53.9	56.4 (1位)
2位	歴史・文化観光	53.0	50.5 (3位)
3位	自然観光	52.2	43.6 (4位)
	グルメ	52.2	52.5 (2位)
5位	テーマパーク	35.7	35.6 (5位)
6位	都市観光	32.2	28.7 (10位)
7位	海浜リゾート	30.4	33.7 (7位)
8位	町並み散策	27.0	31.7 (8位)
9位	ショッピング	25.2	27.7 (12位)
10位	おしゃべり旅行	23.5	19.8 (17位)

## 女性60代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	54.8	53.1 (2位)
2位	自然観光	54.0	55.5 (1位)
3位	歴史・文化観光	49.2	39.8 (3位)
4位	グルメ	38.7	32.0 (4位)
5位	世界遺産巡り	30.6	28.9 (5位)
6位	花の名所巡り	27.4	23.4 (8位)
7位	町並み散策	26.6	28.1 (6位)
8位	動物園・水族館	25.8	13.3 (20位)
9位	おしゃべり旅行	25.0	15.6 (16位)
10位	テーマパーク	24.2	18.0 (12位)
	離島観光	24.2	調査なし

## 女性70代

		2022年	2019年
1位	温泉旅行	58.9	56.1 (2位)
2位	自然観光	54.6	59.8 (1位)
3位	歴史・文化観光	45.4	42.4 (4位)
4位	グルメ	38.3	26.5 (8位)
5位	花の名所巡り	34.8	43.2 (3位)
6位	町並み散策	27.7	32.6 (5位)
	離島観光	27.7	調査なし
8位	和風旅館	26.2	23.5 (9位)
	観光列車旅行	26.2	30.3 (6位)
10位	おしゃべり旅行	24.1	19.7 (11位)

資料: (公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

## (3) 旅行タイプ別の行ってみたい旅行先

ここでは、行ってみたいと回答した旅行タイプについて、それぞれの行ってみたい旅行先を国内・海外問わずに自由に回答してもらい、それらの回答を国内は都道府県別(または地方別)、海外は国別(または島別)に整理して集計した(表I-4-4)。

温泉旅行では、由布院や別府など著名な温泉地を有する「大分県」が最も多く、次いで草津や伊香保を有する「群馬県」となっている。

自然観光では、2019年と同じ地域・順位が5位までを占め、「北海道」が1位、次いで「沖縄県」となっている。

グルメでは、「北海道」が他を大きく引き離して1位となっている。また、2019年には5位以下であった「大阪府」が4位に浮上した。

歴史・文化観光では、「京都府」が3割弱を占め、2位(「イタリア」(8.2%))以下を大きく引き離している。

テーマパークでは、東京ディズニーリゾートが位置する「千葉県」が1位、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンが位置する「大阪府」が2位となっている。3位以下は、2019年と同様、「東京都」「長崎県」「アメリカ合衆国本土」の順で続いている。

海浜リゾートでは、2019年同様、「ハワイ」「沖縄県」の人气が高く、両者で7割以上を占める。

都市観光では、「東京都」が最も多く、次いで「大阪府」「アメリカ合衆国本土」となっている。

世界遺産巡りについては、世界遺産の登録数が最も多い「イタリア」が1位、「エジプト」「スペイン」が続き、旅行先の上位は海外が占めている。

町並み散策は、2019年と変わらず、「京都府」が最も多く、次いで「イタリア」「石川県」となっている。

動物園・水族館では、2019年から上位2位が入り替わり、旭山動物園が位置する「北海道」が最も多く、次いで沖縄美ら海水族館が位置する「沖縄県」となっている。

和風旅館では、「京都府」「石川県」といった古都、「神奈川県」「大分県」といった伝統的な温泉地が並んでいる。

おしゃべり旅行では、「沖縄県」や「北海道」、「静岡県」などに回答が分散した。

ショッピングでは、「ハワイ」が最も多く、次いで「東京都」「韓国」の順となっている。

リゾートホテルは、海浜リゾートでも上位を占めた「沖縄県」「ハワイ」の人气が高い。次いで、2019年には5位以内に入っていなかった「長野県」が3位となっている。

高原リゾートでは、「長野県」が圧倒的シェアを占め1位となっている。具体的な表記を見ると、軽井沢や上高地、八ヶ岳、白馬など複数の地名が挙げられている。

ロングステイでは、依然として「ハワイ」が1位、「沖縄県」が2位となっているが、2019年と比べると「沖縄県」が増加し、両者の差は小さくなっている。

観光列車旅行では「九州地方」が最も多く、具体的にはなつ星が多く挙げられている。

花の名所巡りでは、「北海道」が2割以上を占めている。4位の「栃木県」以外は、古くからの日本庭園を有する「奈良県」「京都府」、チューリップが有名な「オランダ」と、2019年と異なる地域が挙げられている。

芸術鑑賞では、「東京都」が最も多く、次いで「フランス」「イタリア」「アメリカ合衆国本土」「オーストリア」と海外の旅行先が上位を占めている。

祭・イベントでは、ねぶた祭で知られる「青森県」が3割以上と最も多く、2019年に比べシェアを大きく伸ばしている。2位以降は祇園祭など伝統的な祭の多い「京都府」、竿燈まつりや花笠まつりなどがある「東北地方」などで回答が分散している。

海水浴では、「沖縄県」「ハワイ」の人气が高く、3位以下は伊豆を有する「静岡県」、「グアム」、白浜を有する「和歌山県」に回答が分散している。

自然現象観賞は、流水で有名な「北海道」が1位となり、オーロラ鑑賞で有名な「カナダ」が続いている。

パワースポットでは、伊勢神宮の位置する「三重県」が最も多く、屋久島のある「鹿児島県」が続き、2019年と異なり上位5位は全て国内の旅行先が占めている。

2019年には調査項目になかった旅行タイプについて見ると、離島観光では、「沖縄県」が突出して多く5割を超え、小笠原諸島を有する「東京都」、屋久島や奄美大島を有する「鹿児島県」が続いた。

キャンプでは、高原リゾートでも上位に入った「長野県」「北海道」「山梨県」の順となった。

グランピングでは、館山がある「千葉県」が1位、富士河口湖がある「山梨県」、淡路島がある「兵庫県」が同率で2位となり、関東や関西の近郊が選ばれた。

表 I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2022年・2019年)

## 温泉旅行

2022年(回答数:716)			2019年(回答数:742)		
1位	大分県	17.5%	1位	大分県	16.4%
2位	群馬県	16.5%	2位	群馬県	12.5%
3位	神奈川県	8.4%	3位	静岡県	7.3%
4位	静岡県	7.5%	4位	神奈川県	6.7%
5位	九州地方	5.3%	5位	九州地方	6.1%

## 自然観光

2022年(回答数:693)			2019年(回答数:742)		
1位	北海道	27.0%	1位	北海道	22.4%
2位	沖縄県	11.1%	2位	沖縄県	8.0%
3位	ハワイ	6.1%	3位	ハワイ	7.0%
4位	鹿児島県	5.9%	4位	鹿児島県	5.4%
5位	オーストラリア	3.5%	5位	オーストラリア	4.7%

## グルメ

2022年(回答数:593)			2019年(回答数:631)		
1位	北海道	42.0%	1位	北海道	40.7%
2位	韓国	5.6%	2位	韓国	6.7%
3位	福岡県	5.2%	3位	台湾	6.0%
4位	大阪府、台湾	4.0%	4位	福岡県	5.1%
			5位	イタリア	4.0%

## 海浜リゾート

2022年(回答数:452)			2019年(回答数:490)		
1位	ハワイ	40.5%	1位	ハワイ	38.0%
2位	沖縄県	35.2%	2位	沖縄県	33.1%
3位	グアム	4.9%	3位	グアム	5.1%
4位	静岡県	2.9%	4位	パリ	4.5%
5位	和歌山県	2.2%	5位	静岡県	2.9%

## 都市観光

2022年(回答数:390)			2019年(回答数:383)		
1位	東京都	29.2%	1位	東京都	25.6%
2位	大阪府	8.2%	2位	アメリカ合衆国本土	13.6%
3位	アメリカ合衆国本土	7.2%	3位	大阪府	7.6%
4位	イタリア	5.9%	4位	イタリア	6.0%
5位	京都府、フランス	5.1%	5位	京都府、シンガポール、フランス	3.7%

## 世界遺産巡り

2022年(回答数:280)			2019年(回答数:311)		
1位	イタリア	11.1%	1位	イタリア	9.3%
2位	エジプト	8.6%	2位	フランス	8.0%
3位	スペイン	7.1%	3位	エジプト	7.4%
4位	フランス、ペルー	6.1%	4位	ペルー	5.1%
			5位	スペイン	4.8%

資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

表I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2022年・2019年) 一つづき

## 歴史・文化観光

2022年(回答数:549)			2019年(回答数:625)		
1位	京都府	29.9%	1位	京都府	24.0%
2位	イタリア	8.2%	2位	イタリア	9.0%
3位	奈良県	5.3%	3位	奈良県	5.6%
4位	スペイン	4.9%	4位	沖縄県	4.2%
5位	沖縄県	4.0%	5位	フランス	3.8%

## テーマパーク

2022年(回答数:469)			2019年(回答数:474)		
1位	千葉県	41.6%	1位	大阪府	38.2%
2位	大阪府	36.0%	2位	千葉県	36.5%
3位	東京都	6.8%	3位	東京都	8.4%
4位	長崎県	5.3%	4位	長崎県	5.9%
5位	アメリカ合衆国本土	4.5%	5位	アメリカ合衆国本土	5.1%

## 和風旅館

2022年(回答数:260)			2019年(回答数:253)		
1位	京都府	26.2%	1位	京都府	20.6%
2位	石川県	11.5%	2位	石川県	11.9%
3位	神奈川県	5.4%	3位	神奈川県	5.9%
4位	大分県	4.6%	4位	静岡県	4.7%
5位	静岡県	3.8%	5位	兵庫県	4.3%

## おしゃべり旅行

2022年(回答数:250)			2019年(回答数:180)		
1位	沖縄県	7.6%	1位	北海道	6.7%
2位	北海道	6.4%	2位	神奈川県	6.1%
3位	静岡県	5.6%	3位	東京都	5.0%
4位	神奈川県、大阪府	4.4%	4位	静岡県	4.4%
			5位	千葉県	3.3%

## ショッピング

2022年(回答数:247)			2019年(回答数:260)		
1位	ハワイ	28.7%	1位	ハワイ	30.0%
2位	東京都	19.0%	2位	韓国	15.8%
3位	韓国	15.8%	3位	東京都	11.9%
4位	フランス、イタリア、アメリカ合衆国本土	3.2%	4位	フランス	4.6%
			5位	イタリア	4.2%

## リゾートホテル

2022年(回答数:235)			2019年(回答数:258)		
1位	沖縄県	28.5%	1位	沖縄県	26.0%
2位	ハワイ	14.5%	2位	ハワイ	20.9%
3位	長野県	6.8%	3位	北海道	6.6%
4位	北海道	4.7%	4位	パリ	5.8%
5位	パリ	3.0%	5位	シンガポール	3.9%

## 高原リゾート

2022年(回答数:204)			2019年(回答数:204)		
1位	長野県	50.5%	1位	長野県	48.5%
2位	北海道	6.4%	2位	栃木県、北海道	9.8%
3位	栃木県、山梨県	5.9%			
5位	スイス	4.9%	4位	山梨県	6.9%
			5位	スイス	3.4%

## ロングステイ

2022年(回答数:193)			2019年(回答数:300)		
1位	ハワイ	17.6%	1位	ハワイ	27.3%
2位	沖縄県	15.5%	2位	沖縄県	8.0%
3位	オーストラリア、アメリカ合衆国本土	5.2%	3位	アメリカ合衆国本土	7.0%
			4位	北海道	6.3%
5位	北海道	4.7%	5位	オーストラリア	5.0%

## 町並み散策

2022年(回答数:266)			2019年(回答数:340)		
1位	京都府	21.8%	1位	京都府	17.1%
2位	イタリア	8.6%	2位	イタリア	7.9%
3位	石川県	7.9%	3位	石川県	7.6%
4位	フランス	6.8%	4位	岡山県	4.7%
5位	岐阜県	6.0%	5位	ヨーロッパ	4.4%

## 動物園・水族館

2022年(回答数:265)			2019年(回答数:262)		
1位	北海道	21.9%	1位	沖縄県	27.9%
2位	沖縄県	21.5%	2位	北海道	25.6%
3位	和歌山県	13.2%	3位	和歌山県	8.0%
4位	東京都	5.3%	4位	東京都	5.7%
5位	愛知県、大阪府	3.8%	5位	大阪府	5.0%

## 芸術鑑賞

2022年(回答数:175)			2019年(回答数:204)		
1位	東京都	21.7%	1位	東京都	20.6%
2位	フランス	14.9%	2位	フランス	15.2%
3位	イタリア、アメリカ合衆国本土	6.3%	3位	イタリア、アメリカ合衆国本土	8.3%
5位	オーストリア	5.7%	5位	オーストリア	7.8%

## 祭・イベント

2022年(回答数:170)			2019年(回答数:141)		
1位	青森県	32.9%	1位	青森県	18.4%
2位	京都府	7.6%	2位	秋田県、大阪府、京都府、東北地方	5.0%
3位	東北地方	5.3%			
4位	北海道	4.1%			
5位	岐阜県	3.5%			

## 海水浴

2022年(回答数:170)			2019年(回答数:211)		
1位	沖縄県	40.6%	1位	沖縄県	42.2%
2位	ハワイ	20.6%	2位	ハワイ	25.1%
3位	静岡県	5.9%	3位	グアム	6.6%
4位	グアム	5.3%	4位	静岡県	5.7%
5位	和歌山県	4.1%	5位	和歌山県	4.3%

## 自然現象観賞

2022年(回答数:157)			2019年(回答数:178)		
1位	北海道	13.4%	1位	カナダ	11.8%
2位	カナダ	12.1%	2位	北海道	10.1%
3位	沖縄県	7.6%	3位	フィンランド	7.9%
4位	フィンランド	6.4%	4位	ハワイ	4.5%
5位	オーストラリア	5.7%	5位	アラスカ、オーストラリア	3.4%

## パワースポット

2022年(回答数:139)			2019年(回答数:212)		
1位	三重県	15.1%	1位	ハワイ	11.8%
2位	鹿児島県	7.2%	2位	三重県	10.8%
3位	島根県、宮崎県	6.5%	3位	鹿児島県	6.6%
			4位	アメリカ合衆国本土	5.7%
5位	和歌山県	5.8%	5位	オーストラリア、島根県	5.2%

## 登山・山歩き

2022年(回答数:137)			2019年(回答数:168)		
1位	長野県	24.8%	1位	静岡県	29.2%
2位	山梨県、静岡県	13.9%	2位	山梨県	28.0%
			3位	長野県	19.6%
4位	スイス	9.5%	4位	鹿児島県	7.1%
5位	鹿児島県	8.0%	5位	岐阜県、スイス	6.0%

資料：(公財)日本交通公社「JTB旅行意識調査」

表 I-4-4 旅行タイプ別行ってみたい旅行先(2022年・2019年) 一つづき

## 観光列車旅行

2022年(回答数:193)			2019年(回答数:226)		
1位	九州地方	31.1%	1位	九州地方	37.2%
2位	東北地方	3.6%	2位	北海道	9.3%
3位	北海道、大分県、 スイス	3.1%	3位	東北地方	4.0%
			4位	静岡県	3.5%
			5位	熊本県、中国地方	2.7%

## 花の名所巡り

2022年(回答数:186)			2019年(回答数:191)		
1位	北海道	21.0%	1位	北海道	20.4%
2位	奈良県	6.5%	2位	青森県	9.4%
3位	京都府	5.4%	3位	長崎県	7.3%
4位	栃木県、オランダ	4.3%	4位	茨城県、栃木県、 福島県	3.1%

## ホテルステイ

2022年(回答数:121)			2019年(回答数:131)		
1位	東京都	14.0%	1位	ハワイ	14.5%
2位	ハワイ	12.4%	2位	北海道、東京都	6.9%
3位	沖縄県	10.7%			
4位	アメリカ合衆国本土	5.8%	4位	アメリカ合衆国本 土、沖縄県、長野県	4.6%
5位	モルディブ、大分県、千葉県	3.3%			

## 秘境ツアー

2022年(回答数:118)			2019年(回答数:137)		
1位	鹿児島県	8.5%	1位	カナダ	11.8%
2位	北海道	6.8%	2位	北海道	10.1%
3位	宮崎県	5.9%	3位	フィンランド	7.9%
4位	カナダ	4.2%	4位	ハワイ	4.5%
5位	ペルー、長崎県	3.4%	5位	アラスカ、オーストラリア	3.4%

## スポーツ観戦

2022年(回答数:108)			2019年(回答数:159)		
1位	アメリカ合衆国本土	20.4%	1位	東京都	22.6%
2位	東京都	13.0%	2位	アメリカ合衆国本土	21.4%
3位	大阪府、英国	6.5%	3位	スペイン	10.1%
			4位	イタリア	5.0%
5位	スペイン	5.6%	5位	英国、兵庫県	3.8%

## 武将観光

2022年(回答数:89)			2019年(回答数:92)		
1位	京都府	10.1%	1位	長野県	13.0%
2位	山梨県	7.9%	2位	山梨県	6.5%
3位	長野県、神奈川県	6.7%	3位	愛知県、兵庫県	5.4%
5位	愛知県、宮城県、滋賀県	5.6%	5位	石川県、岐阜県、京都府、宮城県	4.3%

## マリンスポーツ

2022年(回答数:135)			2019年(回答数:180)		
1位	沖縄県	61.5%	1位	沖縄県	42.2%
2位	ハワイ	17.8%	2位	ハワイ	28.3%
3位	グアム	8.1%	3位	グアム	7.8%
4位	東京都	3.7%	4位	オーストラリア、 東京都	3.9%
5位	モルディブ	3.0%			

## スキー・スノーボード

2022年(回答数:130)			2019年(回答数:139)		
1位	北海道	41.5%	1位	北海道	51.8%
2位	長野県	27.7%	2位	長野県	15.8%
3位	新潟県	8.5%	3位	新潟県	10.8%
4位	群馬県	3.8%	4位	群馬県	3.6%
5位	山形県	3.1%	5位	宮城県、山形県	2.9%

## エコツアー

2022年(回答数:47)			2019年(回答数:68)		
1位	北海道	14.9%	1位	北海道	14.7%
2位	沖縄県	10.6%	2位	オーストラリア、 沖縄県	5.9%
3位	鹿児島県	8.5%			
4位	岐阜県、カナダ	6.4%	4位	東京都、長野県	4.4%

## 産業観光

2022年(回答数:28)			2019年(回答数:60)		
1位	群馬県、大阪府、 九州地方	7.1%	1位	愛知県	6.7%
			2位	東京都、群馬県、新潟県	5.0%
4位	埼玉県、奈良県、山口県、北海道、 ベトナム、香川県、岡山県、 福岡県、神奈川県、国内	3.6%	5位	北海道、神奈川県、 京都府、三重県、福 岡県、イタリア	3.3%

## 環境にやさしい旅行

2022年(回答数:17)			2019年(回答数:22)		
1位	東北地方、四国地方、 沖縄県、東京都、 島根県、北海道、 ニュージーランド、 ハワイ、カナダ、 ヨーロッパ、スイス	5.9%	1位	北海道	18.2%
			2位	四国地方	9.1%
			3位	東京都、群馬県、熊本県、 沖縄県、石川県、 ヨーロッパ、北欧、 ハワイ、スイス	4.5%

## 離島観光

2022年(回答数:280)			2022年(回答数:139)		
1位	沖縄県	52.1%	1位	長野県	16.5%
2位	東京都	7.9%	2位	北海道	8.6%
3位	鹿児島県	7.1%	3位	山梨県	7.9%

## キャンプ

## グランピング

2022年(回答数:104)			2022年(回答数:90)		
1位	千葉県	12.5%	1位	韓国	17.8%
2位	山梨県、兵庫県	9.6%	2位	神奈川県、東京都	5.6%

## 聖地巡礼

## フォトスポット巡り

2022年(回答数:52)			2022年(回答数:20)		
1位	沖縄県、	9.6%	1位	和歌山県	10.0%
	アメリカ合衆国本土、韓国		2位	四国地方、岩手県、宮城県など	5.0%

## グリーンツーリズム

## ワーケーション

2022年(回答数:89)		
1位	沖縄県	28.6%
2位	神奈川県	14.3%
3位	和歌山県、長野県、 静岡県、北海道、大 分県、鹿児島県など	7.1%

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

## 2 旅行の動機

旅行の動機は、「日常生活からの解放」「おいしいもの」

「国内宿泊旅行、海外宿泊旅行をしてみたいと思う動機」として当てはまるものを、あらかじめ用意した選択肢から選んでもらった結果、旅行動機(複数回答)については、「日常生活から解放されるため」が66.0%と最も多く、続いて「旅先のおいしいものを求めて」65.3%、「思い出をつくるため」52.2%、「保養、休養のため」が43.5%となった(図I-4-2)。2019年と比較す

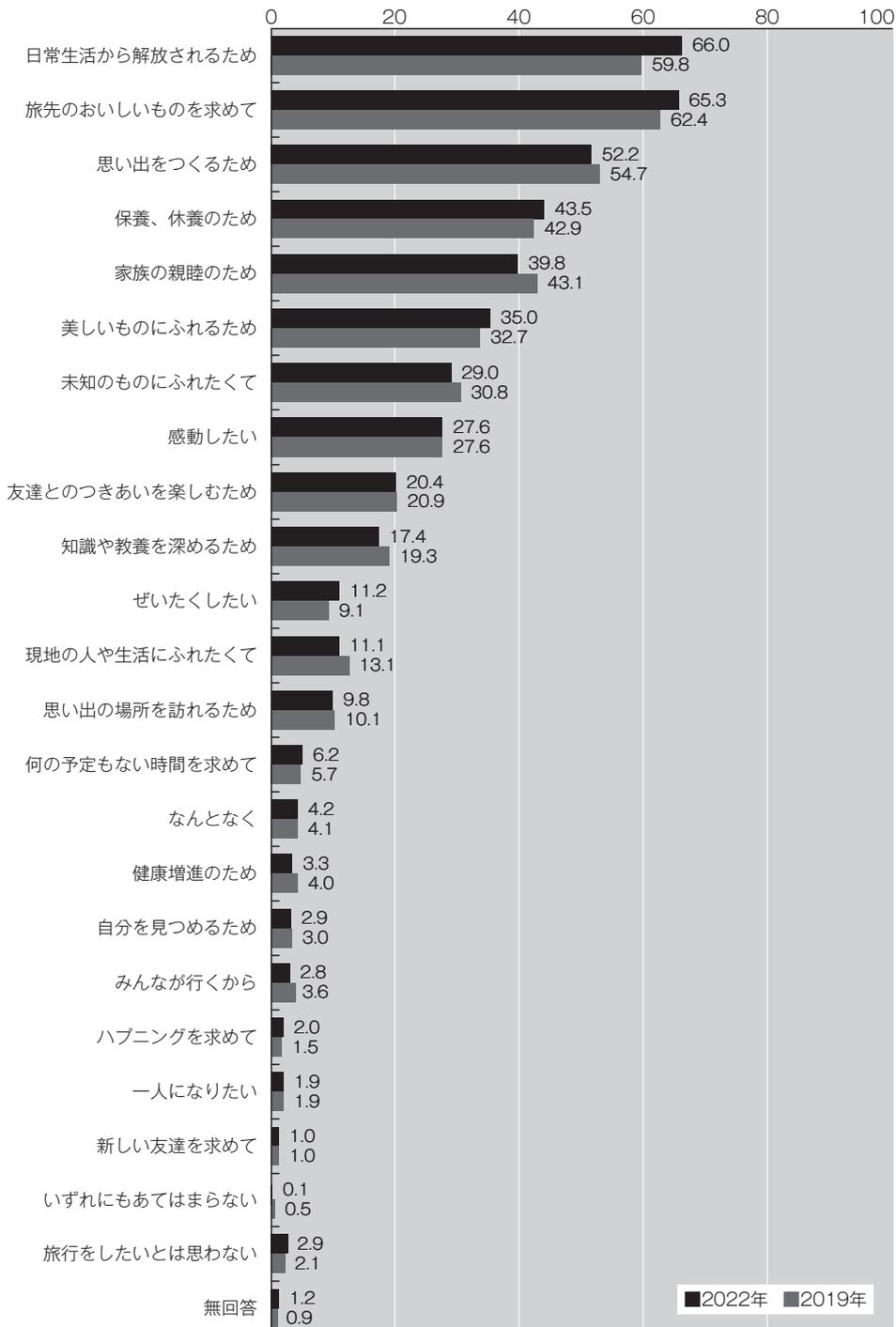
ると、「日常生活から解放されるため」「旅先のおいしいものを求めて」「保養、休養のため」は増加した一方で、「思い出をつくるため」「家族の親睦のため」は減少した。

先に述べた上位3つの動機について、性・年代別に詳しく見ると、「日常生活から解放されるため」「旅先のおいしいものを求めて」については、ほとんどの年代において上位3位に入っている(表I-4-5)。また、「思い出をつくるため」は、20~40代と比較的若い世代での主な動機となっている。

2019年と比較すると、男性40代、女性50代、男女60~70代において「日常生活から解放されるため」の選択率が大きく増加した。

図 I-4-2 旅行の動機(複数回答)

(単位：%)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

表I-4-5 性・年代別 旅行の動機(複数回答)

(単位: %)

## 男性20代

	2022年	2019年	
1位	思い出をつくるため	64.0	61.8 (1位)
2位	日常生活から解放されるため	61.6	53.9 (3位)
3位	旅先のおいしいものを求めて	52.3	54.9 (2位)
4位	友達とのつきあいを楽しむため	45.3	37.3 (5位)
5位	保養、休養のため	30.2	42.2 (4位)
6位	未知のものにふれたくて	24.4	37.3 (5位)
7位	美しいものにふれるため	22.1	27.5 (7位)
8位	感動したい	17.4	25.5 (8位)
9位	家族の親睦のため	15.1	21.6 (9位)
10位	知識や教養を深めるため	11.6	19.6 (10位)

## 男性30代

	2022年	2019年	
1位	思い出をつくるため	58.2	62.2 (2位)
	旅先のおいしいものを求めて	58.2	63.0 (1位)
3位	日常生活から解放されるため	57.1	60.6 (3位)
4位	家族の親睦のため	43.9	46.5 (4位)
5位	保養、休養のため	37.8	42.5 (5位)
6位	未知のものにふれたくて	29.6	32.3 (6位)
7位	美しいものにふれるため	20.4	26.8 (7位)
8位	感動したい	16.3	17.3 (9位)
	ぜいたくしたい	16.3	10.2 (12位)
10位	知識や教養を深めるため	12.2	19.7 (8位)
	思い出の場所を訪れるため	12.2	8.7 (13位)

## 男性40代

	2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	71.9	57.9 (1位)
2位	思い出をつくるため	60.3	55.9 (4位)
3位	旅先のおいしいものを求めて	58.9	57.9 (1位)
4位	家族の親睦のため	54.8	56.6 (3位)
5位	保養、休養のため	43.8	48.7 (5位)
6位	未知のものにふれたくて	30.1	30.3 (6位)
7位	美しいものにふれるため	20.5	25.7 (7位)
	感動したい	20.5	20.4 (9位)
9位	知識や教養を深めるため	17.1	21.1 (8位)
10位	ぜいたくしたい	12.3	9.2 (11位)

## 男性50代

	2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	66.7	59.2 (2位)
2位	日常生活から解放されるため	62.7	64.6 (1位)
3位	保養、休養のため	49.2	45.4 (4位)
4位	家族の親睦のため	46.8	50.8 (3位)
5位	思い出をつくるため	46.0	43.1 (5位)
6位	未知のものにふれたくて	34.1	23.8 (7位)
7位	美しいものにふれるため	31.0	25.4 (6位)
8位	感動したい	27.8	21.5 (8位)
9位	知識や教養を深めるため	23.8	15.4 (9位)
10位	現地の人や生活にふれたくて	11.9	9.2 (12位)
	何の予定もない時間を求めて	11.9	9.2 (12位)

## 男性60代

	2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	64.4	44.4 (2位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	62.7	60.3 (1位)
3位	思い出をつくるため	51.7	42.1 (4位)
4位	家族の親睦のため	44.9	38.9 (5位)
5位	保養、休養のため	44.1	43.7 (3位)
6位	美しいものにふれるため	36.4	31.0 (6位)
7位	未知のものにふれたくて	25.4	28.6 (7位)
8位	感動したい	24.6	27.8 (8位)
9位	知識や教養を深めるため	17.8	19.8 (9位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	16.9	10.3 (12位)

## 男性70代

	2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	56.2	52.6 (1位)
2位	日常生活から解放されるため	52.3	37.1 (4位)
3位	保養、休養のため	38.5	38.1 (3位)
4位	美しいものにふれるため	35.4	28.9 (7位)
5位	家族の親睦のため	34.6	45.4 (2位)
6位	思い出をつくるため	30.0	33.0 (6位)
	未知のものにふれたくて	30.0	34.0 (5位)
8位	感動したい	29.2	24.7 (8位)
9位	知識や教養を深めるため	21.5	15.5 (12位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	19.2	24.7 (8位)

## 女性20代

	2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	71.6	68.3 (2位)
2位	日常生活から解放されるため	68.2	68.3 (2位)
3位	思い出をつくるため	65.9	79.2 (1位)
4位	保養、休養のため	40.9	45.5 (4位)
	美しいものにふれるため	40.9	29.7 (6位)
6位	友達とのつきあいを楽しむため	35.2	29.7 (6位)
7位	家族の親睦のため	29.5	27.7 (8位)
8位	感動したい	28.4	25.7 (9位)
9位	ぜいたくしたい	25.0	23.8 (10位)
10位	未知のものにふれたくて	22.7	32.7 (5位)

## 女性30代

	2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	77.3	77.5 (2位)
2位	思い出をつくるため	76.3	83.3 (1位)
3位	日常生活から解放されるため	75.3	77.5 (2位)
4位	家族の親睦のため	56.7	65.0 (4位)
5位	保養、休養のため	48.5	49.2 (5位)
6位	美しいものにふれるため	35.1	36.7 (6位)
7位	未知のものにふれたくて	23.7	34.2 (7位)
	感動したい	22.7	34.2 (7位)
8位	ぜいたくしたい	22.7	15.8 (10位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	20.6	13.3 (12位)

## 女性40代

	2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	74.2	70.6 (1位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	67.7	67.1 (2位)
3位	思い出をつくるため	62.1	62.9 (3位)
4位	家族の親睦のため	56.5	49.7 (4位)
5位	保養、休養のため	46.0	41.3 (5位)
6位	美しいものにふれるため	37.1	32.2 (6位)
	未知のものにふれたくて	37.1	23.8 (7位)
8位	感動したい	33.9	23.8 (7位)
9位	知識や教養を深めるため	21.8	16.8 (9位)
10位	友達とのつきあいを楽しむため	16.9	13.3 (10位)

## 女性50代

	2022年	2019年	
1位	日常生活から解放されるため	80.9	73.3 (1位)
2位	旅先のおいしいものを求めて	76.5	72.3 (2位)
3位	保養、休養のため	54.8	52.5 (4位)
4位	思い出をつくるため	42.6	55.4 (3位)
5位	美しいものにふれるため	35.7	45.5 (6位)
6位	感動したい	31.3	33.7 (8位)
7位	家族の親睦のため	29.6	47.5 (5位)
8位	未知のものにふれたくて	25.2	40.6 (7位)
9位	知識や教養を深めるため	15.7	27.7 (9位)
	友達とのつきあいを楽しむため	15.7	15.8 (11位)

## 女性60代

	2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	71.0	68.8 (1位)
2位	日常生活から解放されるため	70.2	60.9 (2位)
3位	保養、休養のため	50.0	43.0 (3位)
4位	美しいものにふれるため	49.2	38.3 (6位)
5位	思い出をつくるため	46.8	36.7 (7位)
6位	感動したい	41.1	39.8 (4位)
7位	未知のものにふれたくて	32.3	30.5 (8位)
8位	家族の親睦のため	30.6	39.1 (5位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	26.6	29.7 (9位)
10位	知識や教養を深めるため	23.4	18.8 (10位)

## 女性70代

	2022年	2019年	
1位	旅先のおいしいものを求めて	67.4	54.5 (1位)
2位	日常生活から解放されるため	57.4	49.2 (3位)
3位	美しいものにふれるため	53.9	50.8 (2位)
4位	保養、休養のため	38.3	31.8 (7位)
5位	思い出をつくるため	36.2	40.2 (4位)
6位	感動したい	34.8	38.6 (5位)
7位	家族の親睦のため	30.5	30.3 (8位)
8位	未知のものにふれたくて	29.1	28.8 (9位)
9位	友達とのつきあいを楽しむため	27.0	37.9 (6位)
10位	知識や教養を深めるため	14.9	25.8 (10位)

資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

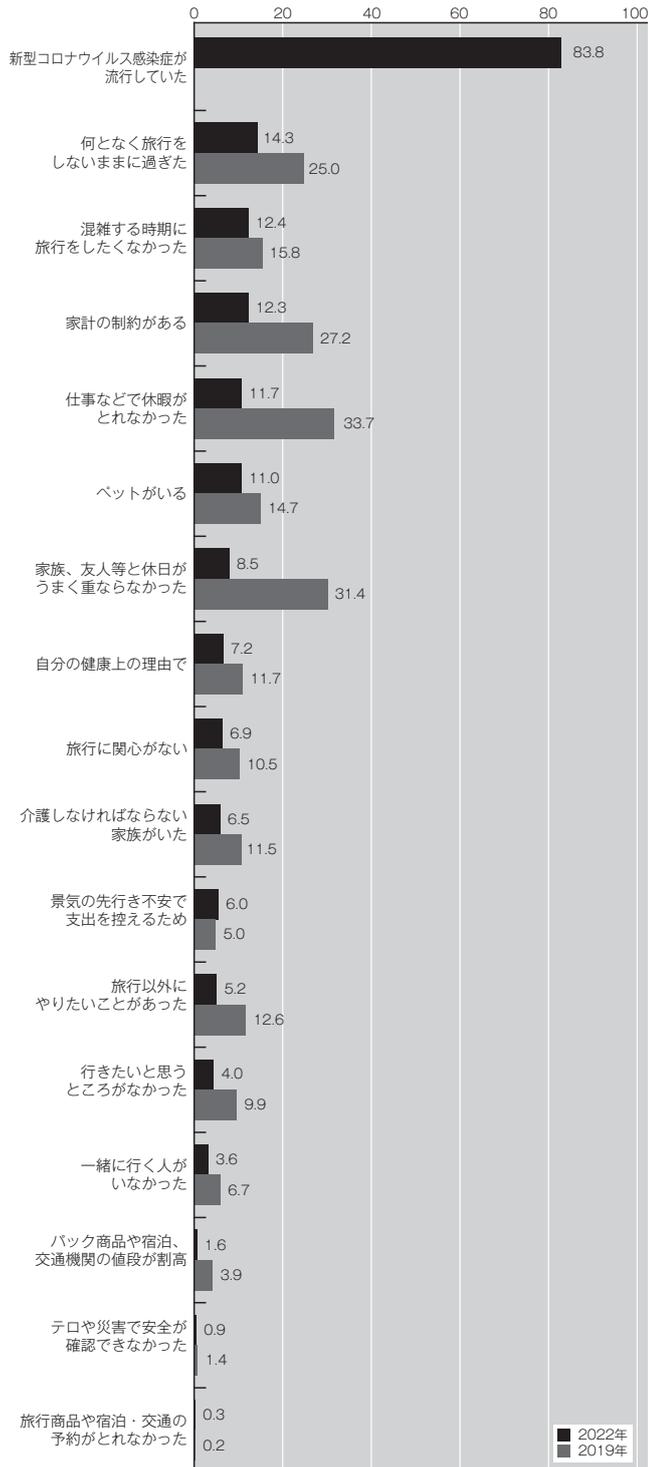
### 3 旅行の阻害要因

最大の阻害要因は「新型コロナウイルス感染症の流行」

「2021年1～12月中に国内旅行または海外旅行に行かなかった人」に「行かなかった」理由として当てはまるものをあらかじめ用意した選択肢から全て選んでもらった。

その結果、旅行の阻害要因(複数回答)は、「新型コロナウイルス感染症が流行していた」が、昨年に引き続き突出して多く83.8%にのぼった(2021年:90.0%)。続いて、「何となく旅行を

図 I-4-3 旅行の阻害要因(複数回答) (単位: %)



資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

しないままに過ぎた」(14.3%)、「混雑する時期に旅行をしたくなかった」(12.4%)、「家計の制約がある」(12.3%)、「仕事などで休暇がとれなかった」(11.7%)の順となった(図I-4-3)。

また、いずれのライフステージにおいても「新型コロナウイルス感染症が流行していた」が最大の阻害要因であり、特に、男女共に子育て中と子育て後で8割を超えた。新型コロナウイルス感染症の流行以外の要因を見ると、未婚や子育て後では「何となく旅行をしないままに過ぎた」、子どもなしや子育て中では「家計の制約がある」が挙げられた(表I-4-6)。

(安原有紗)

表 I-4-6 ライフステージ別・旅行の阻害要因 (単位: %)

2022年		2019年			
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	78.1	1位	仕事などで休暇がとれなかった	41.0
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	17.9	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	28.2
3位	旅行に関心がない	15.2	3位	家族、友人等と休日がつま重ならなかった	27.4

男女・子どもなし

2022年		2019年			
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	74.4	1位	仕事などで休暇がとれなかった	61.5
2位	ペットがいる	20.5	2位	家計の制約がある	42.3
	家計の制約がある	20.5	3位	ペットがいる	38.5

男性子育て中

2022年		2019年			
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	85.2	1位	仕事などで休暇がとれなかった	37.3
2位	仕事などで休暇がとれなかった	18.0	2位	家族、友人等と休日がつま重ならなかった	36.6
3位	家計の制約がある	15.3	3位	家計の制約がある	31.3

男性子育て後

2022年		2019年			
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	85.0	1位	仕事などで休暇がとれなかった	34.4
2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	16.7	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	26.2
3位	自分の健康上の理由で	15.0	3位	家計の制約がある	23.0

女性子育て中

2022年		2019年			
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	86.5	1位	家族、友人等と休日がつま重ならなかった	45.7
2位	家計の制約がある	16.7	2位	家計の制約がある	32.9
3位	混雑する時期に旅行をしたくなかった	14.0	3位	仕事などで休暇がとれなかった	27.9

女性子育て後

2022年		2019年			
1位	新型コロナウイルス感染症が流行していた	85.8	1位	自分の健康上の理由で	31.9
2位	混雑する時期に旅行をしたくなかった	20.0	2位	何となく旅行をしないままに過ぎた	30.6
3位	何となく旅行をしないままに過ぎた	18.7	3位	介護しなければならない家族がいた	23.6

資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

# I-5 新型コロナウイルス感染症の流行と日本人の旅行

当財団では、2020年度より新型コロナウイルス感染症（以下、コロナ）の流行が旅行市場に及ぼした影響把握を目的に、定期的の実施している「JTBF 旅行実態調査」「JTBF 旅行意識調査」の調査内容を拡充し、分析を進めている。本稿では、2020年から2021年までの2年間の調査結果について紹介する。

## 1 旅行実態

「予定通り実施した旅行」はコロナ禍前と同程度  
国内旅行に回復の兆し

### (1) 旅行実施への影響

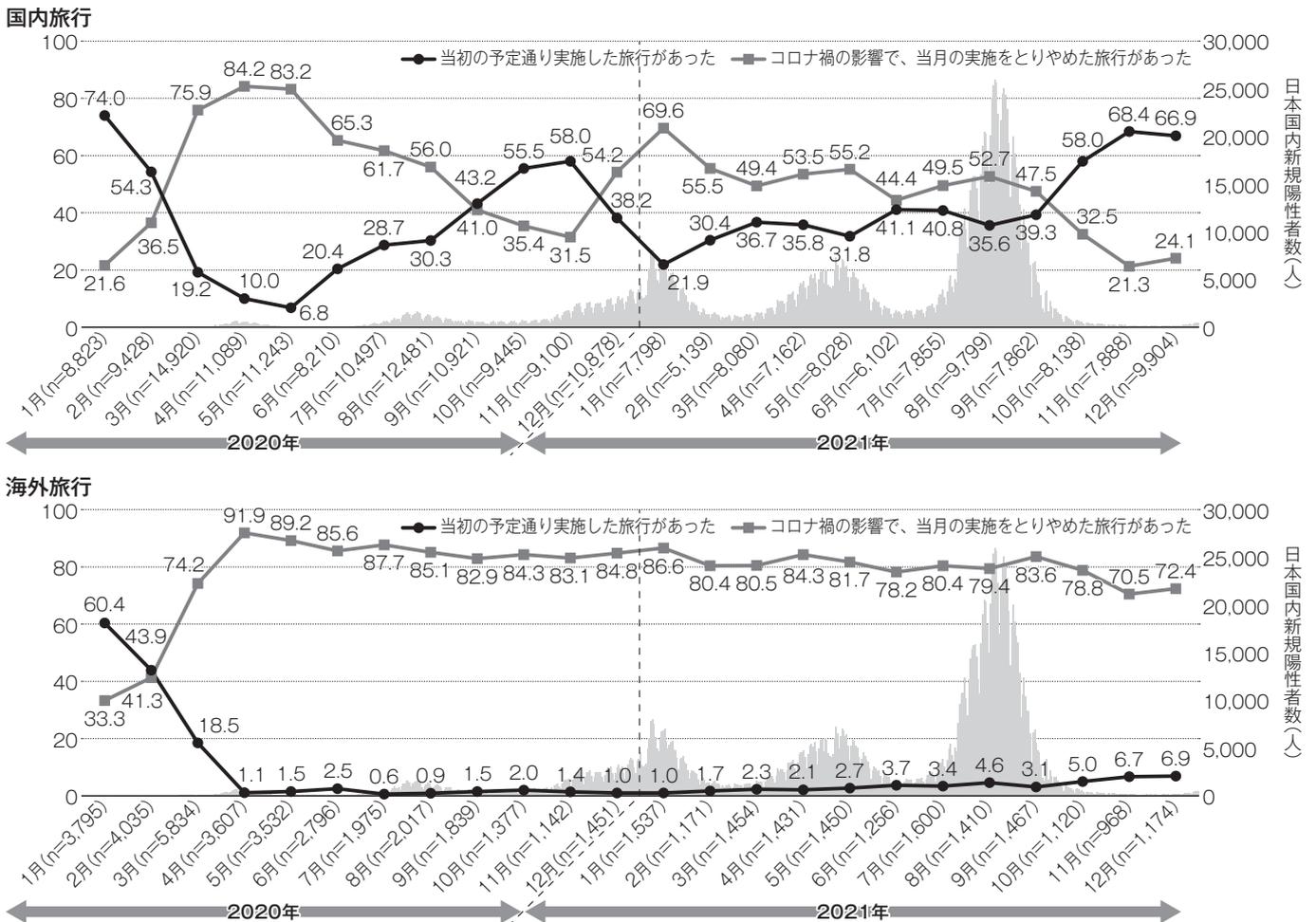
2020年2月上旬のクルーズ船での集団感染以降、全国一斉休校要請、専門家会議による3密回避提言などが続き、第1波下（2020年3～5月）にはコロナ禍によって8割強が国内旅行をとりやめた。第2波下（2020年6～8月）ではとりやめは徐々に減少したものの、第3波下（2020年11月～2021年2月）では3割から7割

まで再び急増した。その後の第4波下（2021年3～6月）・第5波下（2021年7～9月）では、第3波下より感染者が多かったにも関わらず、その割合は5割程度にとどまった。そして、第5波が落ち着きをみせた2021年11月には「予定通り実施した旅行があった」と回答した割合が7割程度まで増加し、2020年1月に迫る実施率となった。一方で、海外旅行のとりやめは、第1波下の2020年4月をピークに徐々に減少し、2021年1月以降は8割前後で推移した。その後、比較的発生状況が落ち着いていた2021年11～12月にはさらに減少し、7割程度となった（図I-5-1）。

旅行をとりやめた理由については、国内・海外旅行ともに2年間を通して「自分自身の感染リスク回避」がトップとなった。国内旅行の「自粛要請」を理由としたとりやめは、主に緊急事態宣言の発出やまん延防止等重点措置が適用された時期（2020年4～5月、2021年1～9月）に高まった。海外旅行は、国内旅行に比べて「旅行先の受入制限」や「現地までの交通制限」が多く挙げられたが、2020年と比較して徐々に減少している（表I-5-1）。

図 I-5-1 コロナ禍の観光旅行への影響（日帰り含む・旅行を計画していた人のみ）【複数回答】

（単位：%）



資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」  
日本国内新規陽性者数：厚生労働省資料より(公財)日本交通公社作成

表I-5-1 観光旅行をとりやめた理由(コロナの影響で旅行をとりやめた人のみ)【複数回答】

国内旅行

(単位：%)

	感染リスク回避	自分自身の感染リスク回避	同行者の感染リスク回避	旅行中に接する人への感染リスク回避	周りからの非難回避	自粛要請	同行者の意向	家族や友人等からの助言	GO TO トラベルの一時停止	現地までの交通制限	同行者の意向	旅行目的としていたイベント等の中止	新型コロナウイルスの影響による経済的要因	旅行先の受入制限	新型コロナウイルスに対応で多忙	ツアー等の中止	参加予定のツアー等の中止	現地までの交通制限	その他
2020年	1月(n=1,906)	80.5	49.4	40.6	17.6	18.0	12.1	16.7	—	10.2	6.1	7.2	6.1	6.7	6.9	0.7			
	2月(n=3,439)	80.1	53.2	44.8	16.4	21.2	12.0	16.4	—	12.8	3.5	6.3	4.2	5.6	4.5	0.8			
	3月(n=11,329)	81.2	58.0	51.1	18.6	34.6	12.7	18.0	—	18.6	3.4	10.0	3.7	5.4	6.1	0.8			
	4月(n=9,340)	79.7	53.6	46.3	23.6	44.4	11.2	16.8	—	17.0	3.5	14.2	3.6	6.7	10.1	0.7			
	5月(n=9,355)	79.2	55.7	48.2	23.1	51.1	10.5	14.6	—	16.4	3.7	15.4	3.4	5.7	10.6	0.9			
	6月(n=5,360)	75.6	48.6	42.8	20.7	36.5	10.2	14.1	—	18.6	4.4	15.0	4.0	8.1	11.8	1.1			
	7月(n=6,478)	79.1	53.3	45.6	26.9	31.2	11.8	17.0	—	14.3	5.3	10.1	3.6	6.1	7.5	0.8			
	8月(n=6,984)	78.3	55.9	49.1	27.3	29.1	10.9	17.4	—	11.3	5.4	7.8	2.9	4.0	5.6	1.0			
	9月(n=4,478)	76.8	50.8	43.1	23.7	24.4	11.4	15.5	—	12.6	5.2	7.5	3.0	5.2	6.3	1.1			
	10月(n=3,341)	81.8	54.8	41.7	18.8	20.1	10.0	12.0	—	8.2	4.0	4.9	3.6	4.0	4.6	1.8			
	11月(n=2,862)	80.3	52.5	40.6	19.5	20.4	10.8	13.0	—	7.1	3.9	4.6	3.5	4.0	3.6	1.6			
	12月(n=5,897)	77.7	56.0	47.3	20.8	27.0	10.4	14.9	—	5.7	3.2	4.1	2.4	3.6	2.9	3.0			
2021年	1月(n=5,424)	77.0	53.3	45.7	21.2	37.7	10.1	13.2	16.8	6.5	3.4	5.4	2.3	4.3	3.1	0.6			
	2月(n=2,853)	79.0	50.2	40.3	21.3	35.3	9.1	12.0	11.7	8.9	4.1	6.3	2.7	4.0	3.6	0.6			
	3月(n=3,995)	80.4	52.8	43.7	21.2	36.3	10.8	12.5	9.9	7.6	3.8	6.1	2.7	3.7	3.2	0.6			
	4月(n=3,834)	77.6	51.1	42.4	20.1	39.5	10.1	13.3	7.9	9.5	4.3	7.5	2.8	4.2	4.2	1.0			
	5月(n=4,431)	76.0	53.3	44.1	20.7	43.4	10.1	11.8	6.8	9.7	3.1	7.1	2.1	3.4	3.5	0.9			
	6月(n=2,709)	75.0	46.0	39.1	17.5	35.9	10.0	11.4	6.6	9.4	4.0	7.9	2.8	4.6	4.4	1.1			
	7月(n=3,885)	78.6	53.2	42.9	22.1	40.9	11.5	13.5	7.1	8.9	4.0	7.7	3.2	4.4	3.4	1.1			
	8月(n=5,163)	77.2	56.5	46.8	22.4	45.3	12.0	13.6	5.4	7.8	3.7	7.6	2.5	3.4	2.9	1.1			
	9月(n=3,735)	74.3	51.7	42.7	21.4	44.1	11.6	11.9	6.0	9.0	3.5	7.5	2.6	4.3	2.8	1.3			
	10月(n=2,645)	78.0	50.7	37.3	19.7	23.7	12.9	14.2	7.8	9.3	4.9	6.0	4.2	4.8	3.3	0.6			
	11月(n=1,678)	79.6	48.7	36.8	17.6	19.8	11.7	13.1	7.7	8.2	5.1	5.9	3.9	4.8	3.7	0.9			
	12月(n=2,385)	81.6	53.7	41.1	19.2	16.5	13.8	13.2	6.3	5.2	4.2	3.9	3.4	2.7	2.6	0.8			

(注)\*は2021年度調査より追加

海外旅行

(単位：%)

	感染リスク回避	自分自身の感染リスク回避	同行者の感染リスク回避	旅行中に接する人への感染リスク回避	周りからの非難回避	旅行先の受入制限	自粛要請	家族や友人等からの助言	現地までの交通制限	同行者の意向	旅行目的としていたイベント等の中止	新型コロナウイルスの影響による経済的要因	旅行先の受入制限	新型コロナウイルスに対応で多忙	ツアー等の中止	参加予定のツアー等の中止	現地までの交通制限	その他
2020年	1月(n=1,263)	75.9	45.5	39.7	14.9	7.4	15.7	18.2	8.9	11.8	13.3	8.9	7.3	8.6	0.7			
	2月(n=1,666)	80.9	52.7	43.5	15.2	8.8	18.1	17.9	7.0	11.6	11.5	6.8	4.8	5.0	1.1			
	3月(n=4,331)	82.1	58.0	47.8	18.0	14.9	27.8	20.0	11.5	13.2	14.5	8.2	4.6	4.3	0.9			
	4月(n=3,316)	78.7	49.4	40.2	19.1	16.8	30.9	15.6	13.8	10.3	13.4	9.3	2.9	3.1	0.5			
	5月(n=3,149)	78.3	51.1	41.4	18.3	18.9	34.0	14.4	16.3	9.7	12.5	8.7	2.9	3.1	0.5			
	6月(n=2,393)	77.0	44.6	36.6	16.3	19.6	26.9	13.5	18.3	8.7	13.4	10.5	2.7	3.5	0.7			
	7月(n=1,732)	74.1	42.9	34.2	17.5	24.2	22.4	12.9	19.7	7.6	7.6	9.5	2.2	2.9	0.5			
	8月(n=1,717)	74.1	44.8	34.9	17.6	23.7	22.1	11.8	19.7	6.9	7.2	6.9	2.1	3.0	0.8			
	9月(n=1,525)	73.8	42.0	31.1	16.1	23.3	20.1	10.7	19.9	6.6	6.8	8.8	1.8	2.6	1.2			
	10月(n=1,161)	77.6	43.2	32.5	12.5	16.3	15.8	10.6	10.3	7.8	5.9	7.5	3.0	2.8	0.9			
	11月(n=949)	76.7	39.3	29.8	11.4	14.4	14.0	9.8	10.9	5.8	4.8	6.4	2.3	3.0	1.2			
	12月(n=1,230)	76.8	44.8	33.9	13.2	15.7	17.2	11.2	11.5	6.7	4.9	5.1	2.8	3.3	1.8			
2021年	1月(n=1,331)	79.8	47.4	35.2	15.7	10.5	22.9	11.7	8.5	8.9	6.2	6.1	3.8	4.3	1.0			
	2月(n=942)	78.8	41.8	31.4	14.1	11.6	19.6	10.0	8.6	7.0	8.0	5.1	3.6	4.5	0.6			
	3月(n=1,170)	79.6	46.6	34.4	15.5	11.6	22.6	11.7	9.1	8.5	7.7	5.6	3.3	3.8	0.4			
	4月(n=1,207)	77.1	43.8	33.4	16.5	12.7	25.7	12.7	10.4	8.2	6.8	5.7	4.1	4.6	0.4			
	5月(n=1,185)	75.9	45.2	34.2	16.0	12.9	26.8	11.0	10.5	7.4	6.6	5.2	3.3	4.1	0.7			
	6月(n=982)	75.9	40.9	31.8	14.5	13.5	23.7	10.1	9.8	7.8	6.5	6.2	3.7	4.4	0.9			
	7月(n=1,228)	77.6	47.0	34.7	17.9	13.7	26.0	14.9	9.8	10.2	8.0	6.4	3.2	3.8	0.8			
	8月(n=1,287)	77.7	49.6	37.9	18.3	13.5	28.5	14.0	8.7	9.1	7.7	5.4	3.3	3.7	0.8			
	9月(n=1,119)	75.7	45.4	35.6	16.6	13.6	26.1	12.2	8.8	8.8	8.5	6.1	2.9	3.5	1.2			
	10月(n=883)	74.3	40.3	26.6	15.3	11.0	14.0	12.1	8.9	9.7	6.7	7.5	5.1	4.6	0.8			
	11月(n=682)	75.7	39.0	25.5	12.3	9.7	11.9	10.3	8.8	8.9	6.3	6.3	4.7	3.8	1.0			
	12月(n=850)	77.6	41.5	29.2	14.1	12.1	11.9	10.4	9.2	9.2	4.7	4.5	3.5	3.4	1.2			

資料：(公財)日本交通公社「JTB旅行実態調査」

(2)実施した旅行への影響

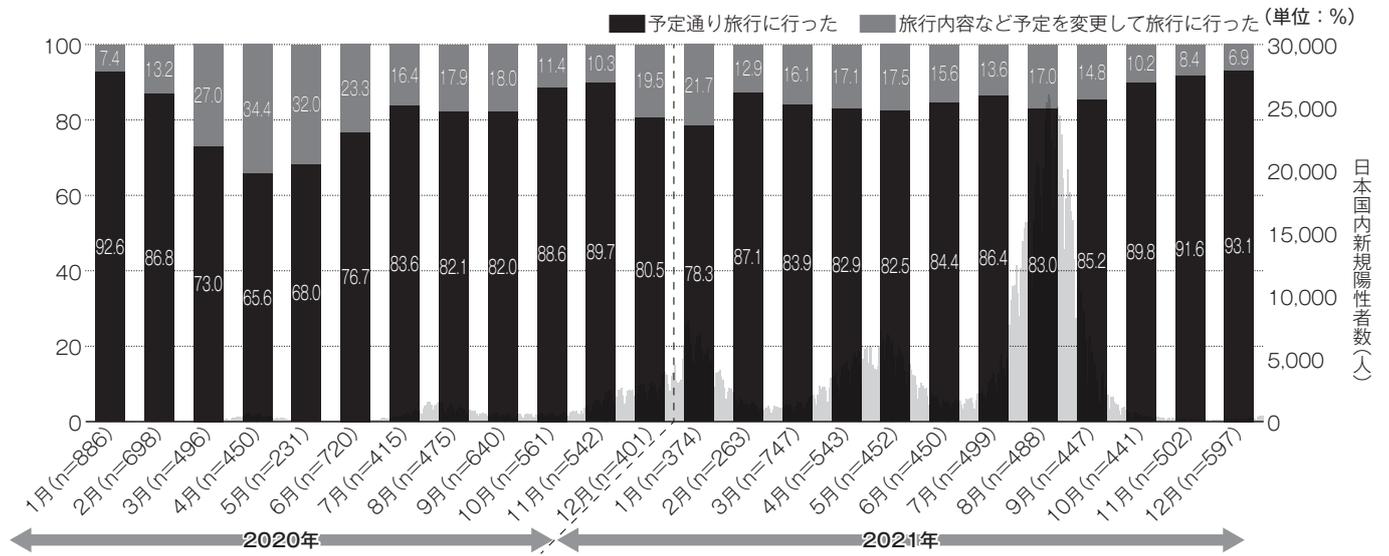
●国内宿泊観光旅行の内容変更の有無と変更内容

コロナ禍によって国内旅行予定に変更が生じた割合は、2020～2021年を通して感染拡大期に増加した。しかしながら、その割合は第3波下では2割程度、第4波下では2割弱、第5波下では1.5割～2割弱と徐々に減少している。さらに、比較的感染状況が落ち着いていた2021年11月以降には1割未満となり、

感染拡大前の2020年1月と同水準にまで戻っている(図I-5-2)。

コロナ禍の影響で変更した国内旅行の内容は、ほぼすべての月で「活動内容・訪問先」の変更が最多となった。一方、2020年8月・2021年9月は「旅行先(国内→国内)」の変更が最も多く、夏休みを利用した比較的遠方への旅行から近隣の旅行への変更が多かったと推測される(表I-5-2)。

図 I-5-2 実施した国内宿泊観光旅行のコロナ禍による変更の有無(コロナの影響で旅行をとりやめた人のみ)【複数回答】



※日本国内新規陽性者数:厚生労働省資料より(公財)日本交通公社作成

表 I-5-2 コロナ禍による国内宿泊観光旅行の変更内容(コロナの影響で旅行をとりやめた人のみ)【複数回答】 (単位:%)

年	月	訪問先・活動内容	泊数	旅行先(国内→国内)	交通手段	旅行先(海外→国内)	同行者の人数	宿泊施設	同行者	その他
2020	2月	42.4	28.3	19.6	18.5	15.2	8.7	15.2	8.7	1.1
2020	3月	39.6	23.1	23.9	14.2	18.7	4.5	17.9	4.5	1.5
2020	4月	34.8	29.0	21.9	20.0	11.6	5.8	14.8	4.5	3.2
2020	5月	37.8	36.5	21.6	20.3	18.9	8.1	18.9	4.1	1.4
2020	6月	41.1	21.4	23.8	20.2	5.4	4.2	14.3	3.0	6.5
2020	7月	32.4	30.9	23.5	26.5	7.4	2.9	17.6	0.0	2.9
2020	8月	29.4	20.0	36.5	24.7	9.4	1.2	20.0	5.9	5.9
2020	9月	33.9	32.2	28.7	22.6	8.7	2.6	16.5	2.6	6.1
2020	10月	48.4	20.3	17.2	21.9	14.1	3.1	14.1	1.6	1.6
2020	11月	42.9	35.7	21.4	17.9	1.8	5.4	17.9	1.8	8.9
2020	12月	41.0	23.1	25.6	16.7	7.7	2.6	23.1	2.6	5.1
2021	1月	34.6	35.8	29.6	8.6	1.2	6.2	21.0	1.2	2.5
2021	2月	29.4	26.5	29.4	8.8	8.8	2.9	17.6	0.0	2.9
2021	3月	40.0	28.3	22.5	13.3	6.7	4.2	16.7	2.5	4.2
2021	4月	44.1	30.1	25.8	15.1	3.2	2.2	20.4	1.1	2.2
2021	5月	38.0	24.1	29.1	5.1	2.5	8.9	22.8	5.1	3.8
2021	6月	37.1	27.1	17.1	18.6	1.4	5.7	25.7	1.4	8.6
2021	7月	45.6	20.6	41.2	11.8	1.5	1.5	14.7	1.5	2.9
2021	8月	42.2	33.7	34.9	9.6	7.2	4.8	10.8	2.4	3.6
2021	9月	37.9	9.1	42.4	10.6	3.0	1.5	12.1	3.0	6.1
2021	10月	37.8	26.7	20.0	8.9	4.4	2.2	15.6	0.0	13.3
2021	11月	26.2	16.7	26.2	16.7	2.4	2.4	19.0	7.1	11.9
2021	12月	39.0	29.3	22.0	22.0	7.3	4.9	2.4	0.0	2.4

資料:(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

●コロナ禍での国内宿泊観光旅行実施にあたっての気持ち

コロナ禍での旅行実施にあたっての気持ちは、2020年4月から2021年8月まで(2021年6月除く)は「心配しても仕方がない」が最多であったが、2021年10月以降、「新型コロナに対する不安は感じない」が最多となった。また、2021年度調査より追加した「全国的なワクチン接種が始まっているので問題ない」は、ワクチン接種率の高まりにあわせて増加し、2021年10月以降は1.5割を上回った。一方で、「旅行して良いのか迷った」は、2021年8月以降、徐々に減少し、2021年11月以降は1割未満で推移している(表I-5-3)。

●コロナ禍で実施した国内宿泊観光旅行の感想

コロナ禍で旅行に行った感想は、2021年上半期には「混雑がなく快適」が最も高かったが、2021年7月以降その割合は減少した。一方で、2021年1~9月は3割前後で推移していた「コロナ禍前と特段変わらない」は、2021年10月以降、徐々に増加

し、12月には4割に迫る割合で最多となった。また、「想定より混雑」は、2020年10月~2021年10月は1割程度だったものの、徐々に増加し、2021年12月には2.5割程度まで増加した。旅行者も観光地に賑わいが戻りつつあることを実感している(表I-5-4)。

●国内宿泊観光旅行中のコロナ対策

国内旅行中のコロナ対策は、2020~2021年を通じて「マスクの着用」が最も高く、2020年7月以降は9.5割前後で推移した。「設置されているアルコール除菌を励行・徹底」も2021年を通して7割以上で推移している。しかしながら、2020年12月と2021年12月を比較すると、「その他」以外のすべての項目で実施率が低下しており、特に「ソーシャルディスタンスの確保」の実施率は、20ポイント減と大幅に減少した(表I-5-5)。

表 I-5-3 コロナ禍での国内宿泊観光旅行実施にあたっての気持ち【複数回答】

(単位：%)

	新型コロナに対する不安は感じない	心配しても仕方がない	旅行先の感染者数が少ないので安心	全国的なワクチン接種が始まっているので、問題ない*	自分自身が感染対策を万全にすれば問題ない*	訪問先や公共交通機関等が感染対策を徹底しているので、問題ない*	旅行先の観光地を応援したい	どこも空いている	あまりかわりはない	我慢はかりしてはならない	外国人観光客が少ない	旅行して良いのか迷った*	経済の停滞は避けるべき	値段が通常より安い	同行者の考えに感じた	今しか楽しめない旅行(記念旅行など)	旅行先には迷惑はかからない	キャンセル料が嫌	感染しても発症しない・軽症で済む	変更をするのが面倒	旅行の中止や兼ねるので仕方ない	冠婚葬祭への出席を兼ねるので仕方ない	その他	
2020年	1月(n=886)	66.4	13.9	8.2	—	—	6.7	—	3.3	2.1	30.2	1.4	4.3	—	4.3	1.2	3.4	2.9	6.5	4.3	10.2	3.0	1.5	9.8
	2月(n=698)	37.0	19.8	14.6	—	—	12.9	—	7.9	4.3	26.8	1.6	9.9	—	5.7	2.4	7.3	6.7	6.7	8.0	11.9	3.6	1.6	5.9
	3月(n=496)	26.2	19.8	21.0	—	—	18.3	—	12.7	9.1	19.0	2.6	11.5	—	6.3	4.6	11.9	10.3	8.1	7.7	8.1	3.8	2.6	7.5
	4月(n=450)	20.4	26.2	17.3	—	—	13.8	—	12.9	9.8	17.3	5.8	10.2	—	10.2	5.1	10.7	8.7	7.6	9.6	15.6	4.0	2.0	4.0
	5月(n=231)	20.3	33.8	19.9	—	—	11.3	—	14.3	11.3	11.3	6.1	6.1	—	11.7	3.9	8.2	5.2	7.8	5.2	15.6	2.6	4.3	2.6
	6月(n=720)	21.7	27.9	24.9	—	—	10.1	—	24.0	10.0	11.5	5.0	11.8	—	13.8	12.8	9.0	3.2	7.8	2.2	6.4	1.4	0.8	5.3
	7月(n=415)	20.2	33.3	21.4	—	—	14.2	—	21.9	11.6	11.1	4.6	10.8	—	11.3	12.3	9.9	3.9	6.5	3.9	8.9	2.7	2.7	3.4
	8月(n=475)	22.5	37.5	21.3	—	—	13.3	—	18.7	8.8	10.5	6.1	10.3	—	11.8	14.7	11.8	6.9	9.7	2.5	6.1	0.4	2.3	2.3
	9月(n=640)	23.9	36.1	19.5	—	—	13.6	—	21.3	6.7	9.8	6.1	10.6	—	14.2	20.0	9.5	6.6	2.0	7.2	1.4	1.3	4.4	
	10月(n=561)	25.5	27.3	25.0	—	—	12.7	—	23.5	6.1	12.7	2.5	13.0	—	12.8	19.6	10.0	7.5	5.5	3.9	6.8	2.3	2.0	3.0
	11月(n=542)	23.1	26.0	22.9	—	—	18.1	—	23.2	6.5	10.3	3.5	11.6	—	14.4	21.8	10.0	7.6	6.8	4.4	6.8	2.2	1.5	4.2
	12月(n=401)	24.2	28.9	17.7	—	—	20.2	—	21.2	4.7	7.5	2.2	9.5	—	14.7	20.4	13.0	9.5	6.0	5.7	4.2	3.7	1.5	3.5
2021年	1月(n=374)	22.2	28.6	18.7	0.8	15.0	12.3	12.0	17.4	18.4	13.1	12.8	11.8	23.0	11.5	10.7	7.2	5.3	7.0	7.0	4.5	3.5	0.5	3.2
	2月(n=263)	24.3	27.4	18.6	0.4	15.6	13.7	12.2	16.7	19.8	11.8	11.0	9.9	16.0	12.5	9.5	4.9	5.3	7.6	2.7	6.1	2.3	1.9	2.7
	3月(n=747)	25.8	28.9	17.5	0.5	15.9	13.9	13.5	17.3	18.1	9.1	12.0	9.0	20.7	12.4	8.3	6.2	8.8	6.6	4.8	4.3	2.3	1.2	1.7
	4月(n=543)	26.2	33.3	19.7	1.3	14.0	15.3	13.6	17.7	18.4	12.0	13.4	13.1	20.3	10.7	7.7	6.3	5.3	7.6	3.7	5.2	2.9	1.3	1.7
	5月(n=452)	27.4	29.2	19.0	1.3	17.0	17.3	11.1	15.5	19.5	8.6	14.8	10.6	18.4	12.4	6.4	9.7	8.0	8.4	4.6	3.5	2.4	1.8	2.0
	6月(n=450)	32.2	26.4	18.4	3.6	15.1	14.4	11.8	18.4	19.3	10.4	13.8	8.2	17.3	10.7	7.8	8.0	7.6	6.4	2.7	2.9	3.1	0.4	1.3
	7月(n=499)	24.0	26.5	14.6	6.6	15.6	15.6	12.2	14.6	14.6	10.6	11.2	7.8	16.0	8.4	7.0	8.6	6.6	8.2	3.6	5.8	2.6	1.0	3.6
	8月(n=488)	24.8	28.7	12.5	6.4	15.2	15.6	11.5	13.3	13.9	11.3	11.1	7.8	22.1	9.0	6.4	7.8	8.6	9.2	4.9	5.7	4.5	1.0	2.3
	9月(n=447)	26.4	26.4	14.8	10.7	17.7	14.3	13.0	14.3	19.9	8.3	14.8	11.0	17.9	9.4	6.7	9.4	6.0	6.3	3.6	5.1	1.3	1.8	2.0
	10月(n=441)	35.4	27.4	23.4	17.2	12.9	10.2	12.9	14.1	15.4	13.2	10.0	12.5	11.6	9.5	10.0	4.3	6.8	8.2	2.9	4.1	2.3	2.0	2.0
	11月(n=502)	35.1	23.5	22.3	18.9	14.5	14.5	13.1	12.5	13.1	12.4	8.4	11.4	8.2	10.0	6.8	8.0	7.4	7.2	3.2	3.2	1.2	0.8	2.4
	12月(n=597)	34.3	24.6	21.6	16.9	15.2	15.1	12.2	12.1	10.9	10.6	10.4	9.5	9.0	8.5	7.9	7.7	6.0	4.9	4.9	3.9	2.2	1.7	1.3

(注) \*は2021年度調査より追加

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」



## 2 旅行意識

コロナ禍の旅行では、緊急事態宣言の発出状況や旅行先での混雑回避などが意識される

### (1) 旅行実施に及ぼす影響

#### ●国内旅行実施のための条件

現在のコロナ流行下で、国内旅行を実施するかどうかを判断するときに影響を及ぼす項目を尋ねた結果、2020年12月、2021年5月、同年12月のいずれも、緊急事態宣言や移動・外出自粛要請等の発出、旅行先の新規感染者数が上位を占めた。国内でワクチン接種が本格化する時期にあった2021年5月は、「自分のワクチン接種の有無」、「国内のワクチン接種の進行状況」が4割前後となったが、ワクチン接種が進んだ同年12月には2割弱～3割弱へと減少した(表I-5-6)。

表 I-5-6 国内旅行実施の条件【複数回答】 (単位：%)

	2020年12月調査 (n=420)*	2021年5月調査 (n=1,383)*	2021年12月調査 (n=1,368)*
緊急事態宣言の発出状況	84.3※全国の	79.9	77.9
	81.2※居住地域の		
都道府県をまたぐ移動自粛要請の発出状況	75.0	68.0	63.2
外出自粛要請の発出状況	76.4	66.5	63.1
旅行先の新規感染者数	70.0	58.6	61.8
まん延防止等重点措置の発出状況	—	64.6	58.3
自分の周囲での感染者の発生	63.3	45.0	51.0
全国の新規感染者数	45.5	42.6	45.2
居住地域の新規感染者数	48.8	39.6	40.2
旅行先から発信される情報	54.3	31.5	35.5
Go Toトラベルキャンペーンの有無	54.3	21.1	29.2
自分のワクチン接種の有無	—	45.3	24.3
景気や家計の経済状況	31.7	16.1	22.4
旅行先の医療体制のひっ迫状況	28.3	24.5	21.3
自治体による旅行割引キャンペーンの有無	28.8	9.2	18.9
国内のワクチン接種の進行状況	—	38.7	16.4
治療薬開発の進行状況	—	12.7	13.6
WHOによる緊急事態宣言の発出状況	11.2	4.8	7.2
旅行者や地元住民のロコミ	14.3	5.1	6.0
治療薬やワクチン開発の進行状況	21.7	—	—
その他	2.6	2.3	2.3
特に影響を及ぼす項目はない	0.7	1.0	2.0
無回答	0.2	0.4	0.1

(注) —は選択肢の設定なしを示す 資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」  
 ※各調査回における回答対象者は以下の通り  
 ・2020年12月調査：コロナ流行下で国内旅行または海外旅行に行きたい人のみ  
 ・2021年5月調査、2021年12月調査：国内旅行または海外旅行に行きたい人のみ

#### ●海外旅行再開のための条件

海外旅行については、どのような条件が満たされれば実施したいと思うかを尋ねた。その結果、2020年12月は「治療薬・ワクチンの確立」、2021年5月は「自分のワクチン接種の完了」がそれぞれ6割以上を占め1位となったが、国内でワクチン接種が進んだ2021年12月にそれらは減少し、「旅行先の感染者がゼロ」が1位となった。この他、「WHOの終息宣言」、「入国後の行動制限の解除」は、すべての時期で比較的多く挙げられた(表I-5-7)。

### (2) 政府や自治体の要請に対する意識

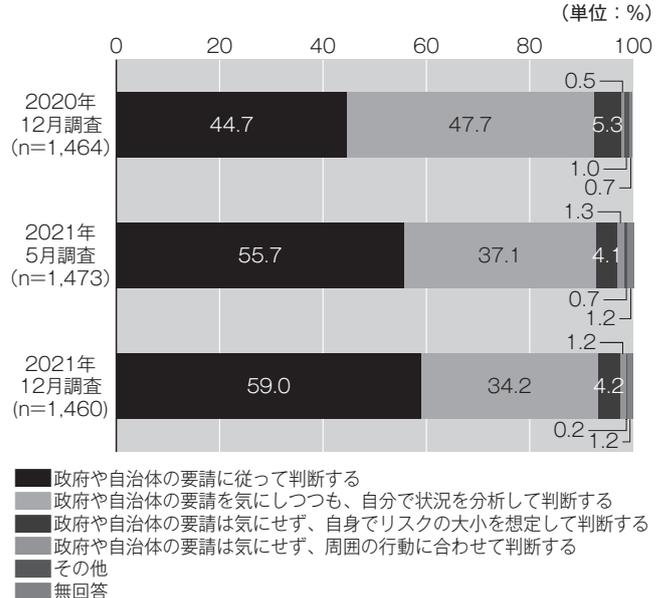
旅行を実施するかを判断するときに政府や自治体の要請を意識するかどうかを尋ねた結果、「要請に従って判断する」は、2020年12月から2021年12月にかけて4割強から6割弱へと増加した。この間、Go Toトラベルキャンペーンなどの旅行促進策や、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置などの感染拡大防止策といった各種の措置がとられてきたが、その有無に関わらず一定層が公的な要請を意識して自らの旅行実施を判断すると考えられる(図I-5-3)。

表 I-5-7 海外旅行再開の条件【複数回答】 (単位：%)

	2020年12月調査 (n=116)*	2021年5月調査 (n=915)*	2021年12月調査 (n=858)*
旅行先の感染者がゼロになった	56.0	55.4	59.3
治療薬が開発された	—	46.9	50.8
治療薬・ワクチンが確立された	73.3	—	—
WHOが終息宣言を出した	43.1	48.4	50.1
入国後の行動に関する制限が解除された	68.1	43.2	48.0
ロコミやマスコミ報道で安全だと確認できた	58.6	43.9	41.8
日本国内の新規感染者がゼロになった	40.5	42.7	34.8
旅行先の医療のひっ迫がおさまった	46.6	33.2	31.7
旅行先でワクチン接種が進んだ	—	43.6	31.4
外務省の感染症危険情報レベルが下がった	47.4	32.0	30.8
自分のワクチン接種が完了した	—	60.0	30.4
旅行先から歓迎されることがわかった	44.8	35.3	27.7
居住地域の感染者がゼロになった	37.9	32.1	27.6
自分の周りの人が海外旅行に行き始めた	30.2	21.3	22.5
海外旅行への支援策(キャンペーン等)が出た	41.4	19.5	19.2
その他	3.4	2.2	2.2
条件はない(すぐにでも行く)	0.9	0.1	0.5
無回答	0.9	0.4	0.5

(注) —は選択肢の設定なしを示す 資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」  
 ※各調査回における回答対象者は以下の通り  
 ・2020年12月調査：コロナ流行下で国内旅行または海外旅行に行きたい人のみ  
 ・2021年5月調査、2021年12月調査：国内旅行または海外旅行に行きたい人のみ

図 I-5-3 政府や自治体の要請に対する意識 (単位：%)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

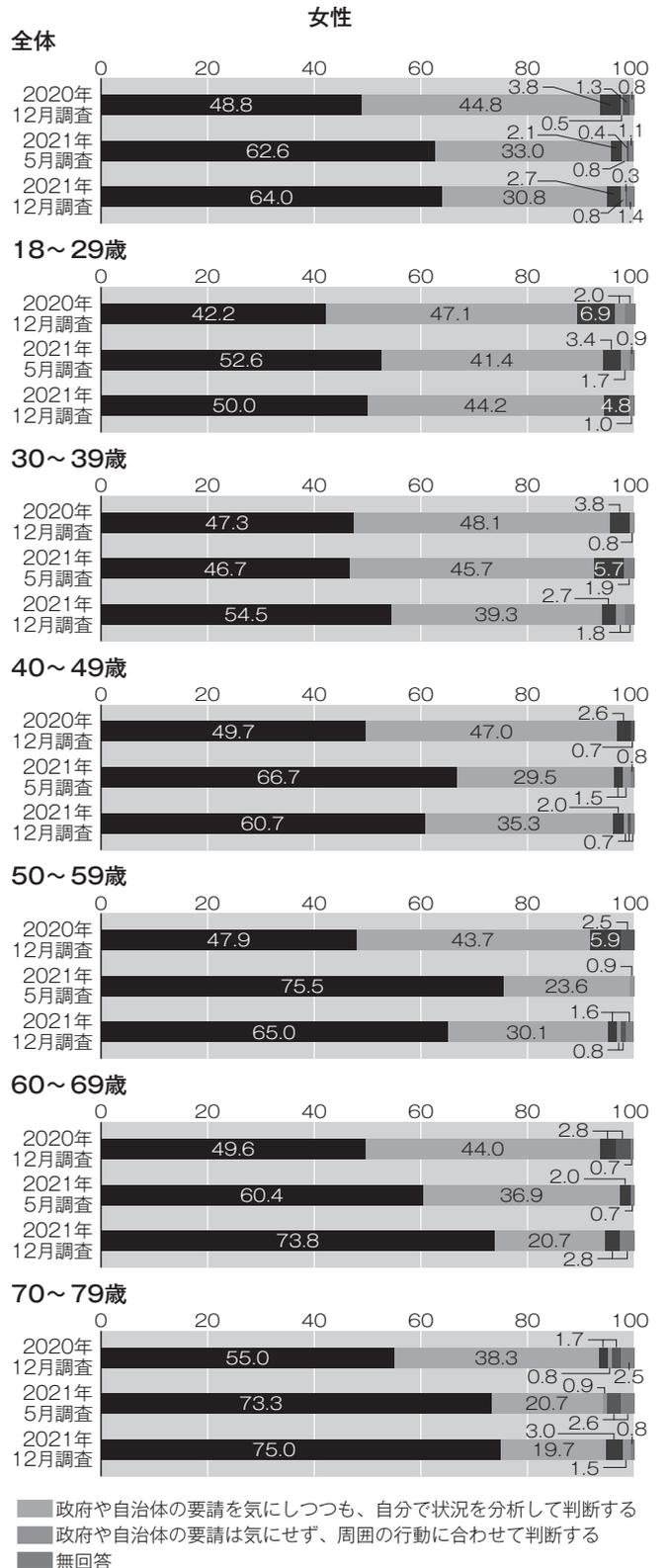
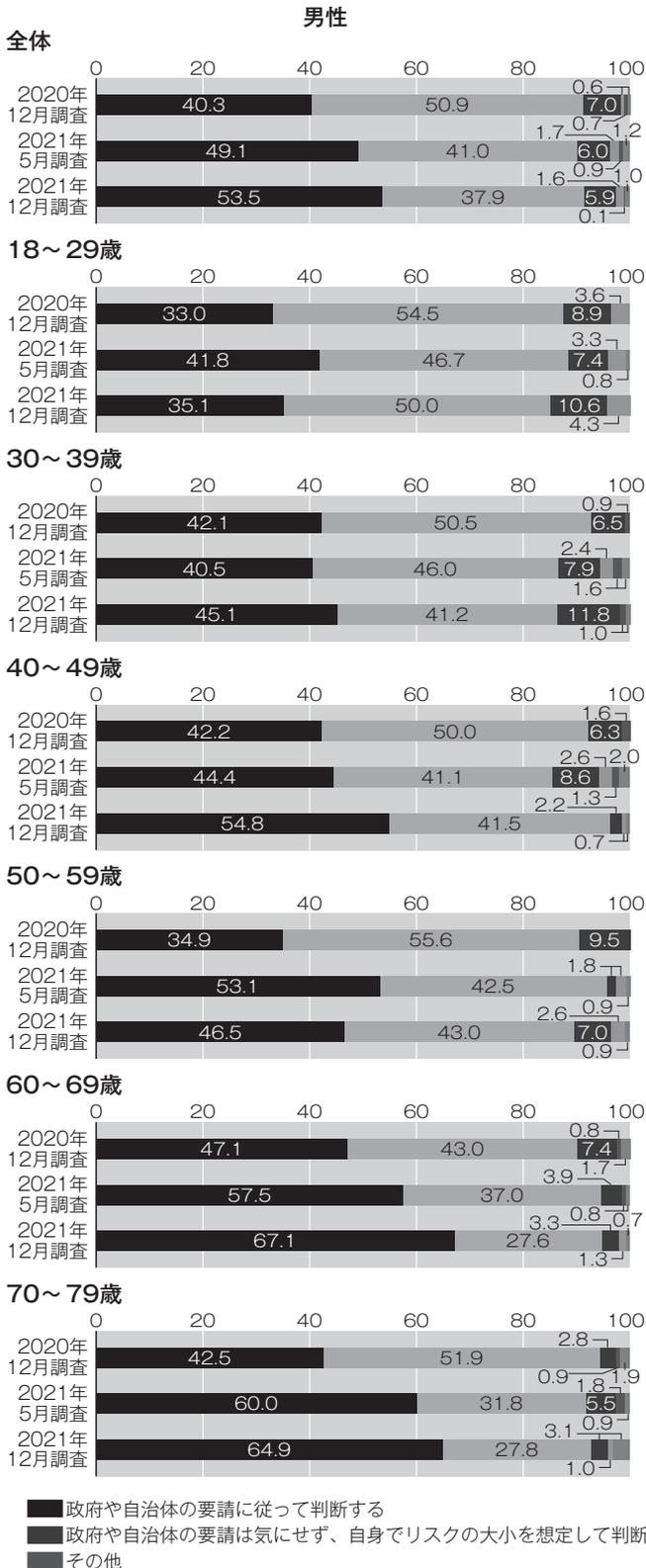
政府や自治体の要請に対する意識を性別に見ると、いずれの時期でも男性より女性の方が「要請に従って判断する」が高く、男性は4割～5割強、女性は5割弱～6割強となった。さらに、年代別で見ると、男女ともに若年層に比べ年代が高い層の方が要請に従う傾向が確認された(図I-5-4)。

普段の旅行頻度では、よく旅行に行く人ほど「要請に従う」

が低く、逆に「要請を気にしつつも、自分で状況を分析する」や「要請は気にせず、自分でリスクの大きさを想定する」が高かった。このことから、旅慣れた人ほど自身のこれまでの旅行経験などから、旅行中の感染リスクを想定して行動することが示唆された(図I-5-5)。

図 I-5-4 政府や自治体の要請に対する意識(性年代)

(単位: %)

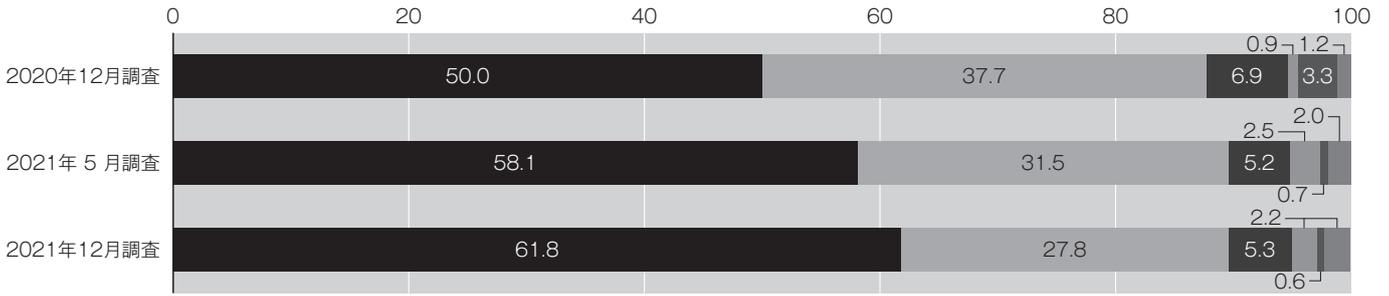


資料: (公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

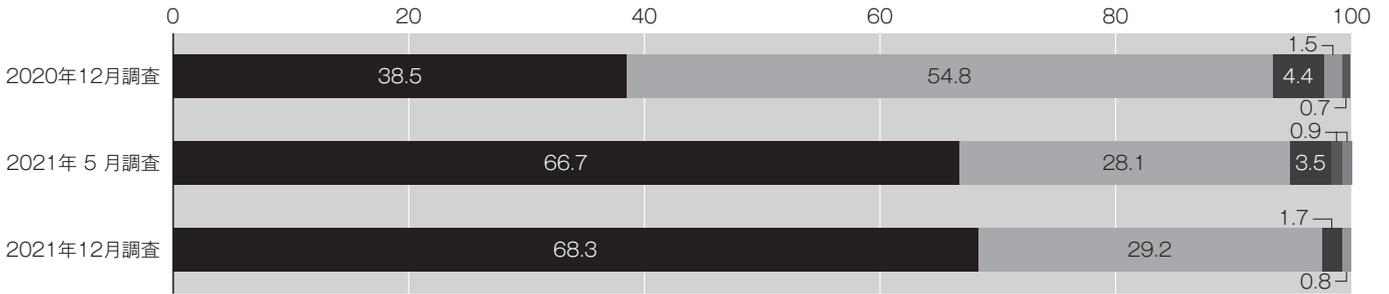
図 I-5-5 政府や自治体の要請に対する意識(普段の旅行頻度)

(単位: %)

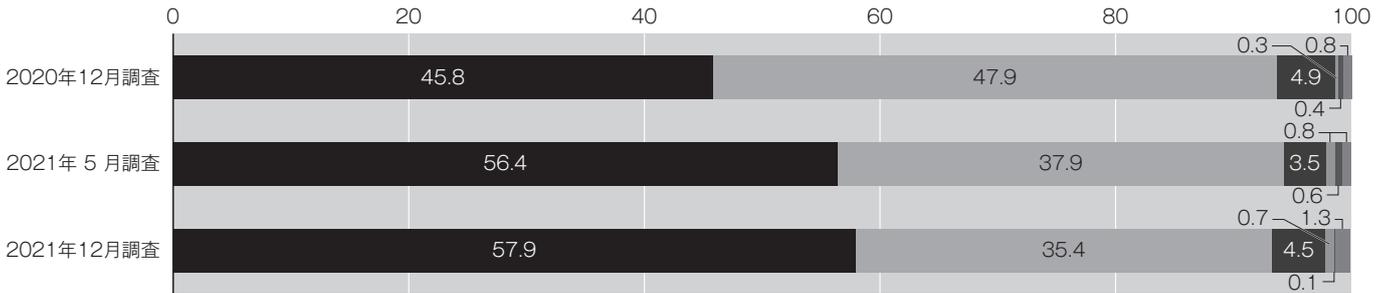
あまり行かない



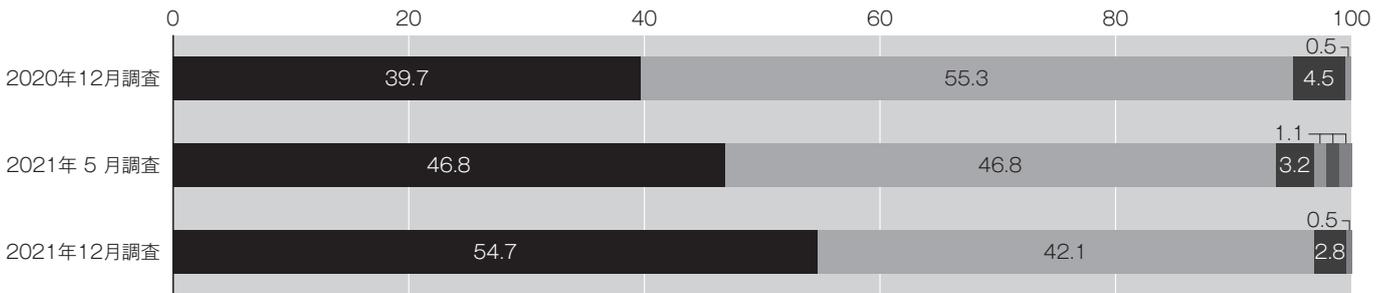
2年に1回程度



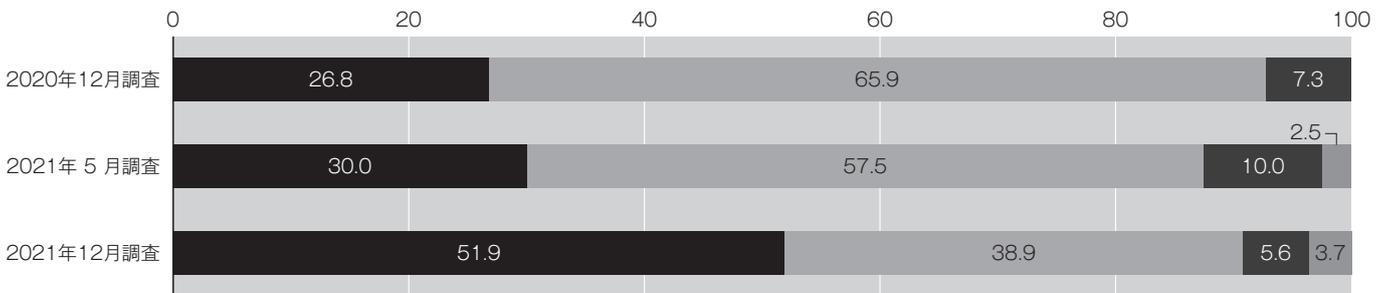
年に1~2回程度



年に3~5回程度



年に6回以上



- 政府や自治体の要請に従って判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、自分で状況を分析して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、自分でリスクの大きさを想定して判断する
- その他
- 政府や自治体の要請を気にしつつも、自分で状況を分析して判断する
- 政府や自治体の要請は気にせず、周囲の行動に合わせて判断する
- 無回答

資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

(3) 今後の旅行の目的地や行動の変化

● 行きたい地域・あまり行きたくない地域

コロナ流行下や今後の旅行で行きたい地域の上位2位の推移を見ると、2020年12月は「あまり人が密集しない地域」と「感染症対策が徹底されている地域」、2021年5月は「これまでに旅行したことのない地域」と「元々予定していた地域」、同年12月は「これまでに旅行したことのない地域」と「あまり人が密集しない地域」となった。

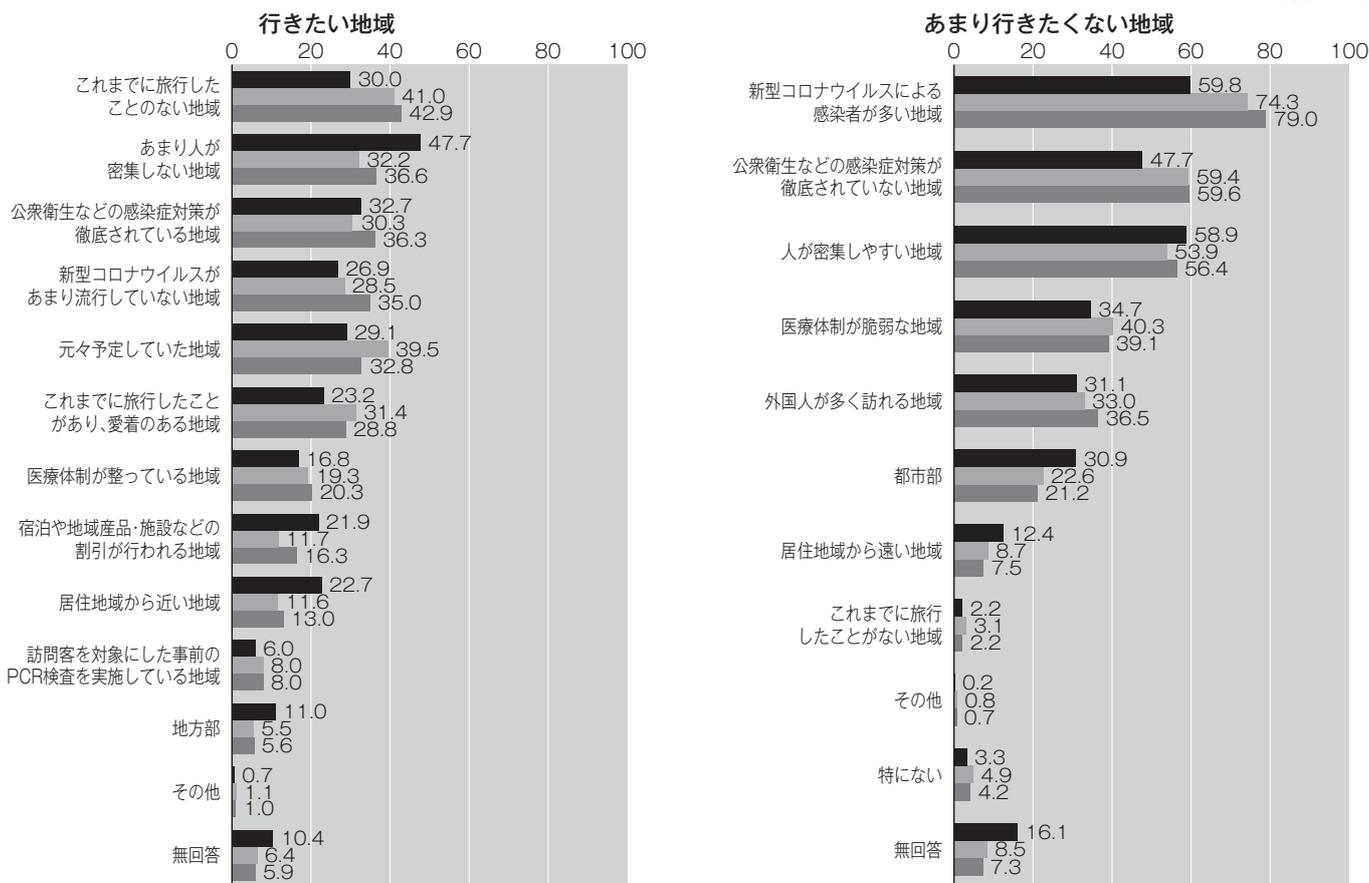
一方で、あまり行きたくない地域は、「感染者が多い地域」が常に1位となり、2位は「感染症対策が徹底されていない地域」、「人が密集しやすい地域」の順に推移した。また、「感染者が多

い地域」、「感染症対策が徹底されていない地域」は回を重ねるごとに高まった(図I-5-6)。

以上より、コロナの流行が長期化する中で、密の回避や感染症対策が徹底されていることは旅行先選択における必要条件として定着しつつ、旅行したことのない地域やコロナで行けなくなった地域も旅行先として重視されると考えられる。今後、観光地では、感染リスクの低い環境を提供するとともに、初来訪者やリピーターが旅行に再び行きたいと思うきっかけとなるような地域固有の魅力を発信することが、誘客の鍵となる可能性がある。

図 I-5-6 コロナ流行下や今後の旅行で行きたい地域・あまり行きたくない地域【複数回答】

(単位：%)



■ 2020年12月調査(n=453) ※コロナ禍で国内または海外の旅行に行きたい人のみ  
 ■ 2021年5月調査(n=1,396) ※コロナ禍で国内または海外の旅行に行きたい(具体的に予定・検討または迷っている)人とコロナが流行しているので行きたくない人のみ  
 ■ 2021年12月調査(n=1,380) ※コロナ禍で国内または海外の旅行に行きたい(具体的に予定・検討または迷っている)人とコロナが流行しているので行きたくない人のみ  
 資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

図 I-5-7 今後の旅行先選択や旅行行動の変化の有無(コロナ流行下で国内または海外の旅行に行きたい人のみ)

(単位：%)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

### ●旅行先や旅行行動の変化の有無

今後の旅行先や行動に関する変化の有無を尋ねたところ、若干の変動はあるものの、「変化する」が常に8割前後を占め、多くの人々がコロナの流行を経て旅行のあり方が変化すると考えていることが示された(図I-5-7)。

### ●旅行の計画や旅行先での行動で意識すること

旅行の計画を立てるときや旅行先での行動で意識することは、「混雑する場所を避ける」や「休日や混雑する時期・季節を避ける」など混雑緩和に関する項目が多く挙げられ、いずれの時期も5割以上となった。

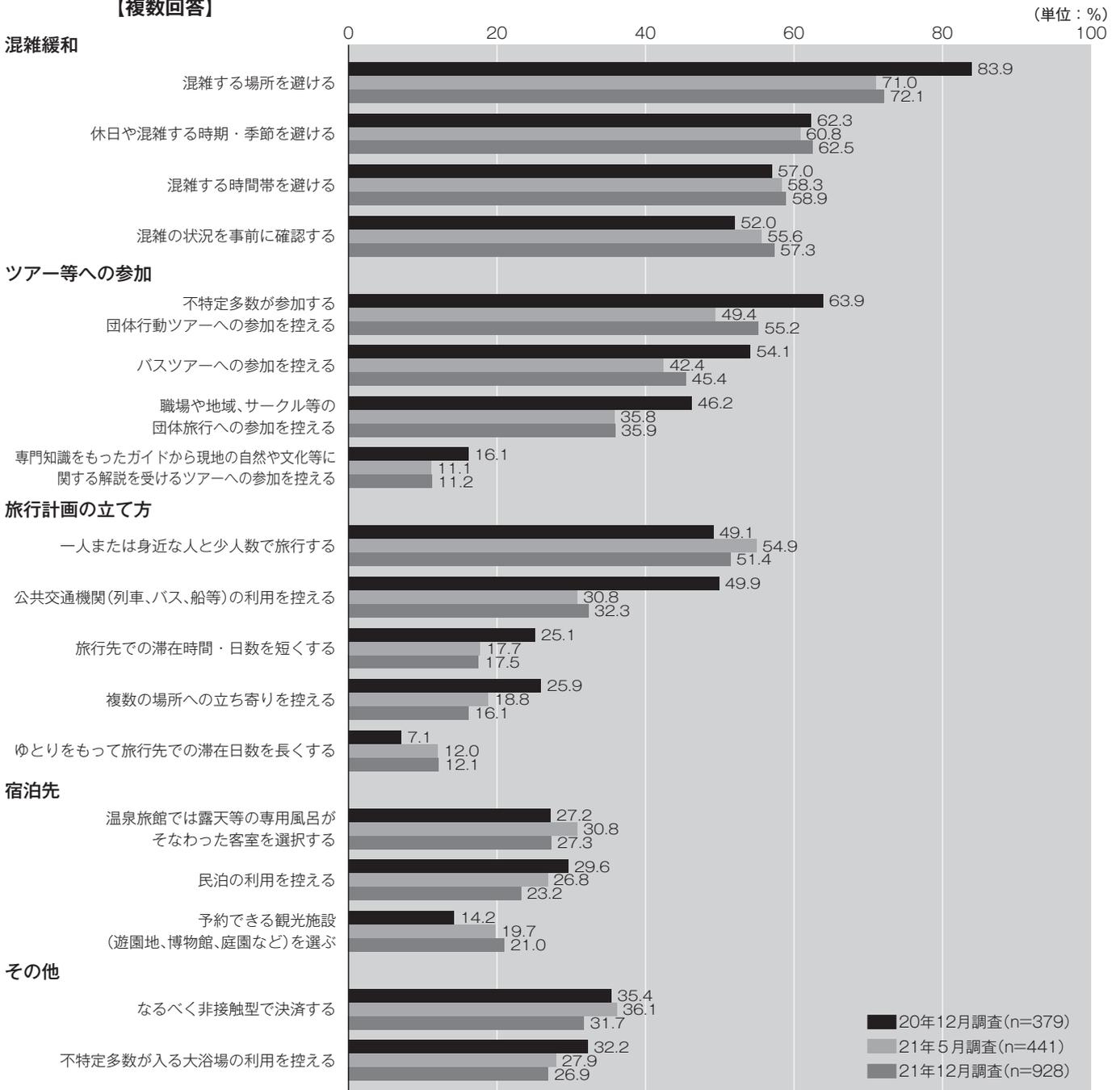
ツアー等への参加に関しては、「不特定多数が参加する団体行動ツアーへの参加を控える」や「バスツアーへの参加を控

える」がいずれの時期も4割以上となり、自分の身近な人以外の多くの参加者と接触する可能性のあるツアーは控える傾向が見られた。

反対に、「一人または身近な人と少人数で旅行する」が5割前後となっている。旅行計画の立て方のうち、「旅行先での滞在時間・日数を短くする」と「ゆとりをもって旅行先での滞在日数を長くする」は約2.5割以下にとどまり、コロナ流行下においても旅行の日数は変更がしづらい要素であり、同行者やその人数、移動手段や立ち寄り先を変更することで、リスク回避が図られていることが示唆された。

宿泊先に関しては、「民泊の利用を控える」は次第に低くなった一方で、「予約できる観光施設(遊園地、博物館、庭園など)を選ぶ」は次第に高くなった(図I-5-8)。

図 I-5-8 旅行の計画や旅行先での行動で意識すること(コロナ流行下で国内または海外の旅行に行きたい人のみ)  
【複数回答】



資料：(公財)日本交通公社「JTBF 旅行意識調査」

**3 旅行意向**

収束後「これまで以上に旅行に行きたい」調査を追うごとに増加

(1) コロナ禍における直近3か月間の意向

この先3か月間に「旅行意向がある」と回答した割合は、感染者数が減少傾向にあった2021年10月には5割を超えたものの、再び感染者数が増加傾向にあった2022年1月には4.5割弱に減少した。「国内宿泊旅行をいまのところ実施予定」は、2020年10月にかけて増加したが、緊急事態宣言下の2021年1月・5月では1割を下回った。しかしながら、その後の沖縄県の緊急事態宣言下・東京都を含む10都道府県のまん延防止等重点措置下にあった2021年7月、3回目の全国的な緊急事態宣言が解除

された直後に実施した2021年10月には1割を超えた。第6波の兆候が見え始めた2022年1月は微減したものの、前年同月を上回ったことから、直近の旅行意向に緊急事態宣言の影響が小さくなってきたと考えられる(表I-5-8)。

(2) コロナ収束後の旅行意向

「これまで以上に旅行に行きたい」は、2021年1月以降は2割以上で推移し、突如コロナ禍と対峙することになった2020年より高まった。さらにその割合は、2022年1月には2.5割を超え、調査開始以降、最も高い割合となった。一方、同時期の“旅行に行きたくない層”は6.9%となり、これまでで最も低い割合となった。長引くコロナ禍において、旅行意向は高まりをみせている(図I-5-9)。

表 I-5-8 この先3か月間の観光旅行の予定【複数回答】

(単位：%)

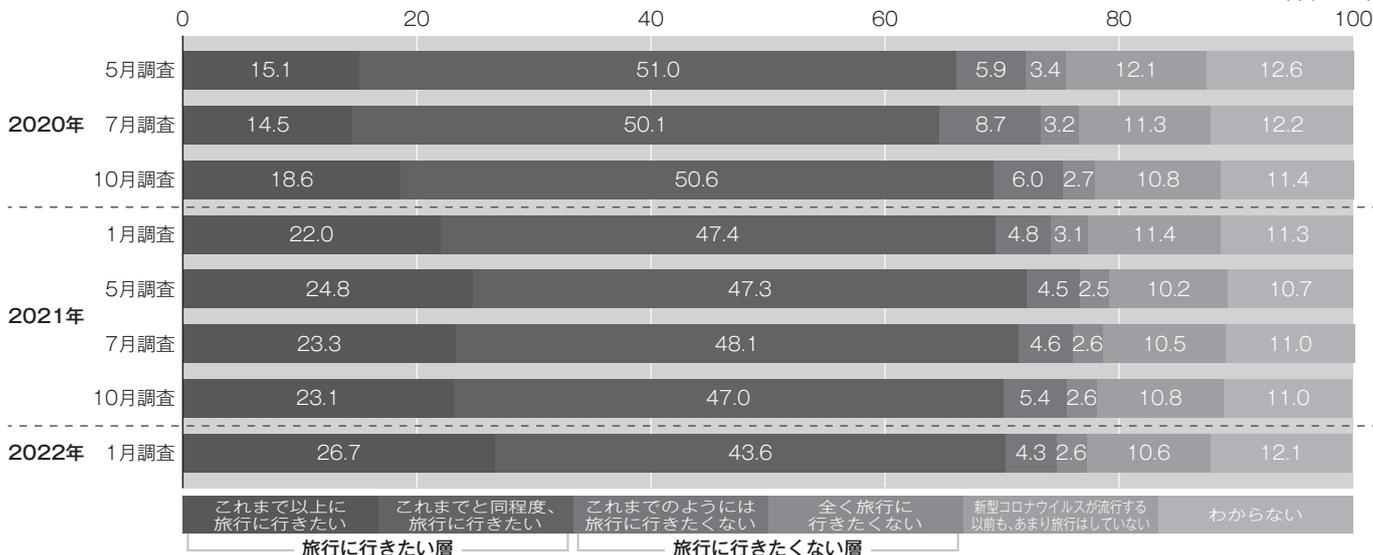
	もともと旅行に行く予定はない	旅行意向あり(検討・中止含む)															
		まだ予定を決めていない	旅行に行きたいが、まだ予定を決めていない	新型コロナウイルスの影響は関係なく、中止・延期を決定・検討している旅行がある	国内日帰り旅行				国内宿泊旅行				海外旅行				
					既に中止・延期を決定	中止・延期を検討	計画することを躊躇	いまのところ実施予定	既に中止・延期を決定	中止・延期を検討	計画することを躊躇	いまのところ実施予定	既に中止・延期を決定	中止・延期を検討	計画することを躊躇	いまのところ実施予定	
2020年	5月調査	55.6	44.4	17.5	0.5	6.5	2.0	6.1	0.8	14.9	3.0	8.3	1.6	3.3	1.0	2.0	1.4
	7月調査	45.7	54.3	30.1	0.6	2.7	1.6	5.8	3.0	6.5	2.8	10.0	9.3	2.1	0.9	2.4	1.7
	10月調査	45.6	54.4	29.3	0.5	2.0	1.2	4.1	4.5	4.6	1.9	6.6	14.8	1.6	0.8	1.9	1.5
2021年	1月調査	63.5	36.5	19.4	0.3	2.1	0.9	4.2	1.2	7.4	2.1	6.9	3.1	0.9	0.4	1.5	1.5
	5月調査	59.4	40.6	22.7	0.4	2.5	1.2	5.5	1.9	5.9	1.8	8.3	4.7	1.8	0.8	1.6	0.5
	7月調査	50.2	49.8	29.2	0.5	1.7	1.1	4.8	3.5	3.6	1.9	8.5	10.5	0.9	0.6	1.9	1.6
	10月調査	48.8	51.2	32.4	0.4	1.4	0.9	3.6	4.2	3.0	1.3	5.9	10.9	0.7	0.5	1.5	1.8
2022年	1月調査	55.8	44.2	24.9	0.5	1.3	1.1	4.0	2.9	3.3	2.1	6.9	8.3	0.6	0.4	1.2	1.9

(注)すべてn=50,000

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

図 I-5-9 コロナ収束後の旅行意向

(単位：%)



(注)すべてn=50,000

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

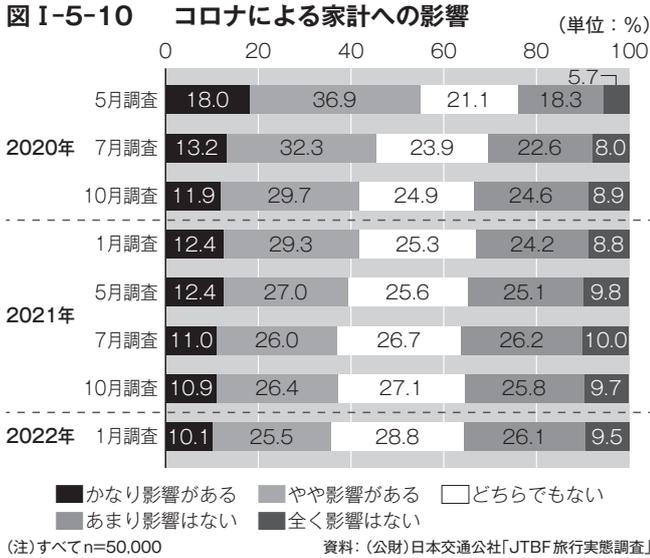
#### 4 日常生活での意識・行動

コロナに対する不安の大小は感染者数の増減によって変化  
内容は2年間を通じて「自分や家族の感染」が最多

##### (1) 日常生活での意識

##### ●コロナによる家計への影響

コロナ禍による家計への影響は、「影響がある層(かなり影響がある)+ (やや影響がある)」は、2020年5月調査では5割を超えていたものの、2022年1月調査にかけて徐々に減少し3.5割程度となり、「影響がない層(あまり影響はない)+ (全く影響はない)」と同程度となった(図I-5-10)。



##### ●コロナに対する不安

新型コロナの流行に対して「とても不安を感じている」は、2020年5月調査をピークに、2020年10月調査にかけて減少したものの、第3波下の感染者数増加に伴い2021年1月調査では再び増加した。感染者数に落ち着きが見られた時期の調査(2021年5月・7月・10月調査)では減少傾向にあったが、感染者数が再び増加傾向にあった2022年1月調査ではその割合は増加した(図I-5-11)。

不安の具体的な内容には、「自分や家族の感染」が継続して9割を超えトップであった。「長期化・先が見えないこと」は2020年5月調査では7割を超えていたが、2022年1月調査では6割弱にとどまっており、徐々に減少している。また、「ワクチンに関する不安」は接種率の高まりとともに減少している(表I-5-9)。

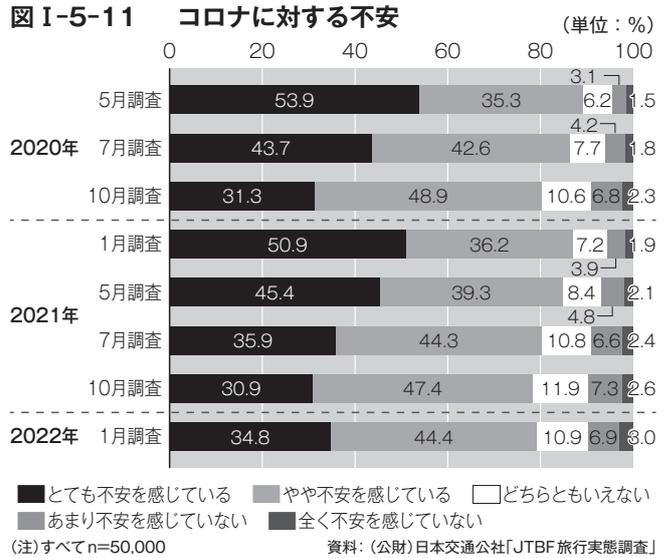


表 I-5-9 コロナに対する不安の具体的な内容【複数回答】

(単位: %)

	自分や家族の感染	長期化・先が見えないこと	医療の崩壊	日本経済の低迷	外出自粛など今後の生活形態の変容	自分が周囲の人に感染させてしまうこと*	ワクチンに関する不安(有効性・安全性・ワクチン接種時期等)*	自分や家族の収入の減少や失業などによる家計の困窮	世界経済の低迷	身の回りの社会の経済の低迷	離れて暮らす家族に関する心配*	差別・偏見・誹謗中傷*	観光地の衰退	心身の不調*	再開時期が不透明	行政の対応	政治のあり方	必要な日用品の入手困難	自分や家族の社会からの孤立	社会の価値観の変容	生きることへの希望の喪失	その他	
2020年	5月調査 (n=44,597)	92.6	71.2	55.0	56.0	47.0	-	-	37.8	40.5	37.2	-	-	26.7	-	28.9	30.0	26.5	32.7	8.0	14.2	7.7	1.1
	7月調査 (n=43,169)	91.9	67.0	39.7	48.9	38.3	-	-	30.0	34.6	32.3	-	-	27.0	-	11.5	25.9	21.9	19.9	8.2	13.6	6.8	0.9
	10月調査 (n=40,091)	93.1	61.5	33.0	43.6	31.7	-	-	27.5	29.7	27.9	-	-	21.7	-	7.7	19.9	16.0	13.6	10.2	13.8	7.4	0.8
2021年	1月調査 (n=43,503)	93.9	65.3	59.6	45.8	37.0	-	-	31.5	30.3	30.0	-	-	22.4	-	8.0	28.0	25.0	13.0	9.1	12.4	8.8	0.9
	5月調査 (n=42,358)	92.7	62.5	50.3	40.7	37.1	32.3	33.3	27.4	22.3	24.7	26.3	25.6	24.2	18.6	19.6	25.1	8.7	11.7	11.4	7.9	0.6	
	7月調査 (n=40,086)	90.8	60.0	38.3	37.8	34.6	30.0	31.9	23.7	21.0	23.3	23.5	22.5	24.6	18.8	17.8	22.4	22.2	7.2	11.2	11.7	6.9	0.5
	10月調査 (n=39,134)	91.5	57.3	41.3	36.1	32.9	31.8	24.3	23.6	21.0	22.2	23.0	22.2	21.2	19.6	18.5	18.9	17.6	8.6	11.7	11.4	7.3	0.5
2022年	1月調査 (n=39,613)	92.0	58.0	41.3	37.6	34.5	32.8	23.9	23.4	23.3	22.7	22.3	21.1	20.7	19.5	17.4	16.7	14.9	11.9	10.4	9.8	6.3	0.5

(注1) 2022年1月調査を基準に並び替え  
(注2) \*は2021年度調査より追加

資料: (公財)日本交通公社「JTBF 旅行実態調査」

●日常生活でのコロナ対策

コロナ禍における日常生活での対策は、「マスクを着用する」が最も高く、調査開始以降、継続して9割を超えた。「手洗い・うがいを励行・徹底」「設置されているアルコール除菌スプレーを励行・徹底」は2020年10月以降、7割を超えている。

しかしながら、感染者数が増加傾向にあった時期に実施した2022年1月調査では、感染状況が落ち着いていた2021年10月調査と比較して、ほぼすべての項目で実施率が低下している。いわゆるコロナ慣れによる影響も考えられる(表I-5-10)。

表 I-5-10 日常生活でのコロナ対策【複数回答】

(単位：%)

		日常生活でのコロナ対策【複数回答】																													
		外出時にマスクを着用する	手洗い・うがいを励行・徹底	訪問先に設置されているアルコール除菌スプレーを励行・徹底	多数が集まる密集空間の回避	(スプレーやシート等)を携行	旅行・レクリエーションを控える	アルコール除菌剤	不要不急の外出自粛	周囲の人との間隔をあける(ソーシャルディスタンス)	換気の悪い密閉空間の回避	十分な睡眠、栄養、運動を心がける	間近で会話が発生する密接空間の回避	飲食時の安全性を確保(黙食や個室、マスク会食、少人数での食事等)	不特定多数が触れる箇所(ドアノブや手すりなど)をなるべく触らない	外食を控える	公共交通機関の利用を控える	他人がそばにいる場所(例：電車やエレベーター)では、会話を控える	キャッシュレス決済(クレジットカードや電子マネー、バーコード決済など)を利用	十分な睡眠、栄養、運動を心がける	公共交通機関の利用を控える	同僚や専門家が発信しているコロナウイルス感染対策情報をチェック	友人に会うことを控える	毎日検温を実施	食料品の購入など生活上必要な外出であっても頻度を抑える	買物に行くことを控える	食料品の代わりにテイクアウトやデリバリーを活用	食料品や日用品以外の	帰宅後すぐに衣類やカバン、携帯電話等の持ち物を除菌	公園の利用を控える	帰宅後すぐに体を洗う
2020年	5月調査	93.9	82.0	65.9	71.6	54.2	65.4	55.9	72.1	62.3	64.3	47.7	—	46.7	40.3	—	22.1	37.0	38.6	43.3	—	43.2	41.2	22.0	—	—	26.5	—	0.4	1.5	
	7月調査	94.9	77.3	68.4	63.0	57.7	55.7	51.4	53.7	52.7	45.7	42.2	—	37.1	30.0	—	19.5	26.9	25.3	31.5	—	25.9	22.9	15.0	—	—	11.3	—	0.2	1.8	
	10月調査	96.0	76.0	71.3	62.3	60.1	48.9	50.7	45.8	51.2	40.3	40.0	—	37.3	28.1	—	20.0	24.0	23.4	24.9	—	19.9	17.5	12.6	—	—	7.7	—	0.2	1.7	
2021年	1月調査	97.4	79.1	74.4	67.5	63.4	60.1	55.7	58.6	52.4	51.4	44.0	—	42.9	34.1	—	24.8	27.4	32.2	32.8	—	26.6	24.8	16.8	—	—	10.7	—	0.3	1.3	
	5月調査	96.5	75.8	75.6	67.4	57.1	60.8	55.6	56.8	52.8	52.1	43.9	41.6	43.6	31.2	35.7	32.3	34.1	33.9	27.5	25.8	25.4	24.7	19.1	14.2	9.8	11.6	9.6	0.2	1.7	
	7月調査	95.9	74.4	74.3	65.3	54.7	56.9	53.5	51.1	50.9	48.5	42.2	40.0	41.3	30.1	33.2	31.0	30.6	30.7	24.8	23.8	22.0	20.9	16.5	12.6	8.7	9.7	9.4	0.2	2.0	
2022年	10月調査	95.9	74.7	75.4	66.7	56.4	56.1	54.8	52.3	52.6	49.7	43.2	42.2	43.0	30.5	33.0	32.4	31.7	30.9	24.6	24.5	23.3	22.2	17.7	12.0	9.3	10.2	9.8	0.2	2.0	
	1月調査	95.7	74.1	73.8	62.0	54.8	51.2	49.3	46.2	46.1	41.9	39.5	38.3	36.3	31.0	30.8	28.3	26.1	24.1	23.0	20.7	20.1	18.4	13.5	9.0	8.0	7.9	7.9	0.1	2.2	

(注1)すべてn=20,000  
(注2) \*は2021年度調査より追加

資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行実態調査」

(2)日常生活での行動の変化

コロナ流行前と比べて、日常生活における外出の頻度および行動範囲に変化があったかについて、直近1か月程度の状況に最も当てはまるものを選択してもらった。

●コロナ流行前と比べた時の行動範囲

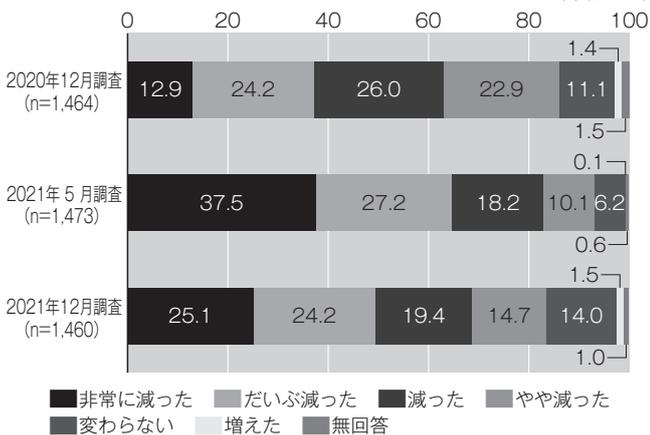
行動範囲についても先に述べた外出頻度と同様の傾向を示し、緊急事態宣言の発出期間中は「非常に狭くなった」が4割弱となり、解除されている期間においては1割～2.5割となった(図I-5-13)。(仲七重/安原有紗)

●コロナ流行前と比べた時の外出の頻度

「非常に減った」は、2020年12月および2021年12月には1割～2.5割であったが、2021年5月は4割弱となり、緊急事態宣言が発出されている期間は高くなる傾向が見られた(図I-5-12)。

図 I-5-12 コロナ流行前と比べた時の直近1か月の外出の頻度

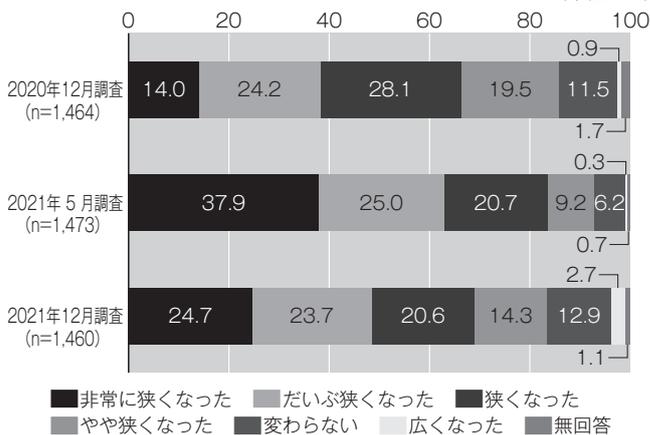
(単位：%)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」

図 I-5-13 コロナ流行前と比べた時の直近1か月の行動範囲

(単位：%)



資料：(公財)日本交通公社「JTBF旅行意識調査」